

# 那覇市の観光統計

— 観光客の声 —

(平成 19 年度版)

那 覇 市

## はじめに

平成 19 年度の沖縄県の観光客数は 589.2 万人と推計され、対前年度比 3.3% の増加となりました。

そのうち 96.8%にあたる 570.6 万人余りが、那覇市への入込み観光客となっています。昨年に続く好調な要因として、航空路線の増便や機材の大型化による提供座席数の増加、クルーズ船の入港が増加、宿泊施設の増設等が挙げられます。

本県への入域観光客は好調を維持しており、これに伴い、多様化した観光客の満足度を高めるために、より質の高い沖縄観光の実現が課題の一つとなっています。

本市では、年 3 回、市内の宿泊施設に宿泊された観光客を対象にアンケート調査を行い、「那覇市の観光統計・観光客の声」としてまとめています。観光客の皆様から寄せられたアンケートには、沖縄・那覇観光の満足度を高めるための貴重なご提言が数多くあります。

本書が、那覇市の観光の現状を知る上での一助となれば幸いです。

結びに、本書の作成にあたり、アンケート調査票の配布にご協力いただいた各宿泊施設の皆様、並びに各種資料をご提供していただいた関係機関の皆様に、心からお礼申し上げます。

那覇市経済観光部観光課

# 目 次

I. 那覇市の現況	1
II. 調査・集計のあらましと観光客の動向	2
1. 観光客の捉え方	2
2. 那覇市への観光客及び観光消費額の集計方法	2
3. 平成19年度の入込み観光客の動向	2
4. 那覇市内における観光消費額及び観光収入	8
III. 観光客アンケート調査の方法と結果	12
1. 回答者の属性	14
2. 来訪目的	18
3. 来訪動機	20
4. 来訪回数	23
5. 旅行形態（旅行の同行者）	26
6. 旅行形態（個人旅行・団体旅行・フリープラン・パッケージツアー）	28
7. 旅行期間	30
8. 那覇市内における観光消費額	34
9. 那覇市内での移動手段	37
10. 旅行コース	38
11. みやげ品購入状況	43
12. 那覇市内に欲しい施設	46
13. サービス面における問題点や改善して欲しい点	48
IV. 観光客の声	51
1. 飲食・買物について	51
2. 観光施設について	52
3. 宿泊施設について	54
4. 景観・自然・美観等について	55
5. ホスピタリティーについて	59
6. 交通事情について	59
7. 観光情報について	66
8. その他	67
附表 参考資料	81
附表1 平成19年 県内にある周辺離島からの月別入込み、出域客数	81
附表2 平成19年度 県内にある周辺離島からの航路別入込み客数（空路）	81
附表3 平成19年 県内にある周辺離島からの航路別入込み客数（海路）	82
附表4 平成19年度 県内にある周辺離島への航路別出域客数（空路）	82
附表5 平成19年 県内にある周辺離島への航路別出域客数（海路）	83
主要観光施設の推移	84

## I. 那覇市の現況

### ◇位置・地勢◇

沖縄県は、北緯 24～28 度、東経 122～133 度の南北約 400km、東西約 1,000km の海上に弧を描いて連なる 160 の島しょの内、有人島 39 からなっています。その中で那覇市は最大の島、沖縄本島の南部に位置しています。

また、本市は鹿児島と台北のほとんど中間にあり、那覇を中心とする 1,500km の円周域には、東京、ピョンヤン、香港、ソウル、北京、マニラなどの主要な都市があり、交通通信機能の上からも東南アジアの各都市を結ぶ要衝の地点であり、わが国の南の玄関として地理的に好条件の位置にあります。

地形は、旧市内を中心とする中央部においてほぼ平坦をなし、これを取り巻くように周辺部には小高い丘陵地帯が展開しています。また、市内を東から西に国場川と安里川が流れ、前者は那覇ふ頭、後者は泊ふ頭を経て東シナ海に注いでいます。

出典：那覇市役所ホームページ「那覇市の概要」

### ◇面積◇

那覇市の総面積は、39.23k m<sup>2</sup>（平成 18 年 10 月 1 日現在）である。

資料：「沖縄県市町村概要」平成 20 年 3 月

### ◇人口及び世帯数（平成 20 年 10 月末現在）◇

総人口	316,322 (2,211)人	世帯数	132,685 (1,377)世帯
男性	152,497(1,145)人	外国人を含む人口。( )内は外国人	
女性	163,825(1,076)人		

出典：那覇市役所ホームページ「市の人口と世帯」

### ◇産業と構造（平成 18 年調査）◇

那覇市の事業所数は 20,700 ヶ所、従業員数は 149,640 人である。

市内の産業構造は第 3 次産業が大半を占め、第 3 次産業に携わる事業所数は 20,695 事業所（全事業所の 99.9%）、従業員数は 149,618 人（全従業員数の 99.9%）となっている。中でも卸・小売業では 5,865 事業所（28.3%）で、35,470 人（23.7%）が、飲食店・宿泊業では 4,289 事業所（20.7%）で 24,319 人（16.2%）またサービス業は 3,947 事業所（19.0%）で 28,214 人（18.8%）が従事しており、那覇市は商業及びホスピタリティ産業を中心とした産業構造を形成しているといえる。

出典：沖縄県ホームページ「平成 18 年事業所・企業統計調査」

### ◇気象概況◇

亜熱帯モンスーン地帯に属する沖縄の気候は、四季を通じて平均気温 22℃、平均湿度が 77%で、春秋の季節の特徴は、はっきりしていませんが、連日、気温 30 度前後の蒸し暑く長い夏と気温 16～17℃の暖かく短い冬に分けられます。

春から夏にかけては雨量が比較的多く、夏から秋には熱帯低気圧の通過路となって、毎年数個の台風が来襲します。特に、沖縄近海が台風の進路変更点になっているため、台風通過の際、長時間にわたり強風におそわれることが多くなっています。

出典：那覇市役所ホームページ「那覇市の概要」

## Ⅱ. 調査・集計のあらましと観光客の動向

### 1. 観光客の捉え方

(1) 入込み客

県外及び外国より那覇空港及び那覇港から入域した客に、入込み観光客の混在率（サンプリング調査によるデータ）を乗じた人数

(2) 県外客

現住所が県外にある者（ただし、帰省客は除き、本土経由で那覇に来る外国客を含む）

(3) 外国客

外国から空・海路直行便で那覇を訪れた者

なお、県外観光客と外国人観光客数は、本市が沖縄県の交通の起終点及び結接点となっていることを踏まえ、県の入域観光客統計概要を採用した（ただし、県外⇄石垣・宮古・久米島の離島直行便を除く）。

### 2. 那覇市への観光客及び観光消費額の集計方法

那覇市への観光客数は、沖縄県内の空路や海路の各交通機関へ毎年の実績報告を依頼し、その結果をもとに算出している。

那覇市における観光客の消費額は、後述する観光客アンケートにおいて、観光客が記入した「那覇市内で支出（現地払い）した1人当たりの費用」の項目から推計した。

### 3. 平成 19 年度の入込み観光客の動向

平成 19 年度の国内外を合わせた沖縄県全体の入込み観光客数は 589 万 2,300 人で、前年比 3.3%の増加となった。

国内客の増加に影響を与えた要因として、新規路線開設及び主要路線における増便や、宿泊施設の増加、沖縄リゾートウェディングの増加、官民一体となった誘客キャンペーン、沖縄の自然風土、独自の音楽、芸能文化などに引き続き全国の関心が高まっていることが挙げられる。

外国客については、前年度実績を上回っていて、着実に実績を上げてきている。

年間の入域観光客数は、海外からの定期クルーズ船の運航や、香港からの航空チャーター便や韓国からの冬場増便等の影響で、沖縄県の目標をほぼ達成した。

本市における平成 19 年度の入込み観光客数は、570 万 6,200 人で増加した。観光客のうち県外から訪れているのは 551 万 7,400 人で全体の 96.7%を占める。外国客は 18 万 8,800 人と前年と比較して増加した。

### 3.1 那覇市への入込み観光客数(33年分)

図表Ⅱ-1 那覇市への入込み観光客数(33年間)

単位:人

区分	県外客	外国客	観光客総数
昭和50年	1,523,918	34,141	1,558,059
昭和51年	820,780	15,328	836,108
昭和52年	1,186,507	14,649	1,201,156
昭和53年	1,472,842	29,568	1,502,410
昭和54年	1,770,238	37,703	1,807,941
昭和55年	1,746,778	61,258	1,808,036
昭和56年	1,849,745	80,278	1,930,023
昭和57年	1,802,876	95,340	1,898,216
昭和58年	1,784,379	67,615	1,851,994
昭和59年	1,965,900	87,600	2,053,500
昭和60年	1,999,700	82,200	2,081,900
昭和61年	1,965,000	63,800	2,028,800
昭和62年	2,178,800	71,900	2,250,700
昭和63年	2,316,000	79,400	2,395,400
平成元年	2,546,000	114,500	2,660,500
平成2年	2,769,700	154,300	2,924,000
平成3年	2,788,900	192,500	2,981,400
平成4年	2,900,600	198,700	3,099,300
平成5年	2,934,900	173,900	3,108,800
平成6年	2,906,500	150,900	3,057,400
平成7年	3,002,300	138,200	3,140,500
平成8年	3,178,500	141,900	3,320,400
平成9年	3,469,500	191,500	3,661,000
平成10年	3,743,530	139,400	3,882,930
平成11年	4,177,200	223,000	4,400,200
平成12年	4,059,300	197,700	4,257,000
平成13年	3,986,200	191,400	4,177,600
平成14年	4,388,900	180,300	4,569,200
平成15年	4,653,359	100,100	4,753,459
平成16年	4,687,200	129,500	4,816,700
平成17年	5,019,100	136,500	5,155,600
平成18年度	5,337,900	96,800	5,434,700
平成19年度	5,517,400	188,800	5,706,200

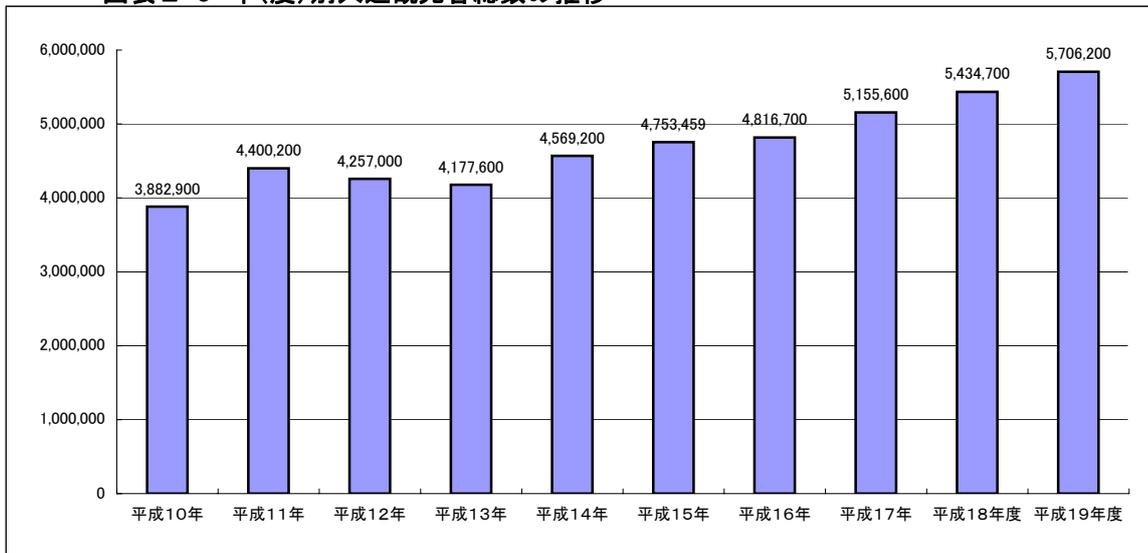
※平成17年までは暦年による集計

図表Ⅱ-2 平成19年度月別入込み観光客総数の推移

単位：人、%

	県外客	外国客	観光客総数	前年同月数	前年同月比
19年4月	452,500	8,100	460,600	422,700	109.0
5月	399,400	8,000	407,400	391,500	104.1
6月	394,600	9,400	404,000	377,000	107.2
7月	434,500	24,000	458,500	451,900	101.5
8月	572,900	19,700	592,600	532,100	111.4
9月	490,500	21,200	511,700	461,100	111.0
10月	472,500	31,400	503,900	488,100	103.2
11月	453,100	17,700	470,800	458,900	102.6
12月	445,600	11,200	456,800	440,400	103.7
20年1月	413,200	8,900	422,100	421,300	100.2
2月	454,100	16,200	470,300	450,400	104.4
3月	534,500	13,000	547,500	539,300	101.5
合計	5,517,400	188,800	5,706,200	5,434,700	105.0
構成比	96.7	3.3	100.0	—	—
前年度比	103.4	195.0	105.0	—	—

図表Ⅱ-3 年(度)別入込観光客総数の推移



	観光客総数
平成10年	3,882,900
平成11年	4,400,200
平成12年	4,257,000
平成13年	4,177,600
平成14年	4,569,200
平成15年	4,753,459
平成16年	4,816,700
平成17年	5,155,600
平成18年度	5,434,700
平成19年度	5,706,200

### 3. 2 地域別県外観光客動向(外国客は除く)

県外観光客を航空路別にみると、「東京」が最も多く、2,630,100人で47.67%を占める。次いで「阪神」が1,048,500人で19.0%、「福岡」が677,100人で12.27%を占める。

図表 II-4 航路別県外観光客数

単位: 人、%

	実数	構成比
東京	2,630,100	47.67
阪神	1,048,500	19.00
福岡	677,100	12.27
名古屋	513,400	9.31
鹿児島	137,600	2.49
広島	78,700	1.43
仙台	69,800	1.27
熊本	48,400	0.88
岡山	45,800	0.83
高松	44,100	0.80
小松	40,400	0.73
福島	32,600	0.59
宮崎	32,100	0.58
札幌	29,000	0.53
長崎	27,600	0.50
新潟	22,200	0.40
松山	19,300	0.35
高知	11,100	0.20
大分	7,200	0.13
その他	2,400	0.04
総計	5,517,400	100.00

図表Ⅱ－５ 航路別県外観光客数(海路・空路)

単位:人、%

区分	総数	札幌	仙台	小松	東京	名古屋	阪神	広島	岡山	松山	高松	福岡	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	福島	新潟	出雲	山口宇部	花巻	秋田	高知	青森	鳥取	その他
平成10年	3,743,530	58,800	56,300	33,400	1,516,201	286,363	724,844	69,290	34,700	27,500	22,300	519,532	27,100	52,700	16,100	28,900	164,300	26,800	23,500	5,600	10,600	9,200	8,800	3,300	3,800	0	13,600
平成11年	4,166,400	58,800	57,600	36,600	1,756,900	330,700	790,300	79,000	35,600	17,500	27,500	593,000	26,600	51,400	24,500	30,300	161,700	24,900	27,600	2,200	0	9,100	4,100	10,900	8,300	0	1,300
平成12年	4,059,300	59,200	59,300	36,300	1,707,100	317,900	751,700	73,300	35,900	18,100	26,300	594,300	23,900	53,100	22,900	31,700	161,600	24,200	28,500	4,800	0	9,100	0	12,300	7,800	0	0
平成13年	3,986,200	60,500	52,800	34,600	1,739,300	315,200	723,700	66,200	34,200	16,800	23,900	574,900	22,500	45,900	21,400	28,600	151,800	26,000	25,400	1,600	0	4,800	0	11,000	4,600	500	0
平成14年	4,388,900	55,500	56,400	37,800	2,020,900	352,000	779,000	65,600	38,700	22,100	29,400	587,400	25,600	46,400	22,800	30,700	145,900	30,900	27,300	1,900	0	1,300	0	6,600	0	0	4,700
平成15年	4,653,359	57,600	59,200	41,400	2,138,529	383,082	834,768	70,300	40,700	22,600	40,000	619,080	24,800	45,400	23,500	30,400	145,600	31,100	25,500	1,600	0	2,700	0	10,000	2,700	0	2,800
平成16年	4,687,200	53,800	64,000	41,900	2,148,800	384,100	842,400	70,300	41,800	20,200	38,200	632,800	25,600	48,200	26,400	31,200	140,700	34,300	26,800	0	0	1,400	0	12,100	0	0	2,200
平成17年	5,019,400	73,100	64,200	42,600	2,304,700	442,600	917,600	75,800	43,600	21,100	40,000	648,900	26,700	46,500	24,800	31,100	141,300	34,100	23,800	100	100	600	100	12,100	200	100	3,600
平成18年度	5,337,900	69,800	74,600	43,100	2,487,800	472,900	999,600	73,800	42,700	20,000	44,200	659,200	26,200	45,700	26,000	28,700	150,800	33,400	24,300	300	100	1,200	100	12,200	0	200	1,000
平成19年度	5,517,400	29,000	69,800	40,400	2,630,100	513,400	1,048,500	78,700	45,800	19,300	44,100	677,100	27,600	48,400	7,200	32,100	137,600	32,600	22,200	0	0	0	0	11,100	0	0	2,400
構成比	100.00	0.53	1.27	0.73	47.67	9.31	19.00	1.34	0.83	0.35	0.80	12.27	0.50	0.88	0.13	0.58	2.49	0.59	0.40	—	—	—	—	0.20	—	—	0.04
前年比	103.4	41.5	93.6	93.7	105.7	108.6	104.9	106.6	107.3	96.5	99.8	102.7	105.3	105.9	27.7	111.8	91.2	97.6	91.4	0.0	0.0	0.0	0.0	91.0	0.0	0.0	240.0
増減率	3.4	▲ 58.5	▲ 6.4	▲ 6.3	5.7	8.6	4.9	6.6	7.3	▲ 3.5	▲ 0.2	2.7	5.3	5.9	▲ 72.3	11.8	▲ 8.8	▲ 2.4	▲ 8.6	—	—	—	—	▲ 9.0	—	—	140.0
4月	452,500	7,600	5,700	3,200	199,900	41,800	91,000	6,600	6,000	1,600	6,500	53,800	2,000	4,100	2,500	2,600	10,800	3,100	2,900	0	0	0	0	800	0	0	0
5月	399,400	6,800	4,100	3,200	161,500	33,900	93,600	6,300	7,100	1,600	6,900	47,400	1,800	3,600	2,100	2,300	12,100	2,300	1,900	0	0	0	0	900	0	0	0
6月	394,600	0	4,000	3,600	184,700	39,000	74,300	6,200	3,500	1,600	4,300	49,900	1,800	3,200	2,600	2,400	10,600	2,200	0	0	0	0	700	0	0	0	
7月	434,500	0	4,800	3,300	221,500	38,700	82,900	5,800	3,300	1,700	0	50,300	2,200	3,700	0	2,300	11,100	2,300	0	0	0	0	600	0	0	0	
8月	572,900	0	5,000	4,300	274,900	53,200	120,300	7,300	3,900	2,000	0	69,000	3,000	5,300	0	3,700	16,600	3,100	0	0	0	0	1,300	0	0	0	
9月	490,500	0	5,600	3,800	249,100	38,900	97,200	6,900	3,200	2,000	0	59,600	2,200	4,000	0	2,600	11,800	2,400	0	0	0	0	1,200	0	0	0	
10月	472,500	4,700	5,400	4,000	235,100	41,900	79,900	6,400	3,200	1,500	4,000	59,200	2,200	3,700	0	2,700	11,200	3,000	3,500	0	0	0	0	900	0	0	0
11月	453,100	9,900	6,600	3,100	210,700	42,800	75,700	6,400	3,000	1,400	4,500	60,300	2,500	4,100	0	2,700	11,800	3,900	2,700	0	0	0	0	1,000	0	0	0
12月	445,600	0	8,800	2,700	220,100	41,000	76,700	6,900	2,900	1,200	5,000	55,200	2,300	4,400	0	2,300	9,500	2,500	3,300	0	0	0	0	800	0	0	0
1月	413,200	0	6,800	2,600	199,700	41,500	74,400	6,100	3,200	1,400	3,400	49,200	2,200	4,300	0	2,500	10,500	2,300	2,200	0	0	0	0	900	0	0	0
2月	454,100	0	6,200	3,200	218,700	45,800	81,200	6,400	3,200	1,500	4,100	58,300	2,600	3,800	0	2,900	9,800	2,700	2,600	0	0	0	0	800	0	0	300
3月	534,500	0	6,800	3,400	254,200	54,900	101,300	7,400	3,300	1,800	5,400	64,900	2,800	4,200	0	3,100	11,800	2,800	3,100	0	0	0	0	1,200	0	0	2,100

※航路別県外観光客数の推計方法は、沖縄県に訪れる観光客数から離島直行便(混在率を掛け県内客を除いた値)を除いた値である。

※区分は地域別でまとめて集計を行っている。内訳は、東京(羽田+成田)、阪神(関空+神戸+伊丹)、福岡(福岡+北九州)となっている。

那覇港へのクルーズ船入港状況実績

図表 Ⅱ-6

単位：隻、人。%

	入港回数	乗客数	入港回数対前年度比	乗客数対前年度比
平成19年度	33	43,589	—	—

資料：那覇港管理組合

#### 4. 那覇市内における観光消費額及び観光収入

##### 1) 個人消費額及び観光収入(入込み客ベース)

平成19年度に本市を訪れた観光客の一人当たり消費額はアンケート調査の結果から、本市に宿泊した観光客の消費額は、77,148円、宿泊を伴わない観光客の消費額は、55,479円と推計される。

個人消費額の内訳は「飲食・娯楽費」が最も高く、26,373円で34.2%を占める。1泊当たりの宿泊費は、9,727円で平均宿泊日数は2.2277日であった。次いで「みやげ品費」17,259円(22.4%)「交通費」6,690円(8.7%)「雑費」5,157円(6.7%)となっている。「飲食・娯楽費」については、前年より16.5%増加した。「宿泊費」については、「1泊当たりの宿泊費」はより増加した。平均宿泊日数が2.2277日と前年2.1199日から増加した。「みやげ品費」は前年より7.2%の上昇となっている。「交通費」については前年より6.7%の減少、「雑費」については1.7%増加した。

那覇市内における観光収入の推計については、那覇市への入込み客(宿泊客と通過客を含む)は570万6,200人とされるがその内訳は那覇市に宿泊した観光客と通過客に分けて推計を行う。

宿泊客については、P11の2)から、那覇市内の宿泊客数は、244万9,674人と推計される。この推計値に観光客一人当たりの消費額を乗じて宿泊客からの観光収入とした。通過客については、325万6,526人と推計される。この推計値に一人当たりの消費額を乗じて通過客からの観光収入とした。

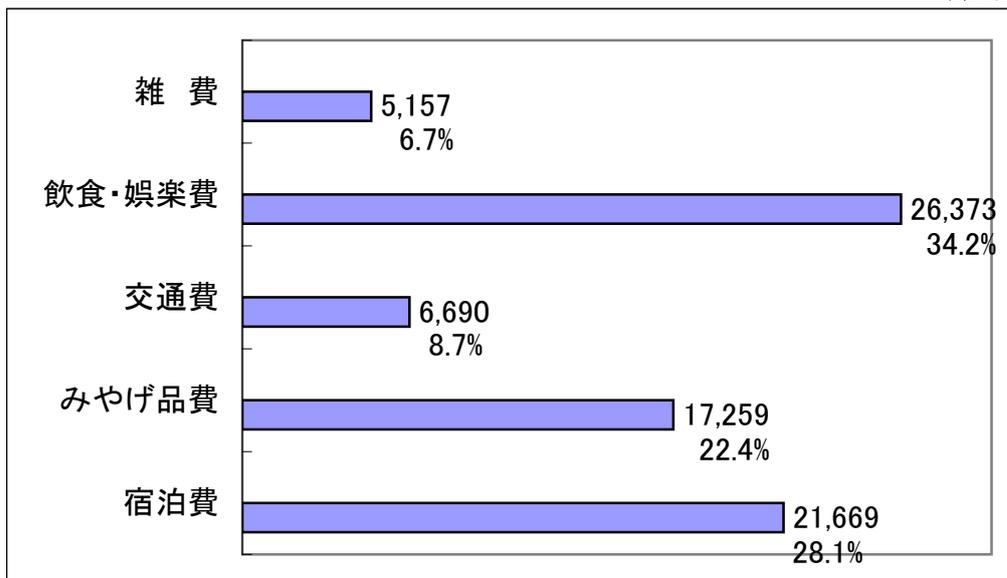
この2つを合計した値3,696億5,600万円が那覇市における観光収入と推計される。通過客については、実際にアンケート調査を行っていないため、現状の調査範囲でより実態に即した値にするために上記のような推計を行っている。

単位:円

区分	宿泊費	みやげ品費	交通費	飲食・娯楽費	雑費
平成19年度	21,669	17,259	6,690	26,373	5,157
	28.1%	22.4%	8.7%	34.2%	6.7%

図表Ⅱ-7 宿泊客の一人当たり消費額内訳

単位:円



※通過客については上記の値から「宿泊費」を除いた値とする。

※上記の値には外国客は含まれていない。

図表Ⅱ-8 観光客の一人当たり消費額内訳

(単位:円、人 観光収入の単位:百万円)

区分	宿泊費	みやげ品費	交通費	飲食・娯楽費	雑費	計	県(国)外観光客	観光収入
平成 2年	20,410	20,252	14,767	13,768	4,640	73,837	2,924,000	215,899
平成 3年	15,008	18,034	20,496	19,752	6,505	79,795	2,981,400	237,901
平成 4年	13,997	21,170	21,194	19,143	6,274	81,778	3,099,300	253,455
平成 5年	13,545	20,075	17,858	16,310	6,108	73,896	3,108,800	229,728
平成 6年	13,169	16,094	18,158	15,769	5,513	68,703	3,057,400	210,053
平成 7年	13,634	16,294	15,711	14,466	8,762	68,867	3,140,500	216,277
平成 8年	20,700	13,900	17,500	12,500	4,000	68,600	3,320,400	227,779
平成 9年	11,900	14,400	17,600	13,800	6,600	64,300	3,661,000	235,402
平成10年	11,065	14,183	21,109	14,870	4,672	65,899	3,882,930	255,881
平成11年	12,868	18,429	10,771	15,216	6,451	63,735	4,400,200	280,447
平成12年	11,272	14,990	9,434	16,682	6,102	58,480	4,257,000	248,949
平成13年	10,854	15,808	8,648	17,267	7,199	59,776	4,177,600	249,720
平成14年	9,690	17,514	9,327	16,798	6,524	59,853	4,569,200	273,480
平成15年	18,804	15,418	7,325	16,465	5,826	63,838	4,753,459	303,451
平成16年	19,343	16,574	7,759	15,494	5,336	64,506	4,816,700	310,706
平成17年	19,127	17,276	6,958	20,878	5,418	69,657	5,155,600	359,124
平成18年度	19,100	16,093	7,172	22,646	5,070	70,081	5,434,700	318,292
平成19年度	21,669	17,259	6,690	26,373	5,157	77,148	5,706,200	369,656
対前年度増減率	1.13	1.07	0.93	1.16	1.02	1.10	1.05	1.16

集計方法については以下の表に示す。

※一泊当たり宿泊費 9,727円 平均宿泊日数 2.2277日(説明下欄参照)

※宿泊費は一泊当たり宿泊費 × 平均宿泊日数で費用を歳出。但し、H14年までは一泊当たりの費用

那覇市の宿泊客と通過客別消費額の推計

区分	宿泊費	みやげ品費	交通費	飲食・娯楽費	雑費	計(a)	観光客数(b)	観光収入 (a)×(b) (百万円)	合計(百万円) (宿泊客+通過客)
宿泊客	21,669	17,259	6,690	26,373	5,157	77,148	2,449,674	188,987	369,656
通過客	—	17,259	6,690	26,373	5,157	55,479	3,256,526	180,669	

一泊当たり宿泊費と平均宿泊日数の考え方

※一泊当たり宿泊費(9,727円)

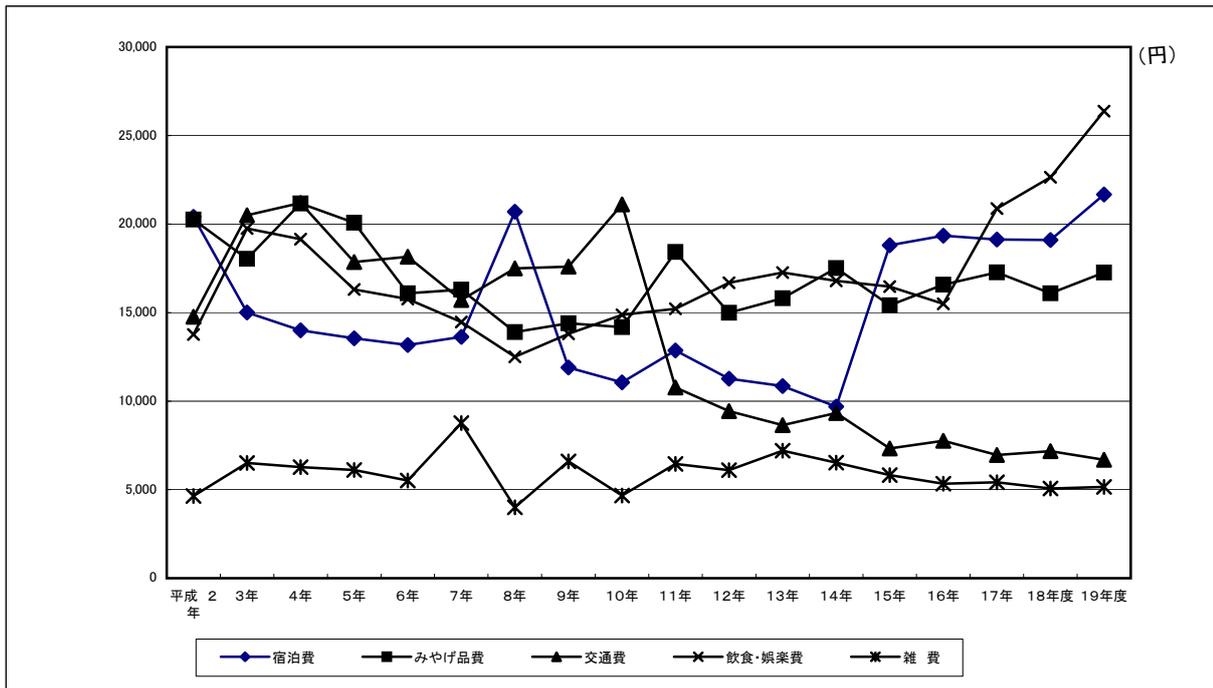
一泊当たりの宿泊費については、「那覇市内だけで支出した宿泊費」と「沖縄滞在日数」の両方の問いに回答した者を集計している。

$$\text{宿泊費合計}(7,090,725\text{円}) \div \text{那覇泊合計}(729\text{人泊}) = 9,727\text{円}$$

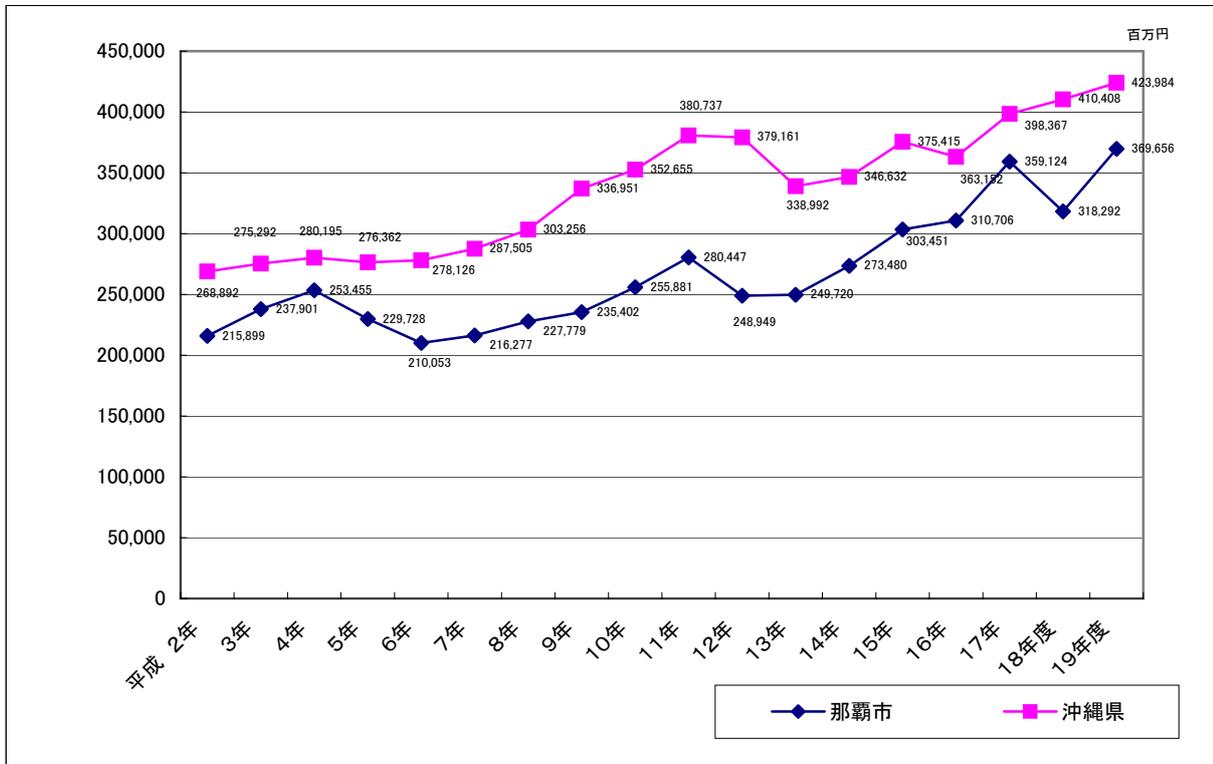
※平均宿泊日数については、「那覇市内での宿泊日数」の合計を「回答者数」で割って求める。

$$\text{那覇泊総合計}(1,624\text{泊}) \div \text{回答者数}(729\text{人}) = 2.2277\text{泊}$$

図表Ⅱ-9 年次別観光客一人当たり消費額内訳の推移(グラフ)



図表Ⅱ-10 年次別観光収入の推移(入込み観光客ベース)



※平成17年まで暦集計

## 2) 那覇市内の宿泊客数

平成19年度中の那覇市内の宿泊施設における延べ宿泊客数は、市内客室規模及び稼働状況から545万7,139人と推計される。

これをアンケート調査における平均宿泊日数で除し、市内宿泊数を算出した。その結果、那覇市内での宿泊客数は244万9,674人と推計される。

規模別で見ると、稼働率は各規模で前年を上回っている。延べ収容人員も各規模で増加している。

図表Ⅱ-11 入込み観光客(県外・外国)のうち、那覇市内の宿泊客(推計)

単位:人、日

規模	延べ収容人員 A	稼働率 B	延べ宿泊客数 A×B	那覇市内での宿泊 数 C	宿泊客数 (A×B)/C
大(300人以上)	3,839,800	0.754	2,895,209	2.2277	1,299,641
中(100~299人)	2,791,885	0.754	2,105,081	2.2277	944,957
小(100人未満)	605,900	0.754	456,849	2.2277	205,076
合計	7,237,585	—	5,457,139	—	2,449,674

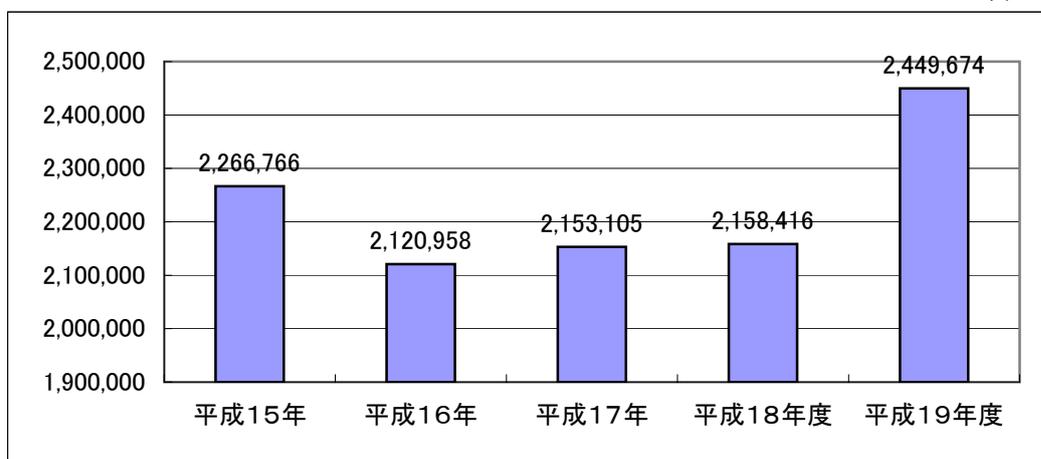
※延べ収容人員＝那覇市内宿泊施設の収容人員×365日

※那覇市内での宿泊数は観光客アンケート調査から推計

※稼働率:日本銀行那覇支店「県内主要ホテル客室稼働率」資料参照

図表Ⅱ-12 那覇市内宿泊の宿泊客数 過去5年間の推計(グラフ)

単位:人



図表Ⅱ-13 那覇市内の宿泊客数 過去5年間の推計

単位:人

	大規模	中規模	小規模	合計
平成15年	1,245,898	743,025	277,843	2,266,766
平成16年	1,134,838	756,835	229,285	2,120,958
平成17年	1,178,374	806,381	168,350	2,153,105
平成18年度	1,208,805	805,713	143,898	2,158,416
平成19年度	1,299,641	944,957	205,076	2,449,674

### Ⅲ.観光客アンケート調査の方法と結果

#### アンケートの調査の方法

##### (1)調査対象及び調査期間

平成19年4月1日から平成20年3月31日までに、那覇市内に宿泊した観光客を対象に行った。

##### (2)調査方法

那覇市内に所在する約100軒の宿泊施設に対して、調査協力を依頼し、各宿泊施設が宿泊客に対して調査票と返信用封筒を配布した。調査票の記入は、宿泊客が帰った後に自身で記入し、配布した返信用封筒によって返送してもらい、回収を行った。

宿泊施設に対する調査票の配布は年3回に分けて実施した。そのため、月別の回答者数にばらつきが生じている。

##### (3)調査項目

調査項目は、性別、年齢、居住地等の回答者の属性に関する項目、来県目的、来県動機、那覇市内で支出した費用、県内での移手段、みやげ品の購入状況、サービス面での問題点や改善して欲しい点、観光コース等の項目を設定し、調査した。

##### (4)調査票回収数及び有効回答数

- 調査票回収数 : 802 票
- うち有効回答数 : 802 票

図表Ⅲ-1 アンケートの質問項目

①年 齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代
	7. 70代	8. 80歳以上				
②性 別	1. 男	2. 女				
③住 所	都・道・府・県					
④職 業	1. 会社員	2. 公務員	3. 自営業	4. 農林漁業	5. 自由業	
	6. 学生	7. 主婦	8. 無職	9. その他( )		
⑤来県目的	1. 観光	2. 戦跡地参拝	3. 商用・社用	4. 公用	5. 観光兼用務	
	6. マリンレジャー	7. ゴルフ	8. 祭り・イベントの見物・参加			
	9. 新婚旅行	10. 大会・研修	11. その他( )			
⑥来県動機	1. 友人・知人のすすめ	2. 家族のすすめ	3. 雑誌等の宣伝物を見て			
	4. 旅行業者のすすめ	5. 前に来て良かったから	6. 一度来たかった			
	7. その他( )					
⑦来県回数	1. 初めて	2. 2回目	3. 3回目	4. 4回目以上		
⑧どなたと一緒にでしたか	1. 一人	2. 夫婦	3. 家族(ご自身含め 人)	4. 地域・職場の団体(ご自身も含め 人)		
	5. 友人・知人グループ	6. その他( )				
⑨旅行形態及び旅費の総額(一人当たりの旅行代金)	1. 団体旅行 _____ 円	2. 観光つきパッケージツアー _____ 円				
	3. 個人旅行 _____ 円	4. フリープラン型パッケージツアー _____ 円				
⑩那覇市内だけで支出した一人当たりの費用 (パッケージに含まれる料金を除いて下さい。お支払いのない項目は0とお書き下さい。)	1. 宿泊費 _____ 円	2. 交通費(航空運賃除く) _____ 円				
	3. みやげ品費 _____ 円	4. 飲食費 _____ 円				

⑪沖縄本島内での移動手段

1. 路線バス 2. 貸切バス 3. タクシー 4. レンタカー 5. モノレール  
6. 友人・知人の車 7. その他( )

⑫那覇市内でお買い求めになったおみやげ品や商品(いくつでも○をつけてください)

1. 陶器・漆器 2. 琉球ガラス製品 3. 泡盛 4. 洋酒 5. さんご製品  
6. 星砂・貝製品 7. 紅型・繊維製品 8. かりゆしウェア・Tシャツ 9. お菓子類  
10. 食品 11. 健康食品 12. 沖縄関係CD・楽器 13. 外国製品(ハンドバック・洋服等) 14. その他( )

⑬おみやげをお買い求めになった場所(いくつでも○をつけて下さい)

1. 市内ホテル 2. 国際通り周辺 3. 新都心 4. 空港 5. その他( )

⑭サービス面においての問題点や改善してほしい点(いくつでも○をつけて下さい)

1. みやげ品店の接客 2. ホテルでの接客 3. タクシー乗務員の接客  
4. 飲食店の接客 5. 道路案内表示 6. 交通機関の案内表示 7. 観光案内表示  
8. その他( )

⑮沖縄滞在日数 泊 日(うち那覇市内 泊 日) 年 月 日から

⑯滞在場所(お泊りになられた地区に○をつけて下さい)

	那覇市内		那覇市以外 (本島内)	本島周辺離島			離島	
	宿泊施設	宿泊施設以外		慶良間	久米島	その他	宮古	八重山
1泊目								
2泊目								
3泊目								
4泊目								
5泊目								
6泊目以上								

⑰滞在中どの観光地を巡りましたか(下記の中から該当する箇所にレ点をつけ、ご記入下さい)

(那覇市内)

- 首里城 (午前・午後・夕方以降)  
 識名園 (午前・午後・夕方以降)  
 国際通り (午前・午後・夕方以降)  
 牧志公設市場 (午前・午後・夕方以降)  
 新都心 (午前・午後・夕方以降)  
 壺屋周辺 (午前・午後・夕方以降)  
 福州園 (午前・午後・夕方以降)  
 てんぶす那覇 (午前・午後・夕方以降)  
 那覇市伝統工芸館 (午前・午後・夕方以降)  
 波の上ビーチ (午前・午後・夕方以降)  
 DFS (午前・午後・夕方以降)  
 その他 (午前・午後・夕方以降)

(那覇市外)

- 北部観光 ( 日目)  
 中部観光 ( 日目)  
 南部観光 ( 日目)  
 周辺離島 ( 日目)  
 その他 ( 日目)

⑱那覇市にほしい施設

1. アミューズメント施設 2. レストラン街 3. ショッピングモール  
4. 伝統工芸・芸能体験施設 5. スポーツ・レクリエーション施設  
6. 駐車場 7. 教養・文化施設 8. 大会・研修施設 9. その他( )  
10. 現状のままでよい

⑲那覇市の印象及び感想・意見・提言等

## 1. 回答者の属性

回答者の性別は「男性」409人(51.0%)「女性」384人(47.9%)となっており、平成18年度に比べ「女性」が約10%高くなっている。

年代別にみると「30代」が173人(21.6%)と最も多く、次に「40代」が167人(20.8%)「50代」が166人(20.7%)となっている。

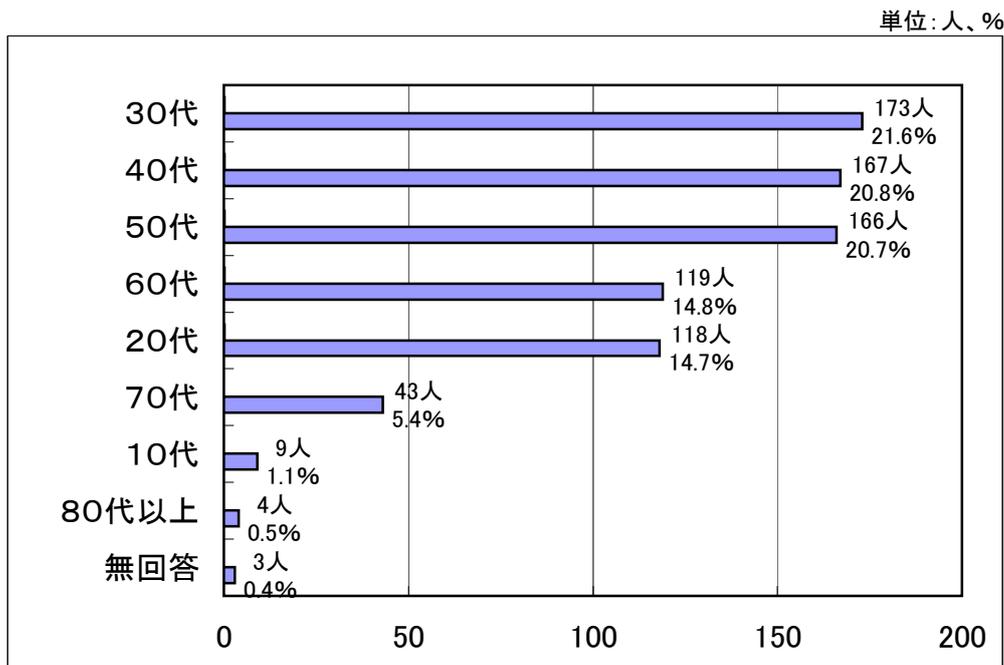
年代別の男女構成比では10代～30代で女性の回答割合が高いが、40代以降は男性の回答割合が高くなっている。職業別で見ると「会社員」が最も多く全体の43%を占める。職業別回答者比率の過去5年間の推移では、平成18年度に比べ「会社員」「公務員」が約4～5%減少しているのに比べ主婦が4%増えている。

回答者の居住地は、地域別で「南関東」が248人(30.9%)と最も多く、次いで「西近畿」116人(14.5%)中部105人(13.1%)の順となっている。

都道府県別では、「東京都」99人(12.3%)が最も多く、次いで「大阪府」77人(9.6%)埼玉県・千葉県がそれぞれ41人(5.1%)となっている。

月別の回答者数では「10月」が最も多く、147人(18.3%)となっており、次いで「2月」132人(16.4%)「4月」118人(14.7%)となっている。

図表Ⅲ-1-1 年代別回答者構成(グラフ)



図表Ⅲ-1-2 年代別・男女別回答者数及び構成比

単位:人(上段)、%(下段)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総計
男	3	27	74	102	85	84	31	3	0	409
女	6	89	98	65	80	33	12	1	0	384
無回答	0	2	1	0	1	2	0	0	3	9
総計	9	118	173	167	166	119	43	4	3	802
男	33.3	22.9	42.8	61.1	51.2	70.6	72.1	75.0	0.0	51.0
女	66.7	75.4	56.6	38.9	48.2	27.7	27.9	25.0	0.0	47.9
無回答	0.0	1.7	0.6	0.0	6.0	1.7	0.0	0.0	100.0	1.1
総計	1.1	14.7	21.6	20.8	20.7	14.8	5.4	0.5	0.4	100.0

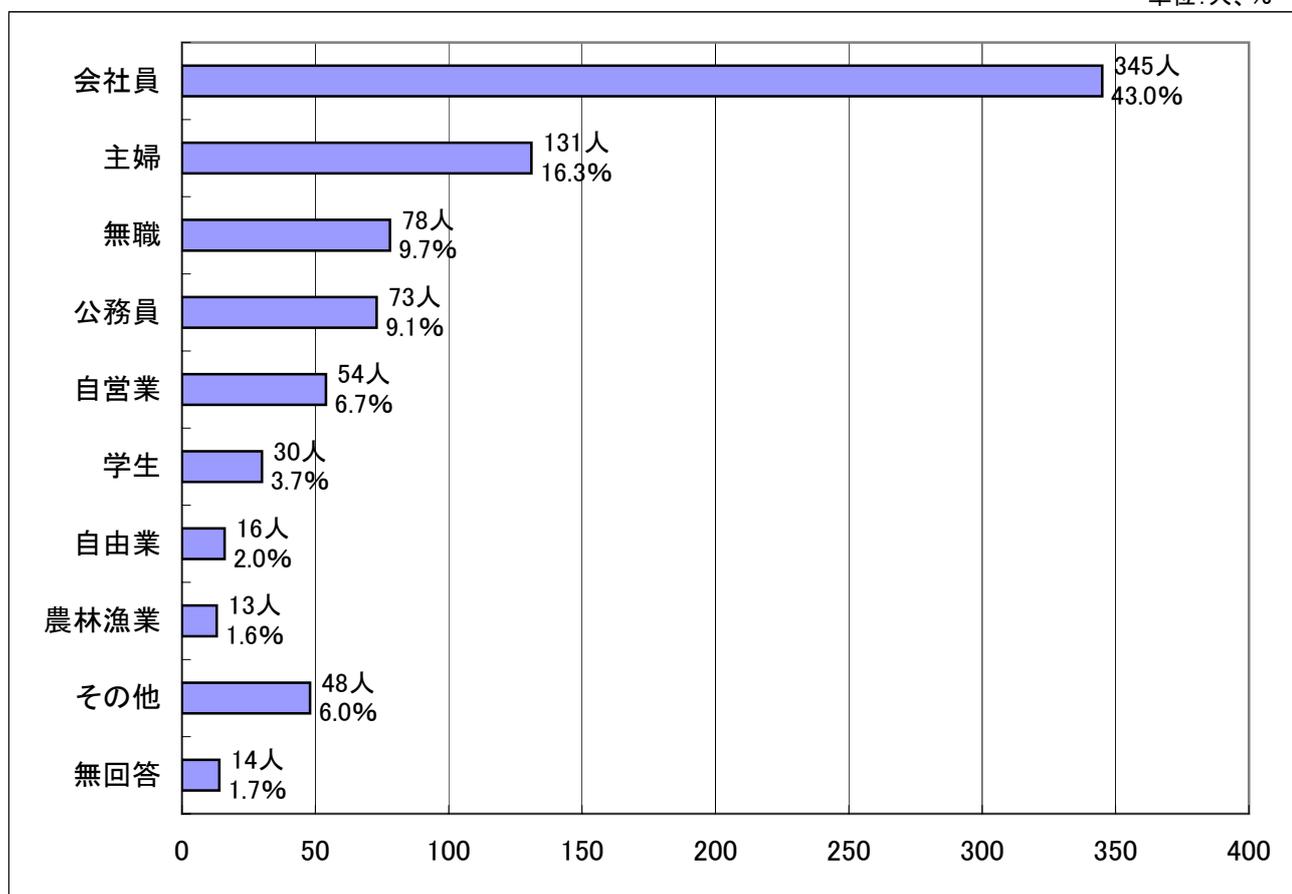
図表Ⅲ-1-3 職業別回答者数及び構成比

単位:人、%

区分	人数	構成比
会社員	345	43.0
公務員	73	9.1
自営業	54	6.7
農林漁業	13	1.6
自由業	16	2.0
学生	30	3.7
主婦	131	16.3
無職	78	9.7
その他	48	6.0
無回答	14	1.7
総計	802	100.0

図表Ⅲ-1-4 職業別構成

単位:人、%



図表Ⅲ-1-5 職業別回答者比率の推移(過去5年間)

単位:%

区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年度	平成19年度
会社員	37.9	38.0	40.5	48.8	43.0
公務員	15.7	13.7	14.3	13.3	9.1
自営業	7.6	5.1	9.0	7.3	6.7
農林漁業	0.9	0.9	0.5	0.9	1.6
自由業	3.7	2.4	2.5	1.7	2.0
学生	5.6	7.3	5.8	2.8	3.7
主婦	14.0	15.7	10.2	12.3	16.3
無職	8.1	6.6	8.3	7.5	9.7
その他	5.9	8.6	8.1	4.1	6.0

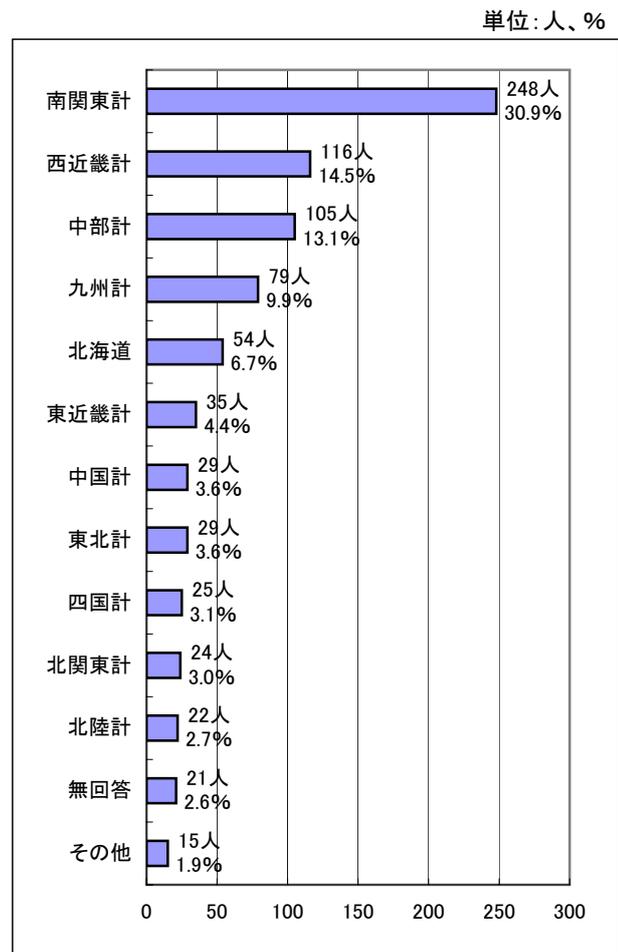
図表Ⅲ-1-6 居住地別の回答者数及び構成比

単位：人、%

都道府県名	人数	構成比
<b>北海道</b>	<b>54</b>	<b>6.7</b>
青森県	1	0.1
岩手県	3	0.4
宮城県	12	1.5
秋田県	3	0.4
山形県	2	0.2
福島県	8	1.0
<b>東北計</b>	<b>29</b>	<b>3.6</b>
茨城県	8	1.0
栃木県	8	1.0
群馬県	8	1.0
<b>北関東計</b>	<b>24</b>	<b>3.0</b>
埼玉県	41	5.1
千葉県	41	5.1
東京都	99	12.3
神奈川県	67	8.4
<b>南関東計</b>	<b>248</b>	<b>30.9</b>
新潟県	11	1.4
富山県	1	0.1
石川県	6	0.7
福井県	4	0.5
<b>北陸計</b>	<b>22</b>	<b>2.7</b>
山梨県	4	0.5
長野県	13	1.6
岐阜県	9	1.1
静岡県	16	2.0
愛知県	55	6.9
三重県	8	1.0
<b>中部計</b>	<b>105</b>	<b>13.1</b>
滋賀県	7	0.9
京都府	17	2.1
奈良県	8	1.0
和歌山県	3	0.4
<b>東近畿計</b>	<b>35</b>	<b>4.4</b>
大阪府	77	9.6
兵庫県	39	4.9
<b>西近畿計</b>	<b>116</b>	<b>14.5</b>

単位：人、%

都道府県名	人数	構成比
鳥取県	2	0.2
島根県	0	0.0
岡山県	10	1.2
広島県	12	1.5
山口県	5	0.6
<b>中国計</b>	<b>29</b>	<b>3.6</b>
徳島県	5	0.6
香川県	16	2.0
愛媛県	0	0.0
高知県	4	0.5
<b>四国計</b>	<b>25</b>	<b>3.1</b>
福岡県	49	6.1
長崎県	6	0.7
大分県	4	0.5
熊本県	8	1.0
佐賀県	5	0.6
宮崎県	3	0.4
鹿児島県	4	0.5
<b>九州計</b>	<b>79</b>	<b>9.9</b>
その他(沖縄県・外国)	15	1.9
無回答	21	2.6
<b>総計</b>	<b>802</b>	<b>100.0</b>



図表Ⅲ-1-7 月別・年代別回答者数

単位：人(上段)、%(下段)

年代	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	無回答	総計
10代	0	2	3	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	9
20代	3	18	8	10	8	2	4	1	29	28	4	3	0	118
30代	6	23	12	31	11	6	8	7	19	39	5	6	0	173
40代	3	25	14	30	7	11	7	9	21	28	5	7	0	167
50代	5	37	18	21	8	10	5	0	17	25	13	7	0	166
60代	6	19	27	16	8	2	3	0	7	19	4	8	0	119
70代	0	7	9	10	3	2	0	0	0	7	3	2	0	43
80代以上	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4
無回答	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
総計	23	132	94	118	45	36	27	17	96	147	34	33	0	802
10代	0.0	1.5	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.7	0.0	0.0		1.1
20代	13.0	13.6	8.5	8.5	17.8	5.6	14.8	5.9	30.2	19.0	11.8	9.1		14.7
30代	26.1	17.4	12.8	26.3	24.4	16.7	29.6	41.2	19.8	26.5	14.7	18.2		21.6
40代	13.0	18.9	14.9	25.4	15.6	30.6	25.9	52.9	21.9	19.0	14.7	21.2		20.8
50代	21.7	28.0	19.1	17.8	17.8	27.8	18.5	0.0	17.7	17.0	38.2	21.2		20.7
60代	26.1	14.4	28.7	13.6	17.8	5.6	11.1	0.0	7.3	12.9	11.8	24.2		14.8
70代	0.0	5.3	9.6	8.5	6.7	5.6	0.0	0.0	0.0	4.8	8.8	6.1		5.4
80代以上	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.5
無回答	0.0	0.8	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.4
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0

図表Ⅲ-1-8 年代別回答者比率の推移(過去5年間)

単位：%

区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年度	平成19年度
10代	1.9	2.2	2.6	1.5	1.1
20代	14.4	18.2	14.6	11.6	14.7
30代	23.4	23.5	23.2	25.8	21.6
40代	21.5	23.2	21.9	24.5	20.8
50代	20.4	16.4	19.8	21.7	20.7
60代以上	17.9	15.5	17.4	14.8	20.7

図表Ⅲ-1-9 月別・職業別回答者数

単位：人(上段)、%(下段)

職業	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	無回答	総計
会社員	7	45	35	51	21	17	10	7	48	76	18	10	0	345
公務員	3	10	10	10	4	2	2	1	13	14	0	4	0	73
自営業	2	9	6	13	4	2	1	0	3	7	3	4	0	54
農林漁業	0	3	3	2	0	1	0	0	2	1	0	1	0	13
自由業	2	2	2	4	0	2	0	1	1	2	0	0	0	16
学生	0	11	4	1	0	0	2	0	5	6	1	0	0	30
主婦	4	25	18	17	8	3	4	6	18	18	4	6	0	131
無職	3	15	10	11	6	3	4	0	3	12	7	4	0	78
その他	2	7	3	8	2	5	3	2	2	10	1	3	0	48
無回答	0	5	3	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	14
総計	23	132	94	118	45	36	27	17	96	147	34	33	0	802
会社員	30.4	34.1	37.2	43.2	46.7	47.2	37.0	41.2	50.0	51.7	52.9	30.3		43.0
公務員	13.0	7.6	10.6	8.5	8.9	5.6	7.4	5.9	13.5	9.5	0.0	12.1		9.1
自営業	8.7	6.8	6.4	11.0	8.9	5.6	3.7	0.0	3.1	4.8	8.8	12.1		6.7
農林漁業	0.0	2.3	3.2	1.7	0.0	2.8	0.0	0.0	2.1	0.7	0.0	3.0		1.6
自由業	8.7	1.5	2.1	3.4	0.0	5.6	0.0	5.9	1.0	1.4	0.0	0.0		2.0
学生	0.0	8.3	4.3	0.8	0.0	0.0	7.4	0.0	5.2	4.1	2.9	0.0		3.7
主婦	17.4	18.9	19.1	14.4	17.8	8.3	14.8	35.3	18.8	12.2	11.8	18.2		16.3
無職	13.0	11.4	10.6	9.3	13.3	8.3	14.8	0.0	3.1	8.2	20.6	12.1		9.7
その他	8.7	5.3	3.2	6.8	4.4	13.9	11.1	11.8	2.1	6.8	2.9	9.1		6.0
無回答	0.0	3.8	3.2	0.8	0.0	2.8	3.7	0.0	1.0	0.7	0.0	3.0		1.7
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0

## 2. 来訪目的

来訪目的は「観光」と回答した方が、528人(65.8%)と最も多くなっている。次いで「マリンレジャー」が72人(9.0%)、「商用・社用」が62人(7.7%)、「観光兼用務」が50人(6.2%)となっている。

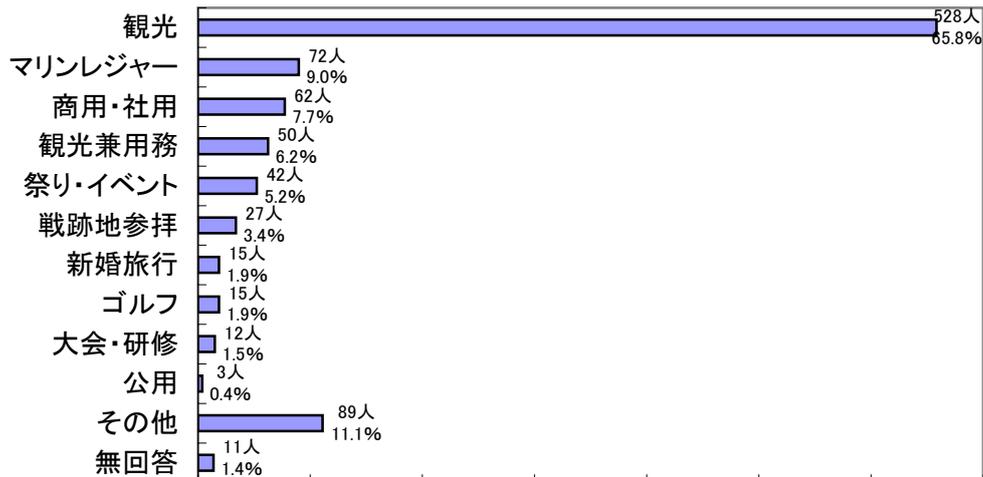
年代別では、各年代とも「観光」が最も多い。「マリンレジャー」は30代、「商用・社用」は40代の割合が高くなっている。

職業別の来訪目的を見ると、全ての職業区分で「観光」の割合が高くなっている。

また、「会社員」で「商用・社用」が51人(14.8%)と高い割合となっている。

図表Ⅲ-2-1 来訪目的回答者数(複数回答有効)

単位: 人、%



図表Ⅲ-2-2 年代別・来訪目的(複数回答有)

単位: 人(上段)、%(下段)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総計
観光	6	90	125	91	105	79	29	3	0	528
戦跡地参拝	0	3	7	2	5	3	5	2	0	27
商用・社用	0	3	13	24	16	5	1	0	0	62
公用	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3
観光兼用務	0	5	9	16	11	8	1	0	0	50
マリンレジャー	0	17	25	14	9	6	1	0	0	72
ゴルフ	0	0	0	1	10	3	1	0	0	15
祭り・イベント	0	3	9	9	11	9	1	0	0	42
新婚旅行	0	10	5	0	0	0	0	0	0	15
大会・研修	0	1	0	3	3	3	2	0	0	12
その他	3	8	13	17	21	18	9	0	0	89
無回答	0	1	0	3	2	1	1	0	3	11
観光	66.7	76.3	72.3	54.5	63.3	66.4	67.4	75.0	0.0	65.8
戦跡地参拝	0.0	2.5	4.0	1.2	3.0	2.5	11.6	50.0	0.0	3.4
商用・社用	0.0	2.5	7.5	14.4	9.6	4.2	2.3	0.0	0.0	7.7
公用	0.0	0.8	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
観光兼用務	0.0	4.2	5.2	9.6	6.6	6.7	2.3	0.0	0.0	6.2
マリンレジャー	0.0	14.4	14.5	8.4	5.4	5.0	2.3	0.0	0.0	9.0
ゴルフ	0.0	0.0	0.0	0.6	6.0	2.5	2.3	0.0	0.0	1.9
祭り・イベント	0.0	2.5	5.2	5.4	6.6	7.6	2.3	0.0	0.0	5.2
新婚旅行	0.0	8.5	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
大会・研修	0.0	0.8	0.0	1.8	1.8	2.5	4.7	0.0	0.0	1.5
その他	33.3	6.8	7.5	10.2	12.7	15.1	20.9	0.0	0.0	11.1
無回答	0.0	0.8	0.0	1.8	1.2	0.8	2.3	0.0	100.0	1.4
有効回答数	9	118	173	167	166	119	43	4	3	802

回答割合 = 回答数 ÷ 有効回答数

図表Ⅲ-2-3 職業別来訪目的(複数回答有)

単位:人(上段)、%(下段)

区分	会社員	公務員	自営業	農林漁業	自由業	学生	主婦	無職	その他	無回答	総計
観光	219	43	33	7	10	23	105	55	24	9	528
戦跡地参拝	9	0	1	2	0	1	4	7	2	1	27
商用・社用	51	2	5	0	1	0	0	0	3	0	62
公用	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
観光兼用務	14	8	8	3	2	1	4	3	7	0	50
マリンレジャー	41	6	2	1	1	1	13	4	3	0	72
ゴルフ	7	1	3	0	0	0	1	2	1	0	15
祭り・イベント	19	1	1	1	2	1	7	8	1	1	42
新婚旅行	6	5	1	0	0	0	3	0	0	0	15
大会・研修	2	2	1	1	1	0	0	2	3	0	12
その他	22	6	4	1	2	8	16	6	11	13	89
無回答	4	1	1	0	0	0	1	0	1	3	11
観光	63.5	58.9	61.1	53.8	62.5	76.7	80.2	70.5	50.0	64.3	65.8
戦跡地参拝	2.6	0.0	1.9	15.4	0.0	3.3	3.1	9.0	4.2	7.1	3.4
商用・社用	14.8	2.7	9.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	7.7
公用	0.0	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
観光兼用務	4.1	11.0	14.8	23.1	12.5	3.3	3.1	3.8	14.6	0.0	6.2
マリンレジャー	11.9	8.2	3.7	7.7	6.3	3.3	9.9	5.1	6.3	0.0	9.0
ゴルフ	2.0	1.4	5.6	0.0	0.0	0.0	0.8	2.6	2.1	0.0	1.9
祭り・イベント	5.5	1.4	1.9	7.7	12.5	3.3	5.3	10.3	2.1	7.1	5.2
新婚旅行	1.7	6.8	1.9	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	1.9
大会・研修	0.6	2.7	1.9	7.7	6.3	0.0	0.0	2.6	6.3	0.0	1.5
その他	6.4	8.2	7.4	7.7	12.5	26.7	12.2	7.7	22.9	92.9	11.1
無回答	1.2	1.4	1.9	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	2.1	21.4	1.4
有効回答数	345	73	54	13	16	30	131	78	48	14	802

回答割合=回答数÷有効回答数

### 3. 来訪動機

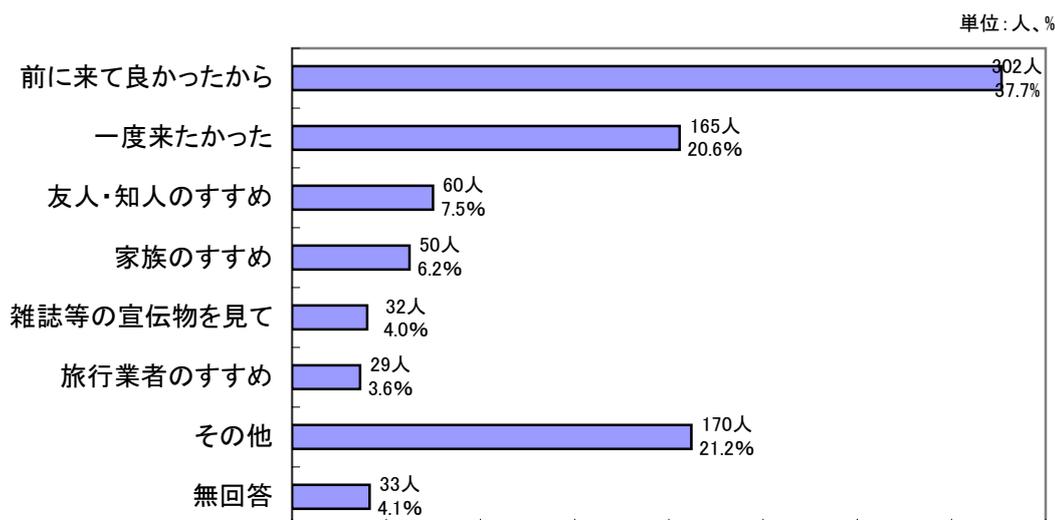
来訪動機では「前に来て良かったから」と回答した人が 302 人(37.7%)と最も多く、次いでその他 170 人(21.2%)、「一度来たかった」が165人(20.6%)となっている。

来訪回数が多いほど「前に来て良かったから」との回答が増加傾向にあり、リピーターの増加している動向が伺える。前年と比較して大きな伸びをしているのが「旅行業者のすすめ」29人(3.6%)である。

年度別に見ると「前に来て良かったから」が30～50代で高いスコアを示している。

「一度来たかった」が特に20代44人(37.3%)と最も高くなっている。

図表Ⅲ-3-1 来訪動機回答者数



図表Ⅲ-3-2 年代別来訪動機(複数回答有)

単位：人(上段)、%(下段)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総計
友人・知人のすすめ	1	9	14	8	14	6	7	1	0	60
家族のすすめ	0	7	8	9	8	13	5	0	0	50
雑誌等の宣伝物を見て	0	2	5	4	5	13	3	0	0	32
旅行業者のすすめ	0	2	3	5	11	3	5	0	0	29
前に来て良かったから	0	47	79	69	60	36	10	1	0	302
一度来たかった	4	44	26	25	30	27	8	1	0	165
その他	4	11	40	45	36	25	8	1	0	170
無回答	0	2	5	7	9	4	3	0	3	33
友人・知人のすすめ	11.1	7.6	8.1	4.8	8.4	5.0	16.3	25.0	0.0	7.5
家族のすすめ	0.0	5.9	4.6	5.4	4.8	10.9	11.6	0.0	0.0	6.2
雑誌等の宣伝物を見て	0.0	1.7	2.9	2.4	3.0	10.9	7.0	0.0	0.0	4.0
旅行業者のすすめ	0.0	1.7	1.7	3.0	6.6	2.5	11.6	0.0	0.0	3.6
前に来て良かったから	0.0	39.8	45.7	41.3	36.1	30.3	23.3	25.0	0.0	37.7
一度来たかった	44.4	37.3	15.0	15.0	18.1	22.7	18.6	25.0	0.0	20.6
その他	44.4	9.3	23.1	26.9	21.7	21.0	18.6	25.0	0.0	21.2
無回答	0.0	1.7	2.9	4.2	5.4	3.4	7.0	0.0	100.0	4.1
有効回答数	9	118	173	167	166	119	43	4	3	802

図表Ⅲ-3-3 職業別来訪動機(複数回答有)

単位:人(上段)、%(下段)

区分	会社員	公務員	自営業	農林漁業	自由業	学生	主婦	無職	その他	無回答	総計
友人・知人のすすめ	16	10	3	4	1	3	6	10	5	2	60
家族のすすめ	15	5	2	0	2	0	15	6	2	3	50
雑誌等の宣伝物を見て	8	1	2	0	0	1	13	5	1	1	32
旅行業者のすすめ	10	2	3	0	1	0	2	7	4	0	29
前に来て良かったから	148	25	20	1	8	6	48	27	19	0	302
一度来たかった	60	18	8	5	2	15	32	15	8	2	165
その他	83	12	16	3	1	5	26	11	11	2	170
無回答	15	3	1	0	2	0	3	4	1	4	33
友人・知人のすすめ	4.6	13.7	5.6	30.8	6.3	10.0	4.6	12.8	10.4	14.3	7.5
家族のすすめ	4.3	6.8	3.7	0.0	12.5	0.0	11.5	7.7	4.2	21.4	6.2
雑誌等の宣伝物を見て	2.3	1.4	3.7	0.0	0.0	3.3	9.9	6.4	2.1	7.1	4.0
旅行業者のすすめ	2.9	2.7	5.6	0.0	6.3	0.0	1.5	9.0	8.3	0.0	3.6
前に来て良かったから	42.9	34.2	37.0	7.7	50.0	20.0	36.6	34.6	39.6	0.0	37.7
一度来たかった	17.4	24.7	14.8	38.5	12.5	50.0	24.4	19.2	16.7	14.3	20.6
その他	24.1	16.4	29.6	23.1	6.3	16.7	19.8	14.1	22.9	14.3	21.2
無回答	4.3	4.1	1.9	0.0	12.5	0.0	2.3	5.1	2.1	28.6	4.1
有効回答数	345	73	54	13	16	30	131	78	48	14	802

図表Ⅲ-3-4 来訪回数別来訪動機(複数回答有)

単位:人(上段)、%(下段)

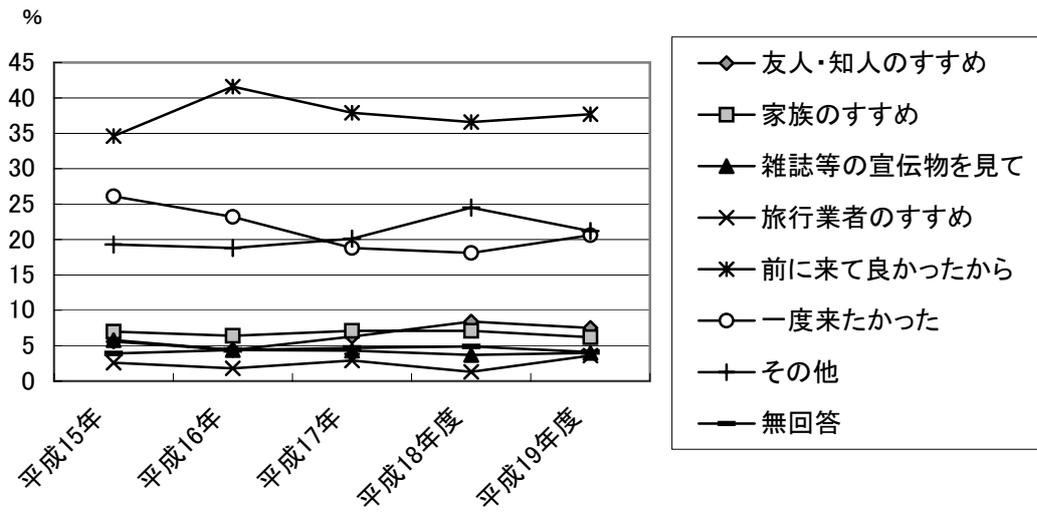
区分	初めて	2回目	3回目	4回目以上	無回答	総計
友人・知人のすすめ	24	11	4	21	0	60
家族のすすめ	17	11	6	16	0	50
雑誌等の宣伝物を見て	14	7	5	6	0	32
旅行業者のすすめ	18	3	1	6	1	29
前に来て良かったから	3	67	49	182	1	302
一度来たかった	139	17	1	6	2	165
その他	22	21	20	106	1	170
無回答	5	4	5	16	3	33
友人・知人のすすめ	10.7	7.9	4.8	6.0	0.0	7.5
家族のすすめ	7.6	7.9	7.2	4.6	0.0	6.2
雑誌等の宣伝物を見て	6.3	5.0	6.0	1.7	0.0	4.0
旅行業者のすすめ	8.0	2.2	1.2	1.7	12.5	3.6
前に来て良かったから	1.3	48.2	59.0	52.3	12.5	37.7
一度来たかった	62.1	12.2	1.2	1.7	25.0	20.6
その他	9.8	15.1	24.1	30.5	12.5	21.2
無回答	2.2	2.9	6.0	4.6	37.5	4.1
有効回答数	224	139	83	348	8	802

図表Ⅲ-3-5 来訪動機の推移(過去5年間)

単位:%

区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年度	平成19年度
友人・知人のすすめ	5.6	4.4	6.3	8.4	7.5
家族のすすめ	7.0	6.4	7.1	7.1	6.2
雑誌等の宣伝物を見て	5.8	4.4	4.3	3.7	4.0
旅行業者のすすめ	2.6	1.8	2.9	1.3	3.6
前に来て良かったから	34.6	41.6	37.9	36.6	37.7
一度来たかった	26.1	23.2	18.8	18.1	20.6
その他	19.3	18.8	20.1	24.5	21.2
無回答	3.9	4.4	4.7	4.9	4.1

図表Ⅲ-3-6 来訪動機の推移(グラフ)



## 4. 来訪回数

沖縄県への来訪回数では「4回以上」と回答した人 348 人(43.4%)と最も多く、次いで「初めて」224 人(27.9%)、「2回目」139人(17.3%)、「3回目」83人(10.3%)となっており、2回目以上のリピーターが全体の71.1%を占めている。

年代別では「初めて」の回答者が「10代」7人(77.8%)、「20代」50人(42.4%)と最も多くなっている。それ以上の年代では、「4回目以上」が「30代」73人(42.2%)、「40代」96人(57.5%)、「50代」89人(53.6%)、「60代」49人(41.2%)となっており、「40代」、「50代」で特にリピーターの比率が高くなっている。又「60代」、「70代」で「初めて」の割合も高くなっており、定年後に初めて沖縄を訪れる観光客も多いことが伺える。

職業別でみると「会社員」、「公務員」、「自営業」で「4回目以上」が高くなっているが、「初めて」の割合も次いで高い値を示している。注目すべき点として「主婦」が「4回目以上」と「初めて」が高い値を示しており「主婦」層に対する旅行商品企画等で、その増加を図る施策が必要である。

来訪目的別でみると、「観光」、「商用・社用」、「公用」、「観光兼用務」、「マリンレジャー」、「ゴルフ」、「祭り・イベント」を目的とした観光客は「4回目以上」のリピーターの割合が高く、「観光」で「初めて」の割合もリピーターとほぼ同じ値である。

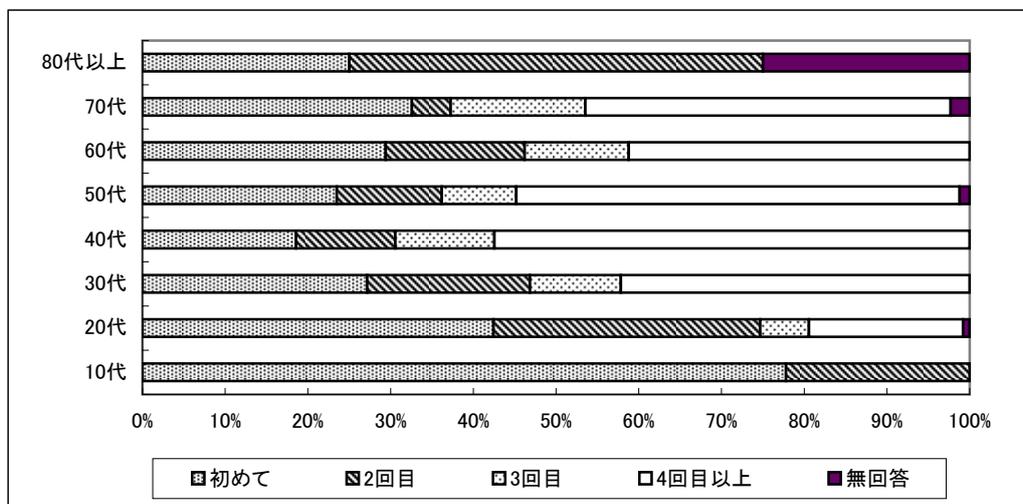
来訪回数の過去5年間の推移では「初めて」と「4回目以上」の推移の大きな変化は見られないが、平成15年以降増加傾向であった「リピーター」が初めて減少し、「初めて」が増加した。

図表Ⅲ-4-1 年代別来訪回数

単位：人(上段)、%(下段)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総計
初めて	7	50	47	31	39	35	14	1	0	224
2回目	2	38	34	20	21	20	2	2	0	139
3回目	0	7	19	20	15	15	7	0	0	83
4回目以上	0	22	73	96	89	49	19	0	0	348
無回答	0	1	0	0	2	0	1	1	3	8
総計	9	118	173	167	166	119	43	4	3	802
初めて	77.8	42.4	27.2	18.6	23.5	29.4	32.6	25.0	0.0	27.9
2回目	22.2	32.2	19.7	12.0	12.7	16.8	4.7	50.0	0.0	17.3
3回目	0.0	5.9	11.0	12.0	9.0	12.6	16.3	0.0	0.0	10.3
4回目以上	0.0	18.6	42.2	57.5	53.6	41.2	44.2	0.0	0.0	43.4
無回答	0.0	0.8	0.0	0.0	1.2	0.0	2.3	25.0	100.0	1.0
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ-4-2 年代別来訪回数(グラフ)



図表Ⅲ-4-3 職業別来訪回数

単位：人(上段)、%(下段)

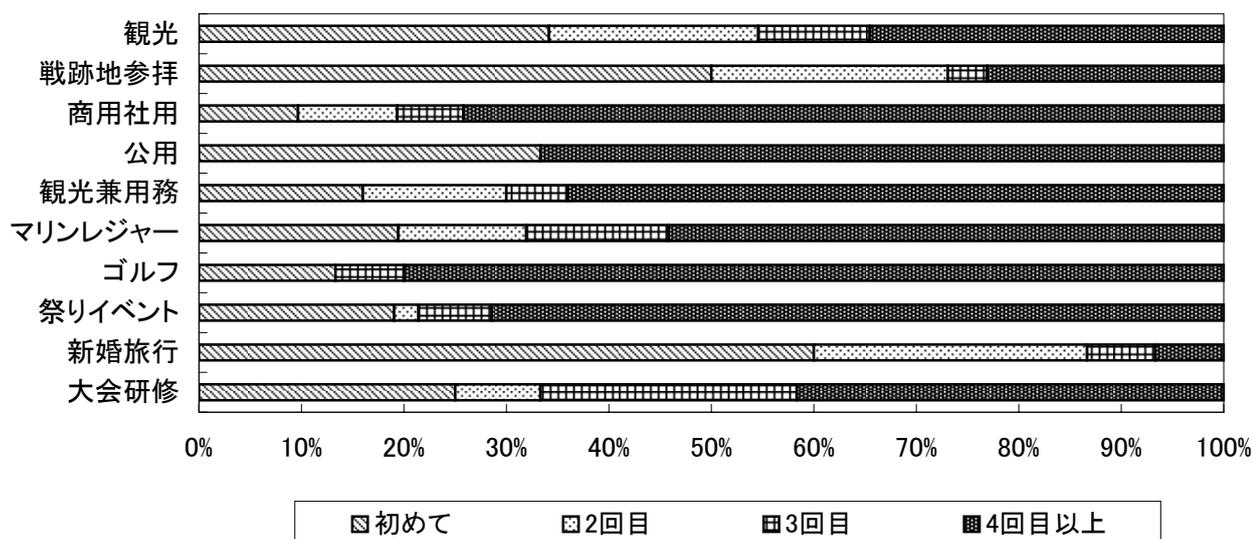
区分	会社員	公務員	自営業	農林漁業	自由業	学生	主婦	無職	その他	無回答	総計
初めて	90	20	10	6	2	14	45	20	14	3	224
2回目	52	13	10	1	4	12	27	7	10	3	139
3回目	36	10	4	3	3	1	11	11	3	1	83
4回目以上	165	30	30	3	7	2	48	38	21	4	348
無回答	2	0	0	0	0	1	0	2	0	3	8
	345	73	54	13	16	30	131	78	48	14	802
初めて	26.1	27.4	18.5	46.2	12.5	46.7	34.4	25.6	29.2	21.4	27.9
2回目	15.1	17.8	18.5	7.7	25.0	40.0	20.6	9.0	20.8	21.4	17.3
3回目	10.4	13.7	7.4	23.1	18.8	3.3	8.4	14.1	6.3	7.1	10.3
4回目以上	47.8	41.1	55.6	23.1	43.8	6.7	36.6	48.7	43.8	28.6	43.4
無回答	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	2.6	0.0	21.4	1.0
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ-4-4 来訪目的別来訪回数(複数回答有)

単位：人(上段)、%(下段)

区分	観光	戦跡地参拝	商用社用	公用	観光兼用務	マリレジャー	ゴルフ	祭りイベント	新婚旅行	大会研修	その他	無回答	有効回答数
初めて	179	13	6	1	8	14	2	8	9	3	11	2	256
2回目	107	6	6	0	7	9	0	1	4	1	14	1	156
3回目	57	1	4	0	3	10	1	3	1	3	11	2	96
4回目以上	181	6	46	2	32	39	12	30	1	5	52	3	409
無回答	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	9
総計	528	27	62	3	50	72	15	42	15	12	89	11	926
初めて	33.9	48.1	9.7	33.3	16.0	19.4	13.3	19.0	60.0	25.0	12.4	18.2	27.6
2回目	20.3	22.2	9.7	0.0	14.0	12.5	0.0	2.4	26.7	8.3	15.7	9.1	16.8
3回目	10.8	3.7	6.5	0.0	6.0	13.9	6.7	7.1	6.7	25.0	12.4	18.2	10.4
4回目以上	34.3	22.2	74.2	66.7	64.0	54.2	80.0	71.4	6.7	41.7	58.4	27.3	44.2
無回答	0.8	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	27.3	1.0
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ-4-5 来訪目的別来訪回数(グラフ)



図表Ⅲ-4-6 月別来訪回数

単位：人(上段)、%(下段)

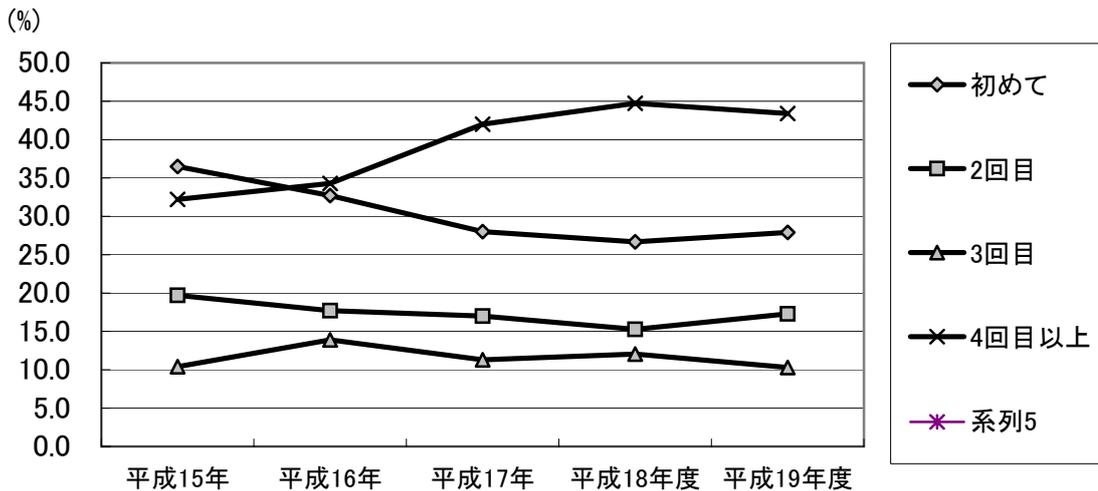
区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	無回答	総計
初めて	6	41	29	35	12	11	6	6	25	34	9	10	0	224
2回目	5	27	17	17	5	7	4	2	18	31	3	3	0	139
3回目	0	18	11	14	4	2	2	1	12	12	1	6	0	83
4回目以上	12	43	35	52	24	14	15	8	41	70	20	14	0	348
無回答	0	3	2	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	8
総計	23	132	94	118	45	36	27	17	96	147	34	33	0	802
初めて	26.1	31.1	30.9	29.7	26.7	30.6	22.2	35.3	26.0	23.1	26.5	30.3	0.0	27.9
2回目	21.7	20.5	18.1	14.4	11.1	19.4	14.8	11.8	18.8	21.1	8.8	9.1	0.0	17.3
3回目	0.0	13.6	11.7	11.9	8.9	5.6	7.4	5.9	12.5	8.2	2.9	18.2	0.0	10.3
4回目以上	52.2	32.6	37.2	44.1	53.3	38.9	55.6	47.1	42.7	47.6	58.8	42.4	0.0	43.4
無回答	0.0	2.3	2.1	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	1.0
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0

図表Ⅲ-4-7 来訪回数別回答者比率の推移(過去5年間)

単位：%

区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年度	平成19年度
初めて	36.5	32.7	28.0	26.7	27.9
2回目	19.7	17.7	17.0	15.3	17.3
3回目	10.4	13.9	11.3	12.0	10.3
4回目以上	32.2	34.3	42.0	44.7	43.4
無回答	1.3	1.5	1.7	1.3	1.0
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
初めて リピーター	36.5	32.7	28.0	26.7	27.9
リピーター	62.3	65.9	70.3	72.0	71.1

図表Ⅲ-4-8 来訪回数別回答者比率の推移(グラフ)



## 5. 旅行形態(旅行の同行者)

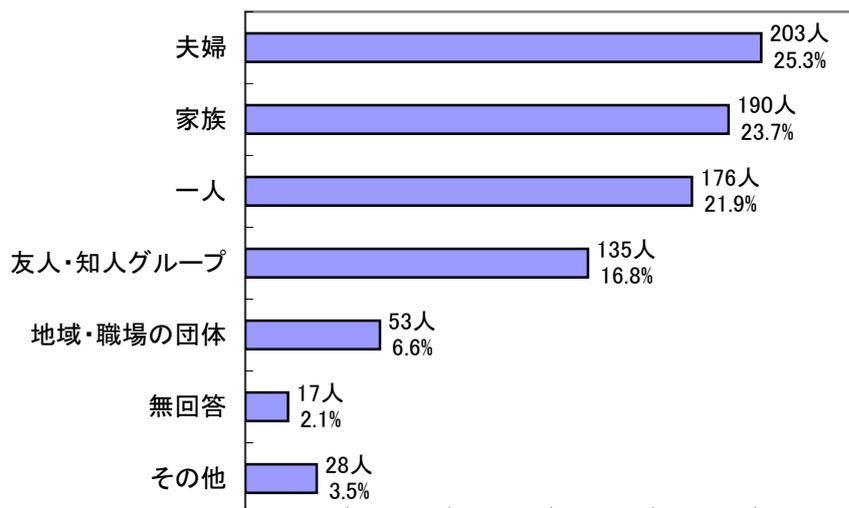
旅行の同行者についての設問では「夫婦」203人(25.3%)、次いで「家族」190人(23.7%)、「一人」176人(21.9%)、「友人・知人グループ」135人(16.8%)となっている。

昨年との比較で一人旅より夫婦での旅が増加しており、年々同行者の形態に変化がみられる。

来訪目的別では、すべての同行者の形態で「観光」目的が高くなっている。昨年と比較して「マリンレジャー」目的が「商用・社用」を上回っており、来訪目的の変化がみられる。

図表Ⅲ-5-1 旅行同行者(グラフ)

単位:人、%



図表Ⅲ-5-2 年代別旅行同行者

単位:人(上段)、%(下段)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総計
一人	1	19	33	51	36	29	6	1	0	176
夫婦	0	23	41	29	47	44	18	1	0	203
家族	4	23	51	43	38	23	8	0	0	190
地域・職場の団体	0	3	12	14	15	8	1	0	0	53
友人・知人グループ	2	45	30	20	18	12	7	1	0	135
その他	1	4	4	8	4	3	3	1	0	28
無回答	1	1	2	2	8	0	0	0	3	17
総計	9	118	173	167	166	119	43	4	3	802
一人	11.1	16.1	19.1	30.5	21.7	24.4	14.0	25.0	0.0	21.9
夫婦	0.0	19.5	23.7	17.4	28.3	37.0	41.9	25.0	0.0	25.3
家族	44.4	19.5	29.5	25.7	22.9	19.3	18.6	0.0	0.0	23.7
地域・職場の団体	0.0	2.5	6.9	8.4	9.0	6.7	2.3	0.0	0.0	6.6
友人・知人グループ	22.2	38.1	17.3	12.0	10.8	10.1	16.3	25.0	0.0	16.8
その他	11.1	3.4	2.3	4.8	2.4	2.5	7.0	25.0	0.0	3.5
無回答	11.1	0.8	1.2	1.2	4.8	0.0	0.0	0.0	100.0	2.1
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ-5-3 職業別旅行同行者

単位：人(上段)、%(下段)

区分	会社員	公務員	自営業	農林漁業	自由業	学生	主婦	無職	その他	無回答	総計
一人	90	15	16	2	5	4	6	22	15	1	176
夫婦	72	20	12	3	2	1	50	31	9	3	203
家族	67	15	10	3	5	7	62	7	9	5	190
地域・職場の団体	29	10	4	3	1	0	1	2	3	0	53
友人・知人グループ	68	10	8	1	2	17	9	12	7	1	135
その他	15	2	1	1	0	1	2	1	2	0	25
無回答	4	1	3	0	1	0	1	3	3	4	20
総計	345	73	54	13	16	30	131	78	48	14	802
一人	26.1	20.5	29.6	15.4	31.3	13.3	4.6	28.2	31.3	7.1	21.9
夫婦	20.9	27.4	22.2	23.1	12.5	3.3	38.2	39.7	18.8	21.4	25.3
家族	19.4	20.5	18.5	23.1	31.3	23.3	47.3	9.0	18.8	35.7	23.7
地域・職場の団体	8.4	13.7	7.4	23.1	6.3	0.0	0.8	2.6	6.3	0.0	6.6
友人・知人グループ	19.7	13.7	14.8	7.7	12.5	56.7	6.9	15.4	14.6	7.1	16.8
その他	4.3	2.7	1.9	7.7	0.0	3.3	1.5	1.3	4.2	0.0	3.1
無回答	1.2	1.4	5.6	0.0	6.3	0.0	0.8	3.8	6.3	28.6	2.5
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ-5-4 来訪目的別旅行同行者(複数回答有)

単位：人(上段)、%(下段)

区分	観光	戦跡地参拝	商用・社用	公用	観光兼用務	マリンレジャー	ゴルフ	祭りイベント	新婚旅行	大会研修	その他	無回答	有効回答数
一人	75	3	38	1	20	7	2	15	0	5	29	2	176
夫婦	142	13	1	0	8	18	2	12	15	1	22	5	203
家族	155	7	1	0	9	21	1	7	0	0	19	1	190
地域・職場の団体	25	1	11	1	8	3	2	0	0	5	3	0	53
友人・知人グループ	106	3	2	0	3	19	6	6	0	1	12	0	135
その他	16	0	7	1	0	2	1	0	0	0	2	0	25
無回答	9	0	2	0	2	2	1	2	0	0	2	3	20
総計	528	27	62	3	50	72	15	42	15	12	89	11	802
一人	14.2	11.1	61.3	33.3	40.0	9.7	13.3	35.7	0.0	41.7	32.6	18.2	21.9
夫婦	26.9	48.1	1.6	0.0	16.0	25.0	13.3	28.6	100.0	8.3	24.7	45.5	25.3
家族	29.4	25.9	1.6	0.0	18.0	29.2	6.7	16.7	0.0	0.0	21.3	9.1	23.7
地域・職場の団体	4.7	3.7	17.7	33.3	16.0	4.2	13.3	0.0	0.0	41.7	3.4	0.0	6.6
友人・知人グループ	20.1	11.1	3.2	0.0	6.0	26.4	40.0	14.3	0.0	8.3	13.5	0.0	16.8
その他	3.0	0.0	11.3	33.3	0.0	2.8	6.7	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	3.1
無回答	1.7	0.0	3.2	0.0	4.0	2.8	6.7	4.8	0.0	0.0	2.2	27.3	2.5
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 6. 旅行形態(個人旅行・団体旅行・フリープラン・パッケージツアー)

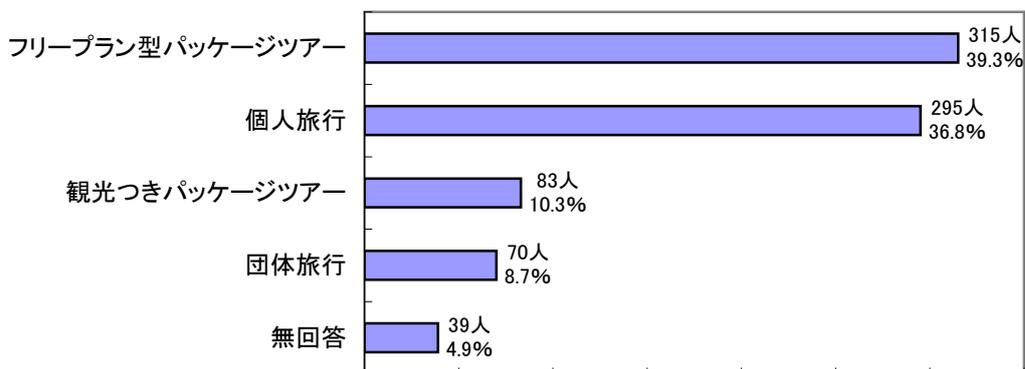
旅行形態では、「フリープラン型パッケージツアー」が315人(39.3%)、「個人旅行」295人(36.8%)、次いで「観光つきパッケージツアー」83人(10.3%)、「団体旅行」70人(8.7%)となっている。

昨年と比較して「フリープラン型パッケージツアー」の割合が高くなっている。

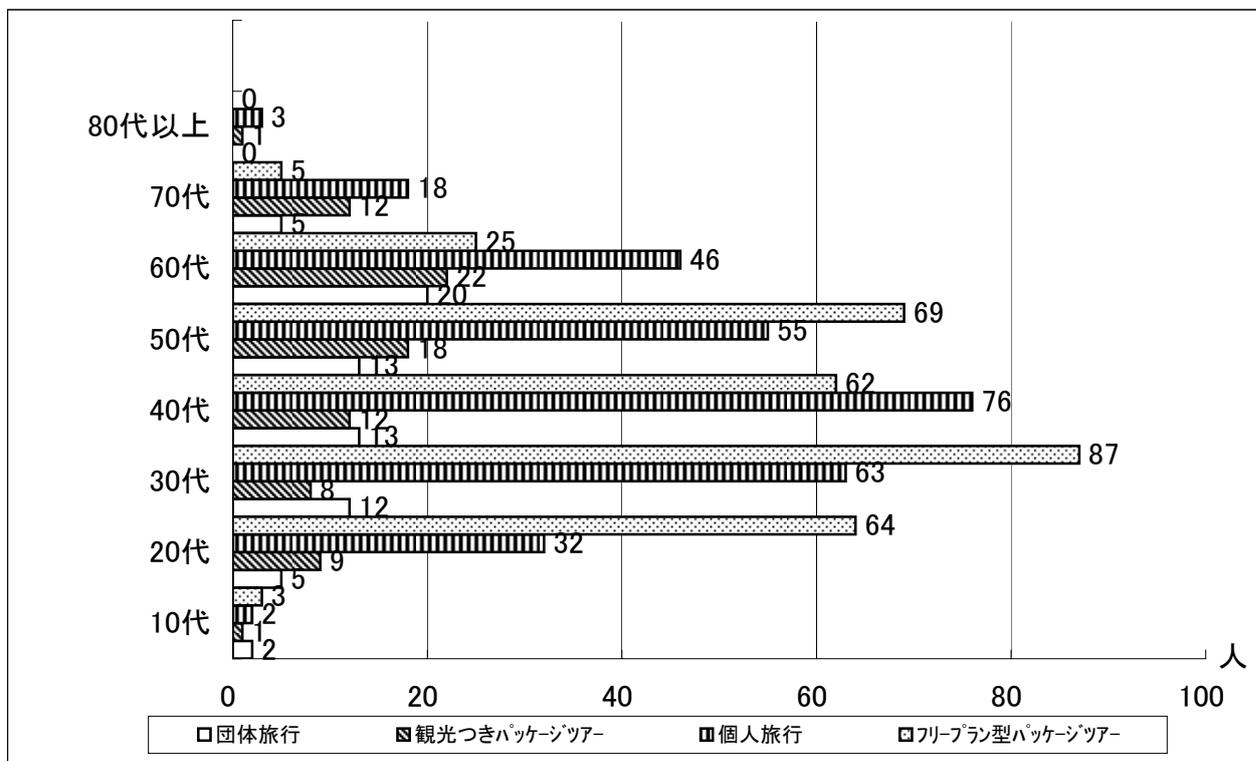
年代別では、20代、30代、50代で「フリープラン型パッケージツアー」の割合が高く、40代で「個人旅行」の割合が高い。

来訪回数では、初めて～3回目までは「フリープラン型パッケージツアー」の割合が高いのに比べ、4回目以上のリピーターは「個人旅行」の割合が高い。

図表Ⅲ-6-1 旅行形態(グラフ)



図表Ⅲ-6-2 年代別旅行形態(グラフ)

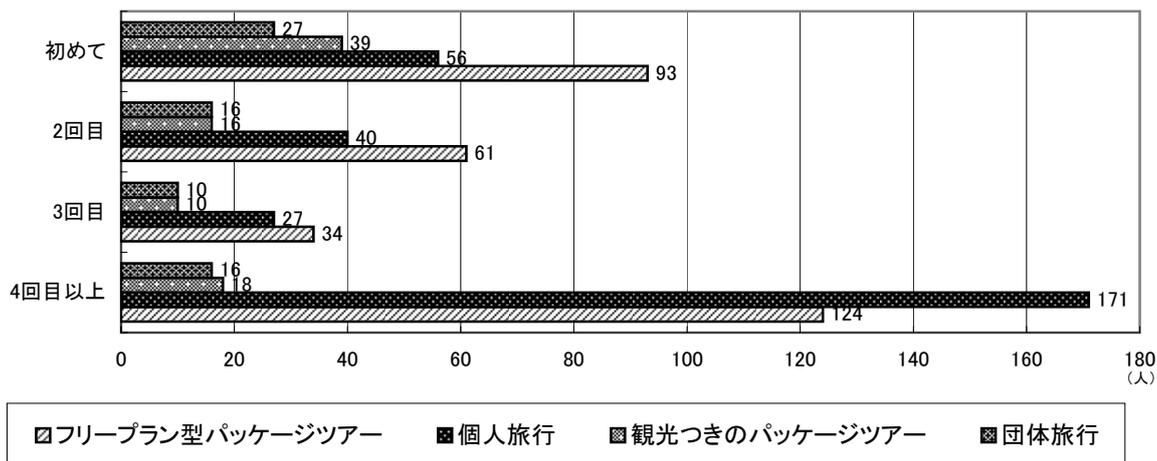


図表Ⅲ-6-3 年代別旅行形態

単位:人(上段)、%(下段)

年代	団体旅行	観光つきパッケージツアー	個人旅行	フリープラン型パッケージツアー	無回答	総計
10代	2	1	2	3	1	9
20代	5	9	32	64	8	118
30代	12	8	63	87	3	173
40代	13	12	76	62	4	167
50代	13	18	55	69	11	166
60代	20	22	46	25	6	119
70代	5	12	18	5	3	43
80代以上	0	1	3	0	0	4
無回答	0	0	0	0	3	3
総計	70	83	295	315	39	802
10代	2.9	1.2	0.7	1.0	2.6	1.1
20代	7.1	10.8	10.8	20.3	20.5	14.7
30代	17.1	9.6	21.4	27.6	7.7	21.6
40代	18.6	14.5	25.8	19.7	10.3	20.8
50代	18.6	21.7	18.6	21.9	28.2	20.7
60代	28.6	26.5	15.6	7.9	15.4	14.8
70代	7.1	14.5	6.1	1.6	7.7	5.4
80代以上	0.0	1.2	1.0	0.0	0.0	0.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.4
総計	8.7	10.3	36.8	39.3	4.9	100.0

図表Ⅲ-6-4 来訪回数別旅行形態(グラフ)



図表Ⅲ-6-5 来訪回数別旅行形態

単位:人(上段)、%(下段)

回数	団体旅行	観光つきパッケージツアー	個人旅行	フリープラン型パッケージツアー	無回答	総計
初めて	27	39	56	93	9	224
2回目	16	16	40	61	6	139
3回目	10	10	27	34	2	83
4回目以上	16	18	171	124	19	348
無回答	1	0	1	3	3	8
総計	70	83	295	315	39	802
初めて	38.6	47.0	19.0	29.5	23.1	27.9
2回目	22.9	19.3	13.6	19.4	15.4	17.3
3回目	14.3	12.0	9.2	10.8	5.1	10.3
4回目以上	22.9	21.7	58.0	39.4	48.7	43.4
無回答	1.4	0.0	0.3	1.0	7.7	1.0
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 7. 旅行期間

### 1) 旅行期間

旅行期間では「2泊3日」が292人(36.4%)で最も多く、次いで「3泊4日」250人(31.2%)となっている。「2泊～4泊」の旅行期間と回答した方が542人(67.6%)を占める。

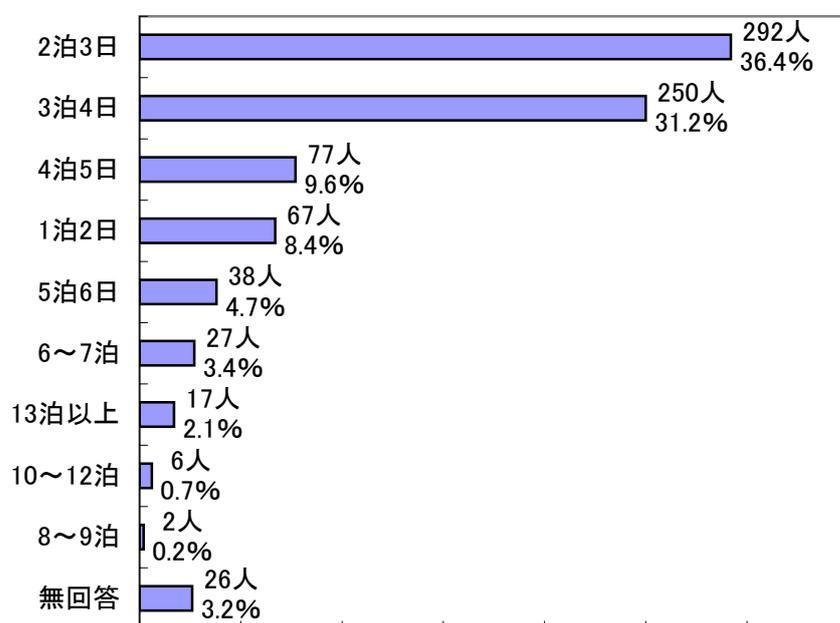
年代別で見ると、各年代とも「2泊～4泊」の間の回答割合が高い。

30代は「3泊4日」が最も多く、40代～60代は「2泊3日」が最も多くなっている。

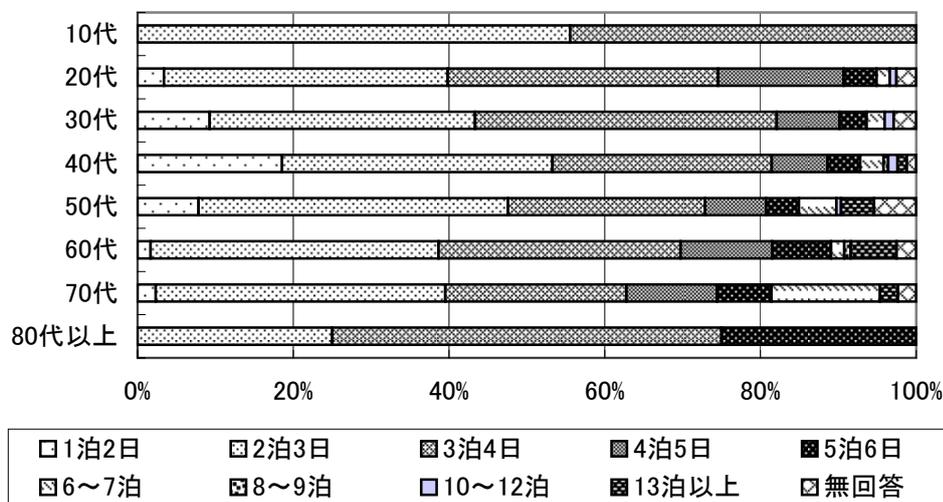
職業別にみても、「2泊～3泊」に回答が集中している。会社員では「2泊3日」125人(36.2%)、公務員では「3泊4日」28人(38.4%)が最も多くなっている。

月別にみると、2月132人(16.5%)、次いで4月118人(14.7%)になっており、前年と比較して訪問時期に変化がみられる。

図表Ⅲ-7-1 旅行期間の割合



図表Ⅲ-7-2 年代別旅行期間(グラフ)



図表Ⅲ-7-3 年代別旅行期間

単位：人(上段)、%(下段)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総計
1泊2日	0	4	16	31	13	2	1	0	0	67
2泊3日	5	43	59	58	66	44	16	1	0	292
3泊4日	4	41	67	47	42	37	10	2	0	250
4泊5日	0	19	14	12	13	14	5	0	0	77
5泊6日	0	5	6	7	7	9	3	1	0	38
6～7泊	0	2	4	5	8	2	6	0	0	27
8～9泊	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
10～12泊	0	1	2	2	1	0	0	0	0	6
13泊以上	0	0	0	2	7	7	1	0	0	17
無回答	0	3	5	2	9	3	1	0	3	26
総計	9	118	173	167	166	119	43	4	3	802
1泊2日	0.0	3.4	9.2	18.6	7.8	1.7	2.3	0.0	0.0	8.4
2泊3日	55.6	36.4	34.1	34.7	39.8	37.0	37.2	25.0	0.0	36.4
3泊4日	44.4	34.7	38.7	28.1	25.3	31.1	23.3	50.0	0.0	31.2
4泊5日	0.0	16.1	8.1	7.2	7.8	11.8	11.6	0.0	0.0	9.6
5泊6日	0.0	4.2	3.5	4.2	4.2	7.6	7.0	25.0	0.0	4.7
6～7泊	0.0	1.7	2.3	3.0	4.8	1.7	14.0	0.0	0.0	3.4
8～9泊	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.2
10～12泊	0.0	0.8	1.2	1.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
13泊以上	0.0	0.0	0.0	1.2	4.2	5.9	2.3	0.0	0.0	2.1
無回答	0.0	2.5	2.9	1.2	5.4	2.5	2.3	0.0	100.0	3.2
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ-7-4 職業別旅行期間

単位：人(上段)、%(下段)

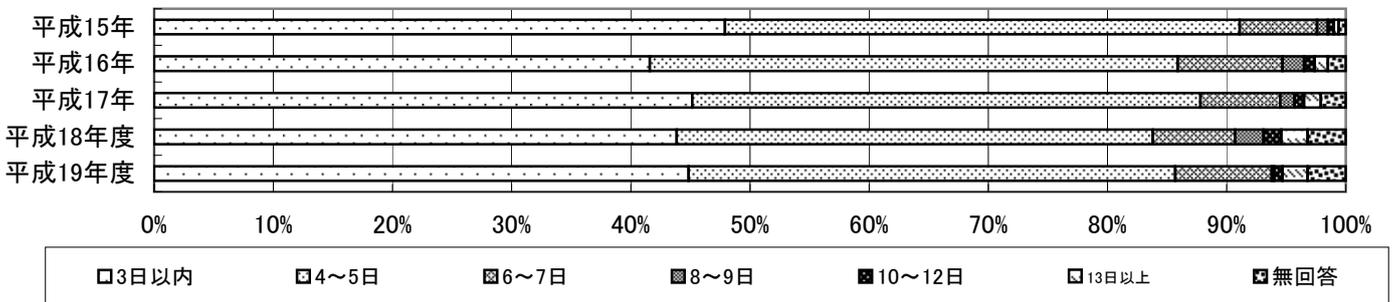
区分	会社員	公務員	自営業	農林漁業	自由業	学生	主婦	無職	その他	無回答	総計
1泊2日	47	9	4	0	0	0	2	1	4	0	67
2泊3日	125	23	25	7	5	13	52	20	16	6	292
3泊4日	105	28	12	4	5	9	55	14	15	3	250
4泊5日	31	8	4	0	1	5	7	13	8	0	77
5泊6日	12	2	5	0	1	0	7	9	1	1	38
6～7泊	10	3	4	0	0	0	4	4	2	0	27
8～9泊	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
10～12泊	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	6
13泊以上	1	0	0	1	1	0	1	13	0	0	17
無回答	9	0	0	1	2	2	3	3	2	4	26
総計	345	73	54	13	16	30	131	78	48	14	802
1泊2日	13.6	12.3	7.4	0.0	0.0	0.0	1.5	1.3	8.3	0.0	8.4
2泊3日	36.2	31.5	46.3	53.8	31.3	43.3	39.7	25.6	33.3	42.9	36.4
3泊4日	30.4	38.4	22.2	30.8	31.3	30.0	42.0	17.9	31.3	21.4	31.2
4泊5日	9.0	11.0	7.4	0.0	6.3	16.7	5.3	16.7	16.7	0.0	9.6
5泊6日	3.5	2.7	9.3	0.0	6.3	0.0	5.3	11.5	2.1	7.1	4.7
6～7泊	2.9	4.1	7.4	0.0	0.0	0.0	3.1	5.1	4.2	0.0	3.4
8～9泊	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.2
10～12泊	1.2	0.0	0.0	0.0	6.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
13泊以上	0.3	0.0	0.0	7.7	6.3	0.0	0.8	16.7	0.0	0.0	2.1
無回答	2.6	0.0	0.0	7.7	12.5	6.7	2.3	3.8	4.2	28.6	3.2
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ-7-5 月別旅行期間

単位:人(上段)、%(下段)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	無回答	総計
1泊2日	2	6	13	8	1	7	3	1	6	12	4	4	0	67
2泊3日	7	57	40	44	14	14	3	5	32	51	11	14	0	292
3泊4日	8	36	29	37	16	11	8	4	34	51	9	7	0	250
4泊5日	3	11	5	13	5	0	5	3	10	18	2	2	0	77
5泊6日	0	6	4	8	4	1	0	1	5	6	3	0	0	38
6~7泊	1	5	0	3	4	2	2	1	2	2	3	2	0	27
8~9泊	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
10~12泊	0	2	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	6
13泊以上	0	5	1	1	0	0	2	0	3	1	2	2	0	17
無回答	2	4	2	1	1	1	3	2	3	5	0	2	0	26
総計	23	132	94	118	45	36	27	17	96	147	34	33	0	802
1泊2日	8.7	4.5	13.8	6.8	2.2	19.4	11.1	5.9	6.3	8.2	11.8	12.1		8.4
2泊3日	30.4	43.2	42.6	37.3	31.1	38.9	11.1	29.4	33.3	34.7	32.4	42.4		36.4
3泊4日	34.8	27.3	30.9	31.4	35.6	30.6	29.6	23.5	35.4	34.7	26.5	21.2		31.2
4泊5日	13.0	8.3	5.3	11.0	11.1	0.0	18.5	17.6	10.4	12.2	5.9	6.1		9.6
5泊6日	0.0	4.5	4.3	6.8	8.9	2.8	0.0	5.9	5.2	4.1	8.8	0.0		4.7
6~7泊	4.3	3.8	0.0	2.5	8.9	5.6	7.4	5.9	2.1	1.4	8.8	6.1		3.4
8~9泊	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0		0.2
10~12泊	0.0	1.5	0.0	1.7	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0		0.7
13泊以上	0.0	3.8	1.1	0.8	0.0	0.0	7.4	0.0	3.1	0.7	5.9	6.1		2.1
無回答	8.7	3.0	2.1	0.8	2.2	2.8	11.1	11.8	3.1	3.4	0.0	6.1		3.2
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0

図表Ⅲ-7-6 旅行期間別回答者比率の推移(グラフ)



図表Ⅲ-7-7 旅行期間別回答者比率の推移(過去5年間)

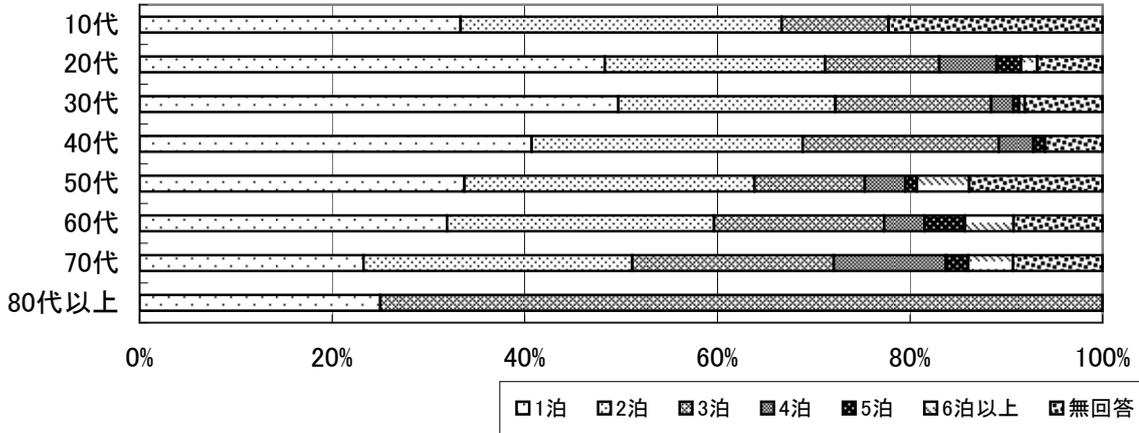
単位: %

区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年度	平成19年度
3日以内	47.9	41.6	45.2	43.9	44.8
4~5日	43.2	44.3	42.7	40.0	40.8
6~7日	6.5	8.8	6.7	6.9	8.1
8~9日	0.9	1.8	1.2	2.4	0.2
10日~12日	0.5	0.9	0.8	1.5	0.7
13日以上	0.4	1.1	1.4	2.2	2.1
無回答	0.6	1.5	2.1	3.2	3.2

2)那覇市宿泊日数

沖縄旅行期間中の那覇市内での宿泊日数は「1泊」が最も多く319人(39.8%)、次いで「2泊」211人(26.3%)、「3泊」129人(16.1%)であった。那覇市内での宿泊日数は「2泊」以内が66.1%を占めている。

図表Ⅲ-7-8 年代別那覇市宿泊数(グラフ)



図表Ⅲ-7-9 年代別那覇市宿泊日数

単位:人(上段)、%(下段)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総計
1泊	3	57	86	68	56	38	10	1	0	319
2泊	3	27	39	47	50	33	12	0	0	211
3泊	1	14	28	34	19	21	9	3	0	129
4泊	0	7	4	6	7	5	5	0	0	34
5泊	0	3	1	2	2	5	1	0	0	14
6泊以上	0	2	1	0	9	6	2	0	0	20
無回答	2	8	14	10	23	11	4	0	3	75
総計	9	118	173	167	166	119	43	4	3	802
1泊	33.3	48.3	49.7	40.7	33.7	31.9	23.3	25.0	0.0	39.8
2泊	33.3	22.9	22.5	28.1	30.1	27.7	27.9	0.0	0.0	26.3
3泊	11.1	11.9	16.2	20.4	11.4	17.6	20.9	75.0	0.0	16.1
4泊	0.0	5.9	2.3	3.6	4.2	4.2	11.6	0.0	0.0	4.2
5泊	0.0	2.5	0.6	1.2	1.2	4.2	2.3	0.0	0.0	1.7
6泊以上	0.0	1.7	0.6	0.0	5.4	5.0	4.7	0.0	0.0	2.5
無回答	22.2	6.8	8.1	6.0	13.9	9.2	9.3	0.0	100.0	9.4
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ-7-10 職業別那覇市宿泊日数

単位:人(上段)、%(下段)

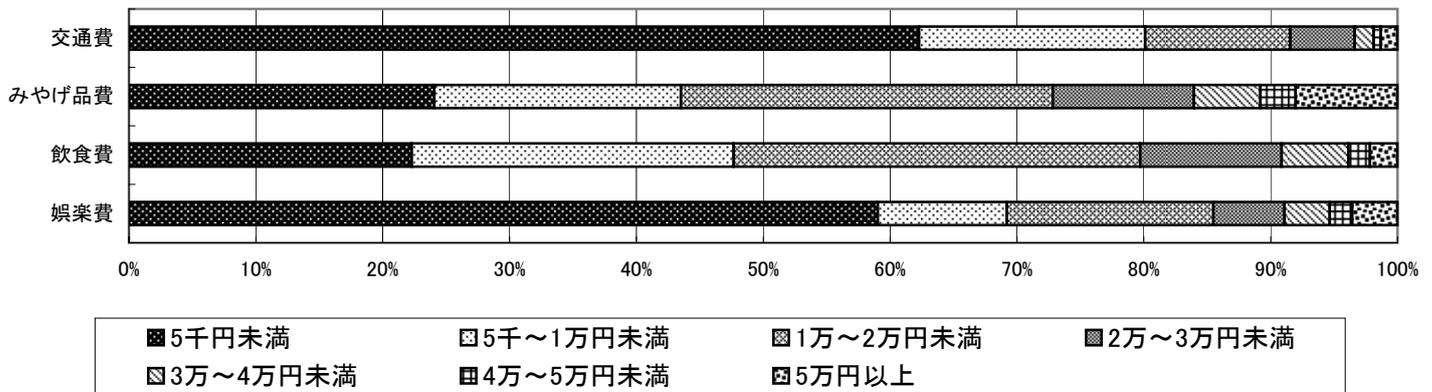
区分	会社員	公務員	自営業	農林漁業	自由業	学生	主婦	無職	その他	無回答	総計
1泊	155	38	19	5	2	12	54	11	17	6	319
2泊	87	17	21	2	6	8	34	22	12	2	211
3泊	52	11	8	1	2	4	27	15	8	1	129
4泊	17	2	0	0	1	1	4	7	2	0	34
5泊	6	0	2	0	1	0	0	5	0	0	14
6泊以上	5	2	2	0	1	0	3	6	1	0	20
無回答	23	3	2	5	3	5	9	12	8	5	75
総計	345	73	54	13	16	30	131	78	48	14	802
1泊	44.9	52.1	35.2	38.5	12.5	40.0	41.2	14.1	35.4	42.9	39.8
2泊	25.2	23.3	38.9	15.4	37.5	26.7	26.0	28.2	25.0	14.3	26.3
3泊	15.1	15.1	14.8	7.7	12.5	13.3	20.6	19.2	16.7	7.1	16.1
4泊	4.9	2.7	0.0	0.0	6.3	3.3	3.1	9.0	4.2	0.0	4.2
5泊	1.7	0.0	3.7	0.0	6.3	0.0	0.0	6.4	0.0	0.0	1.7
6泊以上	1.4	2.7	3.7	0.0	6.3	0.0	2.3	7.7	2.1	0.0	2.5
無回答	6.7	4.1	3.7	38.5	18.8	16.7	6.9	15.4	16.7	35.7	9.4
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 8. 那覇市内における観光消費額

「那覇市内だけで支出した一人当たりの費用(パッケージに含まれる料金を除く)」については、以下のようになっている。  
(一人当たりの平均消費額は9ページの『図表Ⅱ-8、観光客の一人当たり消費額内訳』参照)

- 交通費は「5千円未満」の回答者が332人(62.3%)と最も多く、次いで「5千円以上1万円未満」95人(17.8%)となっている。
- みやげ品費は「1万円以上2万円未満」の回答が190人(29.3%)、次いで「5千円未満」156人(24.1%)、「5千円以上1万円未満」126人(19.4%)となっている。  
来訪回数別でみると、「初めて」、「4回目以上」の回答者が「1万円以上2万円未満」で他と比較して高い結果となった。
- 飲食費は「1万円以上2万円未満」が207人(32.0%)と最も多く、次いで「5千円以上1万円未満」164人(25.4%)、「5千円未満」144人(22.3%)となった。
- 娯楽費は「5千円未満」232人(59.0%)と最も多く、次いで「1万円以上2万円未満」64人(16.3%)、「5千円以上1万円未満」40人(10.2%)となった。
- 那覇市内における宿泊費は「5千円未満」が184人(37.9%)と最も多く、次いで「1万円以上2万円未満」92人(18.9%)、「5千円以上1万円未満」70人(14.4%)となっている。

図表Ⅲ-8-1 那覇市内における観光消費額(グラフ)



図表Ⅲ-8-2 那覇市内における観光消費額(全旅行期間)

単位:人(上段)、%(下段)

区分	5千円未満	5千~1万円未満	1万~2万円未満	2万~3万円未満	3万~4万円未満	4万~5万円未満	5万円以上	無回答	総計
交通費	332	95	61	27	8	3	7	269	802
みやげ品費	156	126	190	72	34	18	52	154	802
飲食費	144	164	207	72	34	11	14	156	802
娯楽費	232	40	64	22	14	7	14	409	802
交通費	41.4	11.8	7.6	3.4	1.0	0.4	0.9	33.5	100.0
みやげ品費	19.5	15.7	23.7	9.0	4.2	2.2	6.5	19.2	100.0
飲食費	18.0	20.4	25.8	9.0	4.2	1.4	1.7	19.5	100.0
娯楽費	28.9	5.0	8.0	2.7	1.7	0.9	1.7	51.0	100.0

図表Ⅲ-8-3 訪問回数別観光消費額(回答者数)

単位:人

区分	来県回数	5千円未満	5千~1万円未満	1万~2万円未満	2万~3万円未満	3万~4万円未満	4万~5万円未満	5万円以上	無回答	総計
交通費	初めて	84	22	13	3	1	1	3	97	224
	2回目	63	15	12	1	0	0	0	48	139
	3回目	34	11	7	2	4	0	0	25	83
	4回目以上	149	47	27	21	3	2	4	95	348
	無回答	2	0	2	0	0	0	0	4	8
	総計	332	95	61	27	8	3	7	269	802
みやげ品費	初めて	36	35	54	22	11	6	15	45	224
	2回目	18	31	31	16	6	4	11	22	139
	3回目	23	10	16	8	6	1	5	14	83
	4回目以上	77	50	89	25	10	7	21	69	348
	無回答	2	0	0	1	1	0	0	4	8
	総計	156	126	190	72	34	18	52	154	802
飲食費	初めて	42	53	40	16	8	4	4	57	224
	2回目	28	30	45	8	0	1	1	26	139
	3回目	12	19	25	8	4	1	0	14	83
	4回目以上	61	62	95	40	21	5	9	55	348
	無回答	1	0	2	0	1	0	0	4	8
	総計	144	164	207	72	34	11	14	156	802
娯楽費	初めて	58	10	24	3	1	1	2	125	224
	2回目	47	9	5	5	1	0	0	72	139
	3回目	27	2	6	5	2	1	1	39	83
	4回目以上	98	18	29	9	10	5	11	168	348
	無回答	2	1	0	0	0	0	0	5	8
	総計	232	40	64	22	14	7	14	409	802

図表Ⅲ-8-4 訪問回数別観光消費額(回答比率)

単位:%

区分	来県回数	5千円未満	5千~1万円未満	1万~2万円未満	2万~3万円未満	3万~4万円未満	4万~5万円未満	5万円以上	総計
交通費	初めて	66.1	17.3	10.2	2.4	0.8	0.8	2.4	100.0
	2回目	69.2	16.5	13.2	1.1	0.0	0.0	0.0	100.0
	3回目	58.6	19.0	12.1	3.4	6.9	0.0	0.0	100.0
	4回目以上	58.9	18.6	10.7	8.3	1.2	0.8	1.6	100.0
	無回答	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	総計	62.3	17.8	11.4	5.1	1.5	0.6	1.3	100.0
みやげ品費	初めて	20.1	19.6	30.2	12.3	6.1	3.4	8.4	100.0
	2回目	15.4	26.5	26.5	13.7	5.1	3.4	9.4	100.0
	3回目	33.3	14.5	23.2	11.6	8.7	1.4	7.2	100.0
	4回目以上	27.6	17.9	31.9	9.0	3.6	2.5	7.5	100.0
	無回答	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	100.0
	総計	24.1	19.4	29.3	11.1	5.2	2.8	8.0	100.0
飲食費	初めて	25.1	31.7	24.0	9.6	4.8	2.4	2.4	100.0
	2回目	24.8	26.5	39.8	7.1	0.0	0.9	0.9	100.0
	3回目	17.4	27.5	36.2	11.6	5.8	1.4	0.0	100.0
	4回目以上	20.8	21.2	32.4	13.7	7.2	1.7	3.1	100.0
	無回答	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	100.0
	総計	22.3	25.4	32.0	11.1	5.3	1.7	2.2	100.0
娯楽費	初めて	58.6	10.1	24.2	3.0	1.0	1.0	2.0	100.0
	2回目	70.1	13.4	7.5	7.5	1.5	0.0	0.0	100.0
	3回目	61.4	4.5	13.6	11.4	4.5	2.3	2.3	100.0
	4回目以上	54.4	10.0	16.1	5.0	5.6	2.8	6.1	100.0
	無回答	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	総計	59.0	10.2	16.3	5.6	3.6	1.8	3.6	100.0

注:消費額の構成比は、有効回答数から本設問の無回答を除いた数値を分母として算出

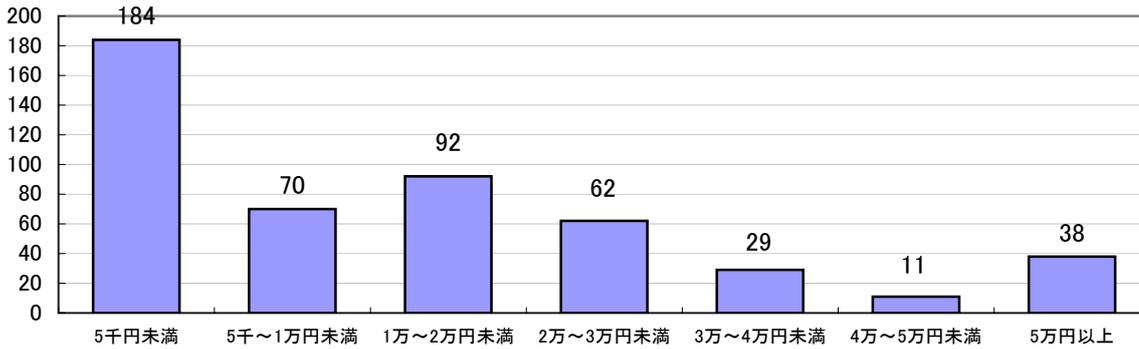
図表Ⅲ-8-5 那覇市における宿泊費(1人当り)

単位:人(上段)、%(下段)

区分	5千円未満	5千～1万円未満	1万～2万円未満	2万～3万円未満	3万～4万円未満	4万～5万円未満	5万円以上	無回答	総計
人数	184	70	92	62	29	11	38	316	802
構成比	37.9	14.4	18.9	12.8	6.0	2.3	7.8	-	100.0

図表Ⅲ-8-6 那覇市における宿泊費(1人当り)

回答者数(人)



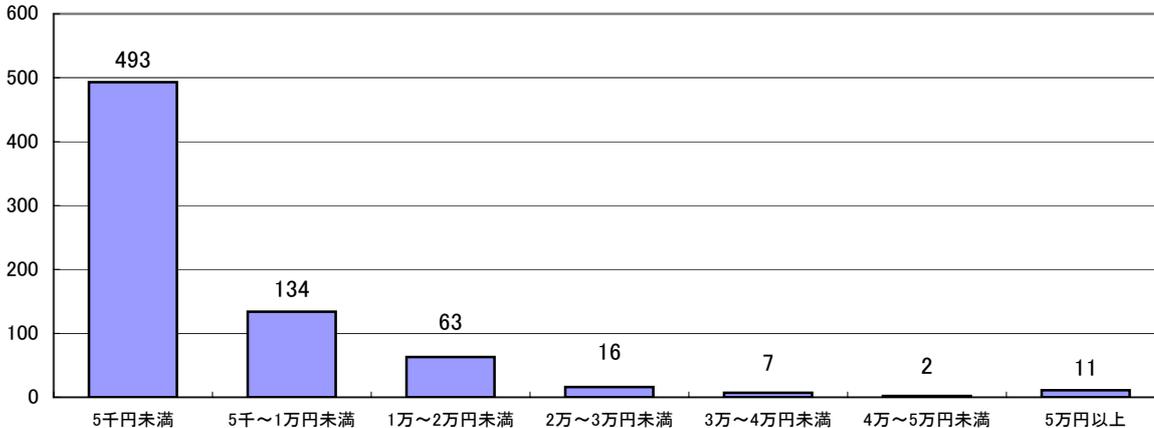
図表Ⅲ-8-7 那覇市における宿泊費(1泊当り)

単位:人(上段)、%(下段)

区分	5千円未満	5千～1万円未満	1万～2万円未満	2万～3万円未満	3万～4万円未満	4万～5万円未満	5万円以上	無回答	総計
人数	493	134	63	16	7	2	11	76	802
構成比	67.9	18.5	8.7	2.2	1.0	0.3	1.5	-	100.0

図表Ⅲ-8-8 那覇市における宿泊費(1泊当り)

回答者数(人)



## 9. 那覇市内での移動手段

那覇市内での移動手段は「レンタカー」を利用した方が最も多く397人(49.5%)で、次いで「モノレール」318人(39.7%)、「タクシー」248人(30.9%)、「路線バス」130人(16.2%)となっている。

前年と比較して「モノレール」・「タクシー」の割合がやや減少し、「路線バス」の割合が微増している。

年代別の移動手段で見ると、「20代」「30代」「50代」でレンタカーの利用率が高く、「60代」については、「タクシー」・「レンタカー」・「モノレール」等の利用率が均一化している。

特に注目すべきは点としては、「30代」のレンタカーの利用率が前年と比較して約14%も増加している。ビジネスユースとしての利用率UPが伺える。

図表Ⅲ-9-1 年代別・移動手段(複数回答有り)

単位:人(上段)、%(下段)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総計
路線バス	2	18	19	34	22	23	12	0	0	130
貸切バス	3	11	5	15	25	38	14	1	0	112
タクシー	2	21	42	55	59	42	24	3	0	248
レンタカー	2	78	120	79	70	40	7	1	0	397
モノレール	3	48	69	84	53	43	17	1	0	318
友人・知人の車	2	7	6	13	12	11	2	1	0	54
その他	0	2	6	11	9	2	2	0	0	32
無回答	0	1	1	1	2	0	0	0	3	8
有効回答数	9	118	173	167	166	119	43	4	3	802
路線バス	22.2	15.3	11.0	20.4	13.3	19.3	27.9	0.0	0.0	16.2
貸切バス	33.3	9.3	2.9	9.0	15.1	31.9	32.6	25.0	0.0	14.0
タクシー	22.2	17.8	24.3	32.9	35.5	35.3	55.8	75.0	0.0	30.9
レンタカー	22.2	66.1	69.4	47.3	42.2	33.6	16.3	25.0	0.0	49.5
モノレール	33.3	40.7	39.9	50.3	31.9	36.1	39.5	25.0	0.0	39.7
友人・知人の車	22.2	5.9	3.5	7.8	7.2	9.2	4.7	25.0	0.0	6.7
その他	0.0	1.7	3.5	6.6	5.4	1.7	4.7	0.0	0.0	4.0
無回答	0.0	0.8	0.6	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	100.0	1.0

図表Ⅲ-9-2 来訪回数別・移動手段(複数回答有り)

単位:人(上段)、%(下段)

区分	初めて	2回目	3回目	4回目以上	無回答	総計
路線バス	28	20	18	64	0	130
貸切バス	56	21	11	23	1	112
タクシー	61	28	25	131	3	248
レンタカー	120	81	43	152	1	397
モノレール	69	45	37	164	3	318
友人・知人の車	7	5	5	37	0	54
その他	7	3	3	18	1	32
無回答	3	1	1	0	3	8
路線バス	933.3	41.7	26.1	76.2	0.0	302.3
貸切バス	1866.7	43.8	15.9	27.4	1.9	260.5
タクシー	2033.3	58.3	36.2	156.0	5.7	576.7
レンタカー	4000.0	168.8	62.3	181.0	1.9	923.3
モノレール	2300.0	93.8	53.6	195.2	5.7	739.5
友人・知人の車	233.3	10.4	7.2	44.0	0.0	125.6
その他	233.3	6.3	4.3	21.4	1.9	74.4
無回答	100.0	2.1	1.4	0.0	5.7	18.6
有効回答数	224	139	83	348	8	802

## 10. 旅行コース

### 1) 宿泊ルート

回答者の宿泊ルート(那覇市内、那覇市以外の沖縄本島、本島周辺の離島、宮古・八重山)についての設問では、「那覇のみ宿泊」が最も多く、415人(51.7%)であった。次いで「本島内(那覇以外)宿泊→那覇宿泊」が173人(21.6%)、「那覇宿泊→本島内(那覇以外)宿泊」57人(7.1%)となっている。

旅行期間別の宿泊ルートでは、「1～3泊」までは「那覇のみ宿泊」の回答割合が約44%を占めるが、「4泊」以上の滞在では、那覇以外での宿泊した割合が高くなっている。

「2泊3日」では「那覇市内のみ宿泊」が175人(59.9%)、「本島内(那覇以外)宿泊→那覇宿泊」が79人(27.1%)となり、本島内の観光が主となっているが、宿泊数が増えるに伴い、那覇以外での宿泊が見受けられる。

図表Ⅲ-10-1 宿泊ルート

区 分	単位:人、%	
	回答数	構成比
那覇のみ宿泊	415	51.7
本島内(那覇以外)宿泊→那覇宿泊	173	21.6
那覇宿泊→本島内(那覇以外)宿泊	57	7.1
那覇宿泊→本島内(那覇以外)宿泊→那覇宿泊	27	3.4
宮古・八重山宿泊→那覇宿泊	25	3.1
那覇宿泊→本島周辺離島宿泊	9	1.1
那覇宿泊→宮古・八重山宿泊	10	1.2
本島周辺離島宿泊→那覇宿泊	11	1.4
那覇宿泊→本島周辺離島宿泊→那覇宿泊	10	1.2
その他	24	3
無回答	41	5.1
総 計	802	100.0

図表Ⅲ-10-2 旅行期間別宿泊ルート

区 分	単位:人(上段)、%(下段)									
	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4～5泊	6～7泊	8～9泊	10～12泊	13泊以上	無回答	総 計
那覇のみ宿泊	64	175	115	38	8	0	1	7	7	415
本島内(那覇以外)宿泊→那覇宿泊	0	79	60	27	3	0	0	2	2	173
那覇宿泊→本島内(那覇以外)宿泊	0	25	27	1	2	1	1	0	0	57
那覇宿泊→本島内(那覇以外)宿泊→那覇宿泊	0	0	11	13	3	0	0	0	0	27
宮古・八重山宿泊→那覇宿泊	0	2	5	13	3	1	1	0	0	25
那覇宿泊→本島周辺離島宿泊	0	1	4	3	1	0	0	0	0	9
那覇宿泊→宮古・八重山宿泊	0	1	4	3	1	0	1	0	0	10
本島周辺離島宿泊→那覇宿泊	0	2	1	4	3	0	0	0	1	11
那覇宿泊→本島周辺離島宿泊→那覇宿泊	0	0	2	7	1	0	0	0	0	10
その他	0	2	11	5	1	0	2	2	1	24
無回答	3	5	10	1	1	0	0	6	15	41
総 計	67	292	250	115	27	2	6	17	26	802
那覇のみ宿泊	95.5	59.9	46.0	33.0	29.6	0.0	16.7	41.2	26.9	51.7
本島内(那覇以外)宿泊→那覇宿泊	0.0	27.1	24.0	23.5	11.1	0.0	0.0	11.8	7.7	21.6
那覇宿泊→本島内(那覇以外)宿泊	0.0	8.6	10.8	0.9	7.4	50.0	16.7	0.0	0.0	7.1
那覇宿泊→本島内(那覇以外)宿泊→那覇宿泊	0.0	0.0	4.4	11.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4
宮古・八重山宿泊→那覇宿泊	0.0	0.7	2.0	11.3	11.1	50.0	16.7	0.0	0.0	3.1
那覇宿泊→本島周辺離島宿泊	0.0	0.3	1.6	2.6	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
那覇宿泊→宮古・八重山宿泊	0.0	0.3	1.6	2.6	3.7	0.0	16.7	0.0	0.0	1.2
本島周辺離島宿泊→那覇宿泊	0.0	0.7	0.4	3.5	11.1	0.0	0.0	0.0	3.8	1.4
那覇宿泊→本島周辺離島宿泊→那覇宿泊	0.0	0.0	0.8	6.1	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
その他	0.0	0.7	4.4	4.3	3.7	0.0	33.3	11.8	3.8	3.0
無回答	4.5	1.7	4.0	0.9	3.7	0.0	0.0	35.3	57.7	5.1
総 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

2) 観光ルート

滞在中に訪れた観光地は、那覇市内では「国際通り周辺」が622人(77.6%)と最も多く、次いで「首里城」が451人(56.2%)、「牧志公設市場」281人(35.0%)、「DFS」256人(31.9%)となっており、この動向は昨年と同様である。

訪れた観光客が少ない観光地は、「てんぶす那覇」18人(2.2%)、「福州園」29人(3.6%)、「識名園」41人(5.1%)、「伝統工芸館」44人(5.5%)、「波の上ビーチ」49人(6.1%)となっている(有効回答数の10%以下を選出)。

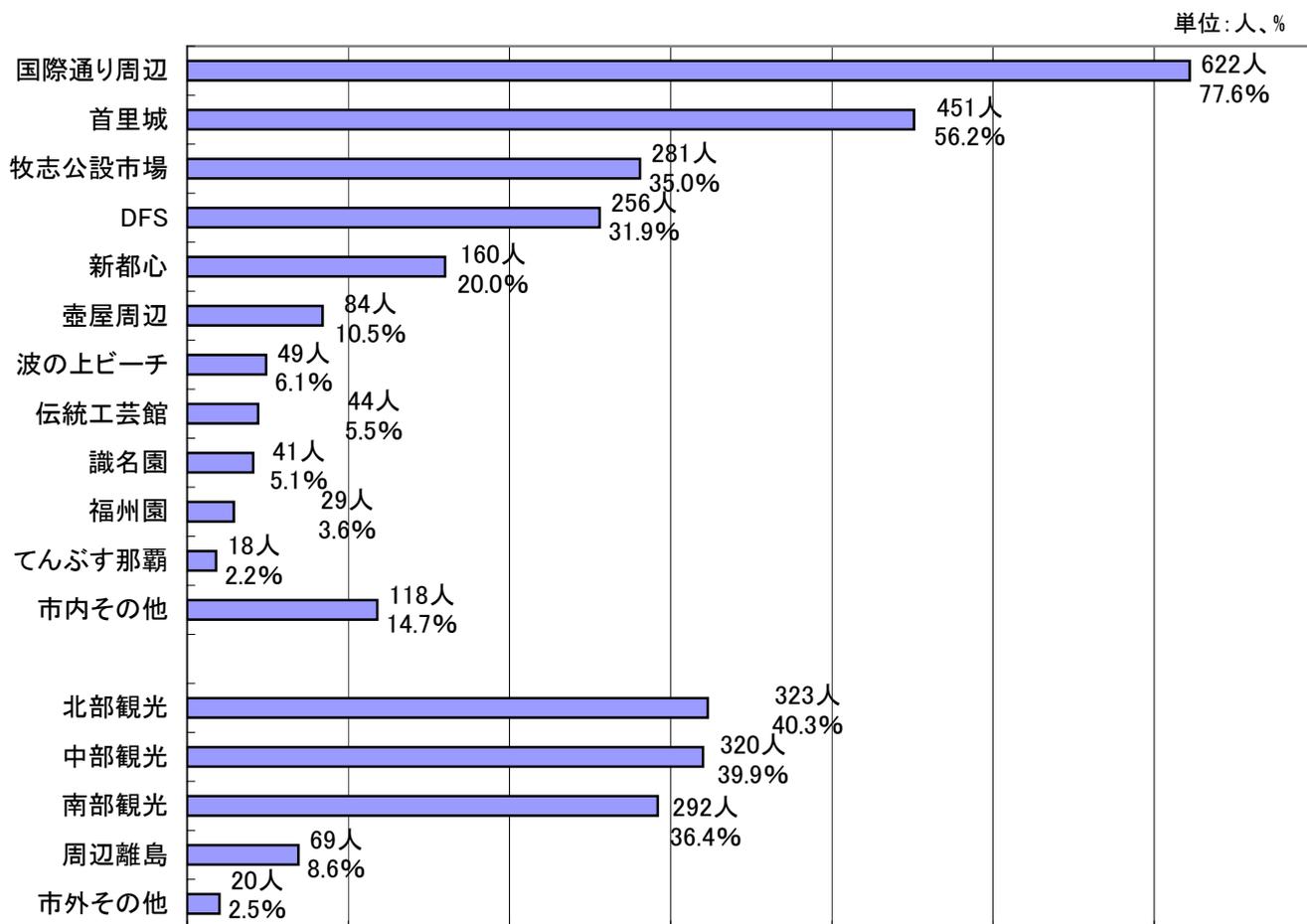
男女別に訪れた観光地をみると、男性では「国際通り周辺」が306人(74.8%)、「首里城」223人(54.5%)、「牧志公設市場」151人(36.9%)、「DFS」107人(26.2%)となっている。女性では「国際通り周辺」が312人(81.3%)、「首里城」226人(58.9%)、「DFS」146人(38.0%)、「牧志公設市場」130人(33.9%)となっている。

年代別に訪れた観光地をみると、各年代でも「国際通り周辺」が最も高く、次いで「20代～30代」では「首里城」、「DFS」、「牧志公設市場」の順になっている。「40代～50代」では「首里城」、「牧志公設市場」、「DFS」となっている。「60代」では「首里城」、「牧志公設市場」、「新都心」となっている。

来訪回数別にみると、「初めて」は「首里城」の割合が高くなっている。「牧志公設市場」については「4回目以上」の割合が高く、リピーターにとって魅力のある場所であることが伺える。

時間帯別でみると、午前、午後は「首里城」、「国際通り周辺」、「牧志公設市場」の順になっている。夕方以降では「国際通り周辺」、「牧志公設市場」、「DFS」の順になっている。

図表Ⅲ-10-3 観光コース回答者数(グラフ)



図表Ⅲ-10-4 男女別観光コース(複数回答有)

単位:人(上段)、%(下段)

	那 覇 市 内												那 覇 市 外					有効回答数
	首里城	識名園	国際通り周辺	牧志公設市場	新都心	壺屋周辺	福州園	てんぶす那覇	伝統工芸館	波の上ビーチ	D F S	市内その他	北部観光	中部観光	南部観光	周辺離島	市外その他	
男	223	29	306	151	93	45	19	13	24	29	107	57	148	162	160	38	7	409
女	226	12	312	130	66	39	10	5	20	19	146	61	174	158	131	31	13	384
無回答	2	0	4	0	1	0	0	0	0	1	3	0	1	0	1	0	0	9
総計	451	41	622	281	160	84	29	18	44	49	256	118	323	320	292	69	20	802
男	54.5	7.1	74.8	36.9	22.7	11.0	4.6	3.2	5.9	7.1	26.2	13.9	36.2	39.6	39.1	9.3	1.7	-
女	58.9	3.1	81.3	33.9	17.2	10.2	2.6	1.3	5.2	4.9	38.0	15.9	45.3	41.1	34.1	8.1	3.4	-
無回答	22.2	0.0	44.4	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	-
総計	56.2	5.1	77.6	35.0	20.0	10.5	3.6	2.2	5.5	6.1	31.9	14.7	40.3	39.9	36.4	8.6	2.5	-

回答割合=回答数÷有効回答数

図表Ⅲ-10-5 年代別観光コース(複数回答有)

単位:人(上段)、%(下段)

	那 覇 市 内												那 覇 市 外					有効回答数
	首里城	識名園	国際通り周辺	牧志公設市場	新都心	壺屋周辺	福州園	てんぶす那覇	伝統工芸館	波の上ビーチ	D F S	市内その他	北部観光	中部観光	南部観光	周辺離島	市外その他	
10代	7	0	7	0	2	0	0	0	0	0	2	0	4	1	4	0	0	9
20代	69	1	103	26	21	3	2	1	1	4	52	17	58	48	42	10	4	118
30代	96	4	135	58	41	13	2	1	4	9	74	24	85	74	65	20	2	173
40代	73	8	118	66	30	21	6	6	7	9	60	33	56	52	48	15	6	167
50代	98	14	130	65	33	16	7	1	9	10	45	22	60	66	56	10	4	166
60代	74	9	94	50	21	19	9	6	14	12	17	15	40	58	53	10	2	119
70代	31	4	31	16	11	12	2	3	8	4	6	5	20	18	21	4	2	43
80代以上	3	1	4	0	1	0	1	0	1	1	0	2	0	3	3	0	0	4
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
総計	451	41	622	281	160	84	29	18	44	49	256	118	323	320	292	69	20	802
10代	77.8	0.0	77.8	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	44.4	11.1	44.4	0.0	0.0	-
20代	58.5	0.8	87.3	22.0	17.8	2.5	1.7	0.8	0.8	3.4	44.1	14.4	49.2	40.7	35.6	8.5	3.4	-
30代	55.5	2.3	78.0	33.5	23.7	7.5	1.2	0.6	2.3	5.2	42.8	13.9	49.1	42.8	37.6	11.6	1.2	-
40代	43.7	4.8	70.7	39.5	18.0	12.6	3.6	3.6	4.2	5.4	35.9	19.8	33.5	31.1	28.7	9.0	3.6	-
50代	59.0	8.4	78.3	39.2	19.9	9.6	4.2	0.6	5.4	6.0	27.1	13.3	36.1	39.8	33.7	6.0	2.4	-
60代	62.2	7.6	79.0	42.0	17.6	16.0	7.6	5.0	11.8	10.1	14.3	12.6	33.6	48.7	44.5	8.4	1.7	-
70代	72.1	9.3	72.1	37.2	25.6	27.9	4.7	7.0	18.6	9.3	14.0	11.6	46.5	41.9	48.8	9.3	4.7	-
80代以上	75.0	25.0	100.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	75.0	75.0	0.0	0.0	-
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
総計	56.2	5.1	77.6	35.0	20.0	10.5	3.6	2.2	5.5	6.1	31.9	14.7	40.3	39.9	36.4	8.6	2.5	-

回答割合=回答数÷有効回答数

図表Ⅲ-10-6 来訪回数別・観光コース(複数回答有)

単位:人(上段)、%(下段)

	那 覇 市 内												那 覇 市 外					有効回答数
	首里城	識名園	国際通り周辺	牧志公設市場	新都心	壺屋周辺	福州園	てんぶす那覇	伝統工芸館	波の上ビーチ	D F S	市内その他	北部観光	中部観光	南部観光	周辺離島	市外その他	
初めて	187	11	185	58	28	16	7	3	15	10	80	28	111	99	109	17	3	224
2回目	87	6	117	45	22	10	3	0	6	4	58	16	72	69	59	6	2	139
3回目	49	8	69	24	10	5	4	3	4	7	27	9	40	41	30	8	1	83
4回目以上	126	15	247	154	98	52	15	12	19	27	89	64	98	109	92	38	14	348
無回答	2	1	4	0	2	1	0	0	0	1	2	1	2	2	2	0	0	8
総計	451	41	622	281	160	84	29	18	44	49	256	118	323	320	292	69	20	802
初めて	83.5	4.9	82.6	25.9	12.5	7.1	3.1	1.3	6.7	4.5	35.7	12.5	49.6	44.2	48.7	7.6	1.3	-
2回目	62.6	4.3	84.2	32.4	15.8	7.2	2.2	0.0	4.3	2.9	41.7	11.5	51.8	49.6	42.4	4.3	1.4	-
3回目	59.0	9.6	83.1	28.9	12.0	6.0	4.8	3.6	4.8	8.4	32.5	10.8	48.2	49.4	36.1	9.6	1.2	-
4回目以上	36.2	4.3	71.0	44.3	28.2	14.9	4.3	3.4	5.5	7.8	25.6	18.4	28.2	31.3	26.4	10.9	4.0	-
無回答	25.0	12.5	50.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	-
総計	56.2	5.1	77.6	35.0	20.0	10.5	3.6	2.2	5.5	6.1	31.9	14.7	40.3	39.9	36.4	8.6	2.5	-

回答割合=回答数÷有効回答数

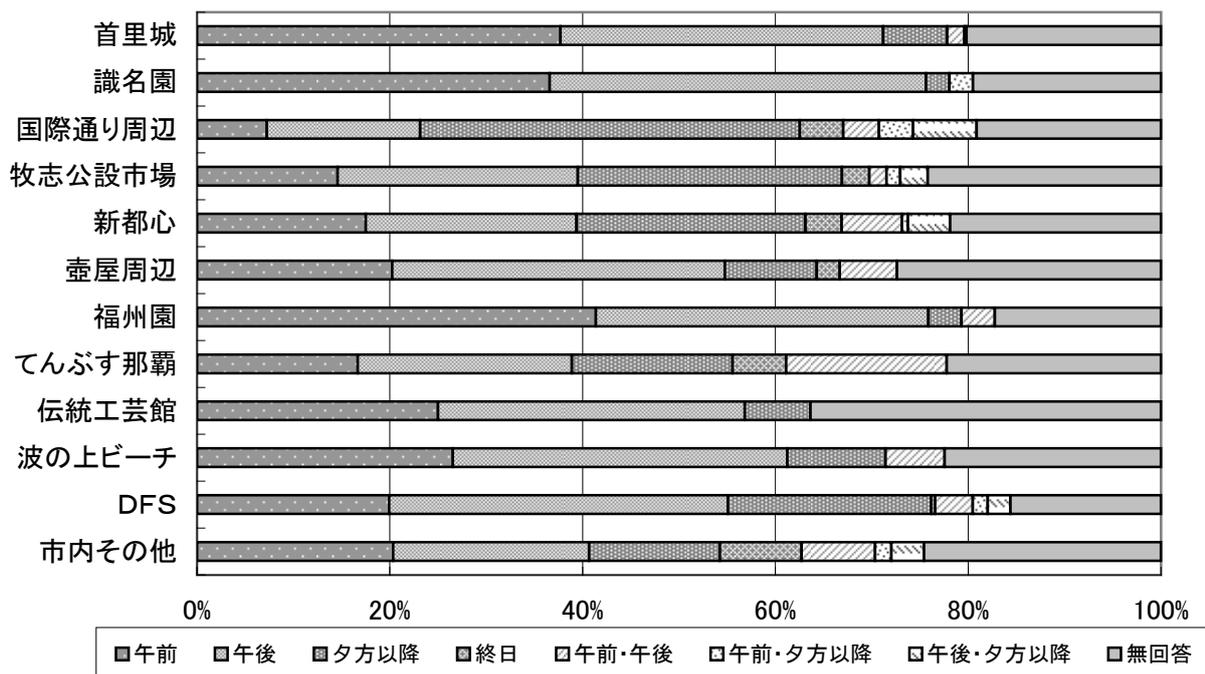
図表Ⅲ-10-7 月別・観光コース(複数回答有)

単位:人(上段)、%(下段)

	那 覇 市 内												那 覇 市 外					有効回答数
	首里城	識名園	国際通り周辺	牧志公設市場	新都心	壺屋周辺	福州園	てんぶす那覇	伝統工芸館	波の上ビーチ	D F S	市内その他	北部観光	中部観光	南部観光	周辺離島	市外その他	
1月	17	1	18	7	2	4	1	2	3	1	7	5	8	5	9	1	0	23
2月	87	8	114	48	29	15	6	1	8	6	52	21	58	56	59	10	6	132
3月	61	4	68	27	18	11	2	3	7	4	17	14	28	34	29	5	1	94
4月	67	10	93	47	32	16	3	1	8	12	48	21	52	52	44	15	2	118
5月	13	2	36	19	9	4	2	4	4	5	18	6	19	18	16	2	1	45
6月	22	2	27	14	7	3	2	1	3	2	10	5	12	11	9	4	0	36
7月	10	1	20	15	8	2	2	0	1	3	7	5	11	16	10	2	1	27
8月	10	0	10	5	3	0	3	1	1	0	5	3	7	4	2	4	0	17
9月	47	5	74	31	14	4	1	2	0	3	28	9	41	38	28	12	2	96
10月	78	4	111	45	23	14	3	1	6	8	52	18	53	63	57	12	5	147
11月	20	2	25	14	7	5	1	0	0	2	5	3	17	11	10	0	1	34
12月	19	2	26	9	8	6	3	2	3	3	7	8	17	12	19	2	1	33
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	451	41	622	281	160	84	29	18	44	49	256	118	323	320	292	69	20	802
1月	73.9	4.3	78.3	30.4	8.7	17.4	4.3	8.7	13.0	4.3	30.4	21.7	34.8	21.7	39.1	4.3	0.0	-
2月	65.9	6.1	86.4	36.4	22.0	11.4	4.5	0.8	6.1	4.5	39.4	15.9	43.9	42.4	44.7	7.6	4.5	-
3月	64.9	4.3	72.3	28.7	19.1	11.7	2.1	3.2	7.4	4.3	18.1	14.9	29.8	36.2	30.9	5.3	1.1	-
4月	56.8	8.5	78.8	39.8	27.1	13.6	2.5	0.8	6.8	10.2	40.7	17.8	44.1	44.1	37.3	12.7	1.7	-
5月	28.9	4.4	80.0	42.2	20.0	8.9	4.4	8.9	8.9	11.1	40.0	13.3	42.2	40.0	35.6	4.4	2.2	-
6月	61.1	5.6	75.0	38.9	19.4	8.3	5.6	2.8	8.3	5.6	27.8	13.9	33.3	30.6	25.0	11.1	0.0	-
7月	37.0	3.7	74.1	55.6	29.6	7.4	7.4	0.0	3.7	11.1	25.9	18.5	40.7	59.3	37.0	7.4	3.7	-
8月	58.8	0.0	58.8	29.4	17.6	0.0	17.6	5.9	5.9	0.0	29.4	17.6	41.2	23.5	11.8	23.5	0.0	-
9月	49.0	5.2	77.1	32.3	14.6	4.2	1.0	2.1	0.0	3.1	29.2	9.4	42.7	39.6	29.2	12.5	2.1	-
10月	53.1	2.7	75.5	30.6	15.6	9.5	2.0	0.7	4.1	5.4	35.4	12.2	36.1	42.9	38.8	8.2	3.4	-
11月	58.8	5.9	73.5	41.2	20.6	14.7	2.9	0.0	0.0	5.9	14.7	8.8	50.0	32.4	29.4	0.0	2.9	-
12月	57.6	6.1	78.8	27.3	24.2	18.2	9.1	6.1	9.1	9.1	21.2	24.2	51.5	36.4	57.6	6.1	3.0	-
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
総計	56.2	5.1	77.6	35.0	20.0	10.5	3.6	2.2	5.5	6.1	31.9	14.7	40.3	39.9	36.4	8.6	2.5	-

回答割合=回答数÷有効回答数

図表Ⅲ-10-8 時間帯別観光コース(グラフ)



図表Ⅲ-10-9 時間帯別観光コース(複数回答有)

単位:人(上段)、%(下段)

区分	午前	午後	夕方以降	終日	午前・午後	午前・夕方以降	午後・夕方以降	無回答	総計
首里城	170	151	30	0	8	1	0	91	451
識名園	15	16	1	0	0	1	0	8	41
国際通り周辺	45	99	245	28	23	22	41	119	622
牧志公設市場	41	70	77	8	5	4	8	68	281
新都心	28	35	38	6	10	1	7	35	160
壺屋周辺	17	29	8	2	5	0	0	23	84
福州園	12	10	1	0	1	0	0	5	29
てんぶす那覇	3	4	3	1	3	0	0	4	18
伝統工芸館	11	14	3	0	0	0	0	16	44
波の上ビーチ	13	17	5	0	3	0	0	11	49
DFS	51	90	54	1	10	4	6	40	256
市内その他	24	24	16	10	9	2	4	29	118
首里城	37.7	33.5	6.7	0.0	1.8	0.2	0.0	20.2	100.0
識名園	36.6	39.0	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	19.5	100.0
国際通り周辺	7.2	15.9	39.4	4.5	3.7	3.5	6.6	19.1	100.0
牧志公設市場	14.6	24.9	27.4	2.8	1.8	1.4	2.8	24.2	100.0
新都心	17.5	21.9	23.8	3.8	6.3	0.6	4.4	21.9	100.0
壺屋周辺	20.2	34.5	9.5	2.4	6.0	0.0	0.0	27.4	100.0
福州園	41.4	34.5	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0	17.2	100.0
てんぶす那覇	16.7	22.2	16.7	5.6	16.7	0.0	0.0	22.2	100.0
伝統工芸館	25.0	31.8	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	100.0
波の上ビーチ	26.5	34.7	10.2	0.0	6.1	0.0	0.0	22.4	100.0
DFS	19.9	35.2	21.1	0.4	3.9	1.6	2.3	15.6	100.0
市内その他	20.3	20.3	13.6	8.5	7.6	1.7	3.4	24.6	100.0

## 11. みやげ品購入状況

那覇市内で購入した、みやげ品は「お菓子類」が591人(73.7%)と最も多く、次いで「食品類」411人(51.2%)、「泡盛」320人(39.9%)、「琉球ガラス製品」170人(21.2%)、「かりゆしウェア・Tシャツ」157人(19.6%)となっている。

年代別にみると、「お菓子類」は80代以上以外の世代で割合が高く、「食品類」も80代以上以外の世代で概ね違いは見られない。「泡盛」は10代以外の世代で割合が高くなっている。「琉球ガラス製品」は10代～50代で概ね違いは見られない。「かりゆしウェア・Tシャツ」は30代～50代と80代以上の割合が高くなっている。

男女別でみると「泡盛」は男性の割合が高く、「星砂・貝製品」、「陶器・漆器」、「お菓子類」、「琉球ガラス製品」、「外国製品」は女性の割合が高くなっている。

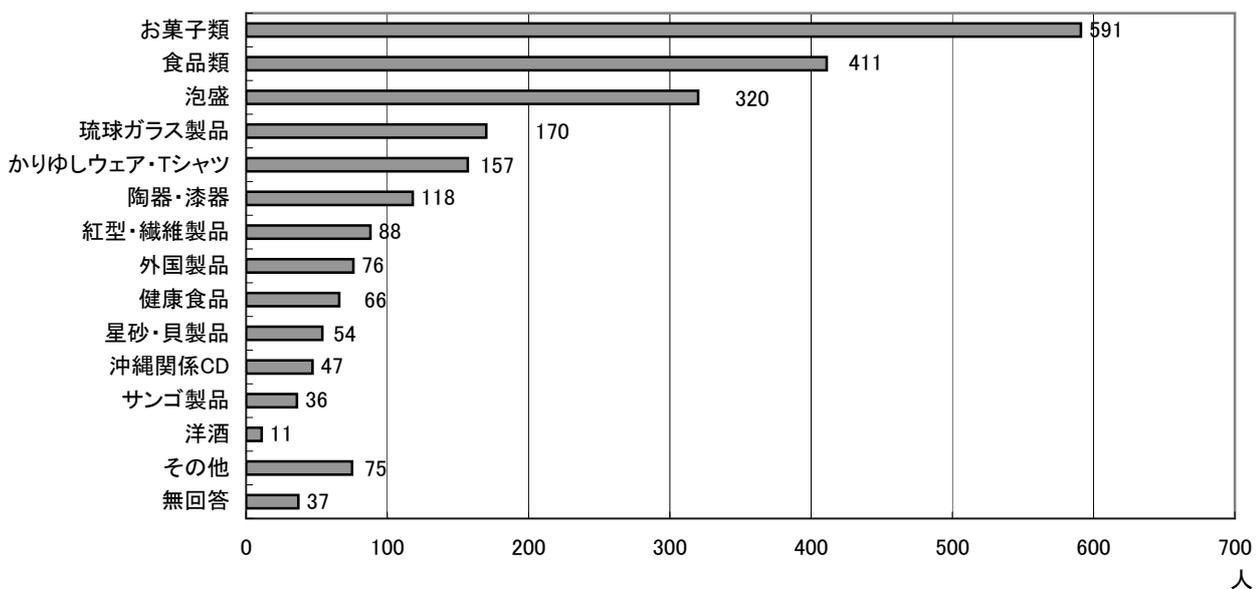
来訪回数別にみると、特に「泡盛」、「お菓子類」、「食品類」は来訪回数に左右されず購入割合を維持している。

みやげ品の購入場所では国際通り周辺579人(72.2%)で最も多く、空港389人(48.5%)、その他165人(20.6%)となっている。

図表Ⅲ-11-1 購入したみやげ品上位5位

区分	みやげ品名	人数
第1位	お菓子類	591
第2位	食品類	411
第3位	泡盛	320
第4位	琉球ガラス製品	170
第5位	かりゆしウェア・Tシャツ	157

図表Ⅲ-11-2 購入したみやげ品(グラフ)



図表Ⅲ-11-3 年代別みやげ品購入状況(複数回答有)

単位:人(上段)、%(下段)

区分	陶器・漆器	琉球ガラス製品	泡盛	洋酒	サンゴ製品	星砂・貝製品	紅型・繊維製品	アかりゆしウェア	お菓子類	食品類	健康食品	沖縄関係CD	外国製品	その他	無回答	有効回答
10代	0	2	2	0	0	1	0	1	7	5	0	0	1	1	1	9
20代	16	34	50	2	8	12	10	16	95	66	6	10	11	12	6	118
30代	22	35	68	1	3	13	17	39	137	85	12	11	25	8	6	173
40代	21	32	56	0	6	12	15	33	120	78	12	12	20	20	10	167
50代	24	40	71	4	5	9	19	40	116	86	20	6	20	18	5	166
60代	24	19	52	3	8	5	17	19	87	65	9	6	4	12	5	119
70代	9	8	19	0	6	2	10	8	28	25	7	2	3	3	1	43
80代以上	2	0	2	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	4
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
総計	118	170	320	11	36	54	88	157	591	411	66	47	76	75	37	802
10代	0.0	22.2	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	77.8	55.6	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	-
20代	13.6	28.8	42.4	1.7	6.8	10.2	8.5	13.6	80.5	55.9	5.1	8.5	9.3	10.2	5.1	-
30代	12.7	20.2	39.3	0.6	1.7	7.5	9.8	22.5	79.2	49.1	6.9	6.4	14.5	4.6	3.5	-
40代	12.6	19.2	33.5	0.0	3.6	7.2	9.0	19.8	71.9	46.7	7.2	7.2	7.2	12.0	6.0	-
50代	14.5	24.1	42.8	2.4	3.0	5.4	11.4	24.1	69.9	51.8	12.0	3.6	12.0	10.8	3.0	-
60代	20.2	16.0	43.7	2.5	6.7	4.2	14.3	16.0	73.1	54.6	7.6	5.0	3.4	10.1	4.2	-
70代	20.9	18.6	44.2	0.0	14.0	4.7	23.3	18.6	65.1	58.1	16.3	4.7	7.0	7.0	2.3	-
80代以上	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	-
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	-
総計	14.7	21.2	39.9	1.4	4.5	6.7	11.0	19.6	73.7	51.2	8.2	5.9	9.5	9.4	4.6	-

回答割合=回答数÷有効回答数

図表Ⅲ-11-4 男女別みやげ品購入状況(複数回答有)

単位:人(上段)、%(下段)

区分	陶器・漆器	琉球ガラス製品	泡盛	洋酒	サンゴ製品	星砂・貝製品	紅型・繊維製品	アかりゆしウェア	お菓子類	食品類	健康食品	沖縄関係CD	外国製品	その他	無回答	有効回答
男	56	76	179	5	19	16	40	78	285	200	32	23	25	33	23	409
女	62	94	141	6	16	36	48	78	303	210	33	24	50	42	8	384
無回答	0	0	0	0	1	2	0	1	3	1	1	0	1	0	6	9
総計	118	170	320	11	36	54	88	157	591	411	66	47	76	75	37	802
男	13.7	18.6	43.8	1.2	4.6	3.9	9.8	19.1	69.7	48.9	7.8	5.6	6.1	8.1	5.6	-
女	16.1	24.5	36.7	1.6	4.2	9.4	12.5	20.3	78.9	54.7	8.6	6.3	13.0	10.9	2.1	-
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	11.1	33.3	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	66.7	-
総計	14.7	21.2	39.9	1.4	4.5	6.7	11.0	19.6	73.7	51.2	8.2	5.9	9.5	9.4	4.6	-

回答割合=回答数÷有効回答数

図表Ⅲ-11-5 来訪回数別みやげ品購入状況(複数回答有)

単位:人(上段)、%(下段)

区分	陶器・漆器	琉球ガラス製品	泡盛	洋酒	サンゴ製品	星砂・貝製品	紅型・繊維製品	Ｔシャツ・ゆしウェア・	お菓子類	食品類	健康食品	沖縄関係CD	外国製品	その他	無回答	有効回答
初めて	44	57	96	2	16	24	33	49	176	121	19	10	26	16	5	224
2回目	29	33	57	3	4	10	18	23	107	63	5	5	12	17	7	139
3回目	7	15	35	3	7	10	9	12	67	47	8	2	9	5	2	83
4回目以上	38	64	129	2	9	10	27	71	237	179	34	30	28	37	20	348
無回答	0	1	3	1	0	0	1	2	4	1	0	0	1	0	3	8
総計	118	170	320	11	36	54	88	157	591	411	66	47	76	75	37	802
初めて	19.6	25.4	42.9	0.9	7.1	10.7	14.7	21.9	78.6	54.0	8.5	4.5	11.6	7.1	2.2	-
2回目	20.9	23.7	41.0	2.2	2.9	7.2	12.9	16.5	77.0	45.3	3.6	3.6	8.6	12.2	5.0	-
3回目	8.4	18.1	42.2	3.6	8.4	12.0	10.8	14.5	80.7	56.6	9.6	2.4	10.8	6.0	2.4	-
4回目以上	10.9	18.4	37.1	0.6	2.6	2.9	7.8	20.4	68.1	51.4	9.8	8.6	8.0	10.6	5.7	-
無回答	0.0	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0	12.5	25.0	50.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	37.5	-
総計	14.7	21.2	39.9	1.4	4.5	6.7	11.0	19.6	73.7	51.2	8.2	5.9	9.5	9.4	4.6	-

回答割合＝回答数÷有効回答数

図表Ⅲ-11-6 みやげ品購入場所(複数回答有)

単位:人、%

区分	回答数	構成比
市内ホテル	155	19.3
国際通り周辺	579	72.2
新都心	112	14.0
空港	389	48.5
その他	165	20.6
無回答	37	4.6
有効回答数	802	

図表Ⅲ-11-7 来訪回数別みやげ品購入場所(複数回答有)

単位:人(上段)、%(下段)

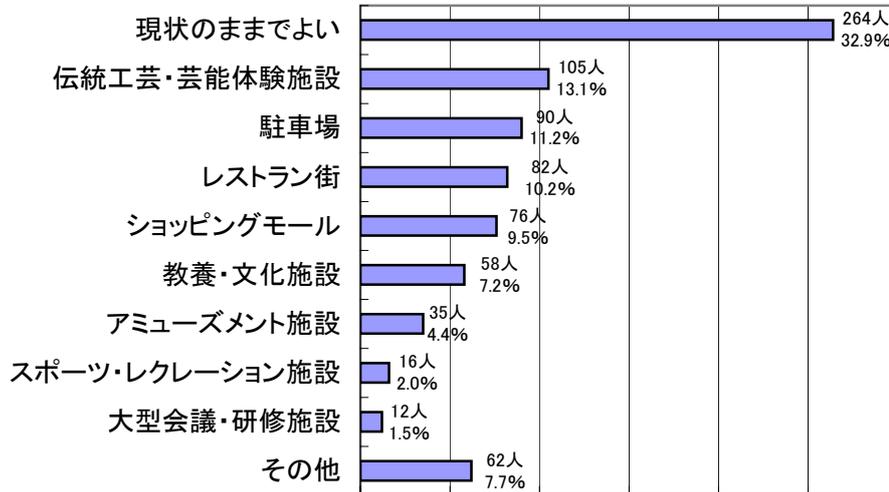
区分	初めて	2回目	3回目	4回目以上	無回答	総計
市内ホテル	63	31	16	43	2	155
国際通り周辺	171	106	64	235	3	579
新都心	19	17	6	69	1	112
空港	99	67	40	179	4	389
その他	43	25	16	76	5	165
無回答	8	5	1	20	3	37
有効回答数	224	251	83	348	8	802
市内ホテル	28.1	22.3	19.3	12.4	25.0	19.3
国際通り周辺	76.3	76.3	77.1	67.5	37.5	72.2
新都心	8.5	12.2	7.2	19.8	12.5	14.0
空港	44.2	48.2	48.2	51.4	50.0	48.5
その他	19.2	18.0	19.3	21.8	62.5	20.6
無回答	3.6	3.6	1.2	5.7	37.5	4.6

回答割合＝回答数÷有効回答数

## 12. 那覇市内に欲しい施設

那覇市内に欲しい施設では「現状のままでよい」が264人(32.9%)と最も多くなっており、自由記述からも、沖縄らしさを大切に残して欲しいという意向が伺える。次いで多かったのは「伝統工芸・芸能体験施設」105人(13.1%)、「駐車場」90人(11.2%)となっており、前回と比較してカルチャー体験を希望する観光客が増加している事が伺える。

図表Ⅲ-12-1 那覇市内に欲しい施設(グラフ)



図表Ⅲ-12-2 年代別那覇市内に欲しい施設(複数回答有)

単位: 人(上段)、%(下段)

区分	アミューズメント施設	レストラン街	ショッピングモール	伝統工芸・芸能体験施設	スポーツ・レクリエーション施設	駐車場	教養・文化施設	大型会議・研修施設	その他	現状のままでよい	無回答	有効回答数
10代	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	4	9
20代	10	12	20	21	2	14	9	1	10	42	17	118
30代	11	12	22	26	4	22	6	3	18	66	20	173
40代	11	14	13	24	5	16	14	4	20	60	22	167
50代	2	24	9	20	3	21	16	3	6	44	45	166
60代	0	9	6	11	0	14	8	1	6	38	40	119
70代	1	10	1	3	2	3	5	0	1	10	13	43
80代以上	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3	1	4
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
総計	35	82	76	105	16	90	58	12	62	264	165	802
10代	0.0	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	44.4	-
20代	8.5	10.2	16.9	17.8	1.7	11.9	7.6	0.8	8.5	35.6	14.4	-
30代	6.4	6.9	12.7	15.0	2.3	12.7	3.5	1.7	10.4	38.2	11.6	-
40代	6.6	8.4	7.8	14.4	3.0	9.6	8.4	2.4	12.0	35.9	13.2	-
50代	1.2	14.5	5.4	12.0	1.8	12.7	9.6	1.8	3.6	26.5	27.1	-
60代	0.0	7.6	5.0	9.2	0.0	11.8	6.7	0.8	5.0	31.9	33.6	-
70代	2.3	23.3	2.3	7.0	4.7	7.0	11.6	0.0	2.3	23.3	30.2	-
80代以上	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	25.0	-
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	-
総計	4.4	10.2	9.5	13.1	2.0	11.2	7.2	1.5	7.7	32.9	20.6	-

回答割合 = 回答数 ÷ 有効回答数

図表Ⅲ-12-3 男女別那覇市に欲しい施設(複数回答有)

単位:人(上段)、%(下段)

区分	施設 アミューズメント	レストラン街	ルショッピングモ	伝統工芸・芸能体 験施設	レポート・レク ション施設	駐車場	教養・文化施設	設 大型会議・研修施	その他	現状のままでよい	無回答	有効回答数
男	21	51	40	42	12	53	35	9	36	127	80	409
女	14	30	36	63	4	37	23	3	26	136	78	384
無回答	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	7	9
総計	35	82	76	105	16	90	58	12	62	264	165	802
男	5.1	12.5	9.8	10.3	2.9	13.0	8.6	2.2	8.8	31.1	19.6	-
女	3.6	7.8	9.4	16.4	1.0	9.6	6.0	0.8	6.8	35.4	20.3	-
無回答	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	77.8	-
総計	4.4	10.2	9.5	13.1	2.0	11.2	7.2	1.5	7.7	32.9	20.6	-

回答割合=回答数÷有効回答数

図表Ⅲ-12-4 那覇市に欲しい施設(その他)(括弧の中の数字は、同様の回答数)

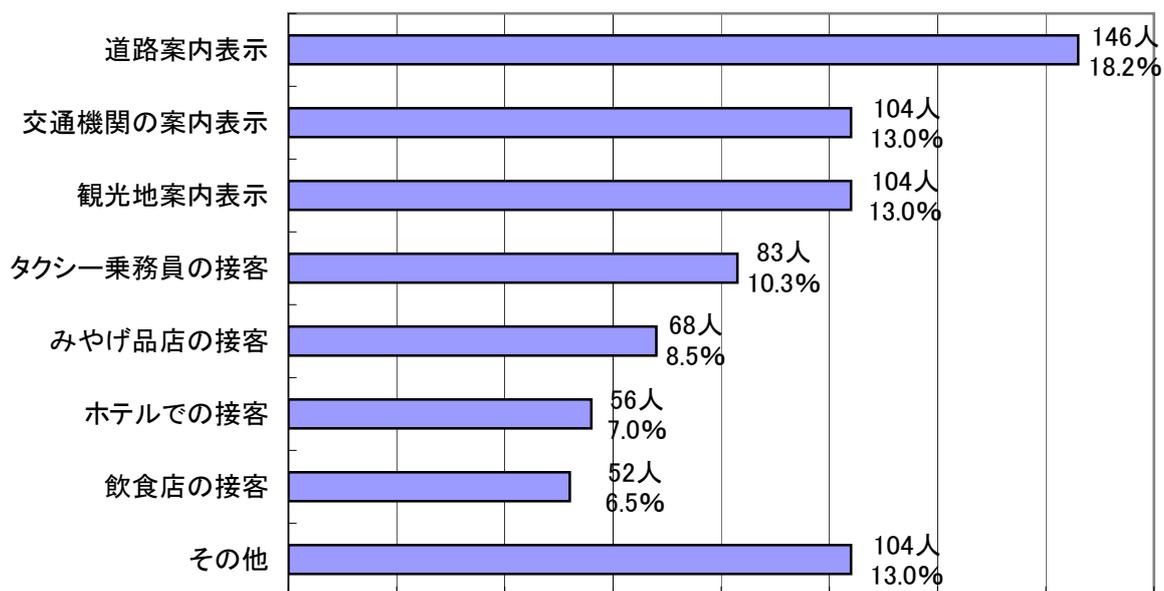
<b>飲食店・店舗</b>
24h開いている喫茶店
カフェ(2)
コンビニ(2)
那覇以外での食事の場所が増えると良い。
一人でも利用できるレストラン(2)
みやげ物屋、工芸品、沖縄独特の衣料他
琉球踊り、島唄などの居酒屋を増やしてください。
<b>娯楽・レジャー</b>
海に見える総合スパ
映画館の再興を！！
沖縄タワー*観光用の高層塔
カジノ(2)
キャンプ場
きれいなトイレ
公園(2)
<b>観光施設</b>
自然史専門の博物館
フルーツパーク(2)
<b>その他</b>
温泉(7)
公共交通機関(8)
これ以上何も作らなくてよい！
市外へのバイパス
ちょっとした休憩場所(2)
道路
もっと昔のままの状態を大切にしてほしい
モノレール延伸
レンタサイクル

### 13. サービス面におけるも問題点や改善して欲しい点

サービス面における問題点や改善して欲しい点についての回答は、「道路案内表示」と回答した方が、146人(18.2%)と最も多く、次いで「交通機関の案内表示」104人(13.0%)、「観光地案内表示」104人(13.0%)、「タクシー乗務員の接客」83人(10.3%)、「みやげ品店の接客」68人(8.5%)、「ホテルでの接客」56人(7.0%)となっている。

交通期間・観光地・道路等の案内表示についての問題が前年と同じように高い割合を示した。「みやげ品店」「ホテル」「飲食店」の接客態度についても問題点が浮き彫りになっている。

図表Ⅲ-13-1 サービス面においての問題点や改善点(グラフ)



図表Ⅲ-13-2 サービス面においての問題点や改善点(複数回答有)

単位:人、%

区分	回答数	構成比
みやげ品店の接客	68	8.5
ホテルでの接客	56	7.0
タクシー乗務員の接客	83	10.3
飲食店の接客	52	6.5
道路案内表示	146	18.2
交通機関の案内表示	104	13.0
観光地案内表示	104	13.0
その他	104	13.0
無回答	353	44.0
有効回答数	802	—

図表Ⅲ-13-3 来訪回数別サービス面においての問題点や改善点(複数回答有)

単位:人(上段)、%(下段)

区分	みやげ品店の接客	ホテルでの接客	タクシー乗務員の接客	飲食店の接客	道路案内表示	交通機関の案内表示	観光地案内表示	その他	無回答	有効回答
初めて	19	13	18	19	46	27	31	29	91	224
2回目	11	7	8	6	21	17	17	13	70	139
3回目	8	6	3	5	16	15	10	10	35	83
4回目以上	30	30	52	22	62	44	45	52	152	348
無回答	0	0	2	0	1	1	1	0	5	8
総計	68	56	83	52	146	104	104	104	353	802
初めて	8.5	5.8	8.0	8.5	20.5	12.1	13.8	12.9	40.6	-
2回目	7.9	5.0	5.8	4.3	15.1	12.2	12.2	9.4	50.4	-
3回目	9.6	7.2	3.6	6.0	19.3	18.1	12.0	12.0	42.2	-
4回目以上	8.6	8.6	14.9	6.3	17.8	12.6	12.9	14.9	43.7	-
無回答	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	62.5	-
総計	8.5	7.0	10.3	6.5	18.2	13.0	13.0	13.0	44.0	-

回答割合=回答数÷有効回答数

図表Ⅲ-13-4 サービス面においての問題点や改善点

1. お土産品店の接客等について

お土産品が高額な物が多い  
 観光客向けのお土産品の価格  
 観光地での客引き  
 客引きがしつこい。  
 公設市場での商品の押し付け(全店ではないが何店とか)  
 なるべく安く  
 早めに閉店してしまう店をもっと長めに営業してほしい。  
 アロハシャツ販売店の接客が非常にしつこく大変いやな思いをしました。ツアー客皆さん悪い思いをした。  
 みやげ物屋は事務的でロボットみたいだった。

2. ホテルでの接客等について

エアコンの掃除ができていません。エアコンの掃除ができていないと前の旅行者も言っていたので、掃除してほしいです。他の接客、サービスは満点でした。  
 温泉施設のあるホテルで、浴衣移動のできないのが不便。結局、ルームバスですませた。  
 最近設立したホテル最悪。ホテルに差あり。  
 ホテル内の掃除が行き届いてない。  
 ホテルに大浴場を設けてほしい。  
 ホテル前での客引き、迷惑

3. 飲食店での接客等について

100円ビールと称して発泡酒を売る店が国際通りにあります。  
 外税の飲食店もあり、その旨明確にすべき  
 タコスがあるお店で営業時間前にすでに閉めようとして感じが悪い。

#### 4. タクシーについて

首里城での運転手の態度。目的地以外のところに時間がないのでと断ったら、口をきかなかった。タクシーがもうかっていない・・・私たちは免許を持っていないので、タクシーを破格値で利用させていただき、とてもうれしかったのですが、もっともうかる工夫をしてみたらどうでしょうか。例えば、1日1万円でタクシー貸切など。  
タクシーの客引きがしつこい。  
タクシーやバイクの乱暴運転。  
ホテルまでタクシーに乗ろうと思って聞いたところ、近いからと言われ歩いたところ。遠くて、ホテルまで時間がかかり疲れました。重い荷物を持って、女の子と大変だった。近くと思っても、案内してくださるのがタクシーの接客業だと思う。  
夜間のタクシーの徘徊多すぎる。

#### 5. 道路案内表示について

県道の路線番号表示板が極端に少ない  
交差点名の表示をもっと多くあればいい・・・  
高速表示が少なすぎる。  
市内のパーキング標識が少ない。  
駐車場の情報、明示  
路上の白線が消えていて、対向車線を走ってくるバイクがいて、とても怖かった。信号を無視して走ってくる車、割り込み車が多いのには、びっくりしました。  
知念からの帰り道、空港への表示はあるが、ホテル集中の国際通りや、県庁、バスターミナル等の表示がない。

#### 6. 交通について

運転怖い。あらい。  
運転中窓からタバコをポイ捨て。客待ち中、ホテル前のタバコ。朝から気分を害した。  
運転マナー  
高速のり口を早く空港近くまで建設してください。  
サイクリングロードの充実  
水族館までの交通が不便  
すべりやすい道路  
道路の渋滞をどうにかしてほしい  
バイクの交通マナー

#### 7. 交通機関の案内表示について

バス運行業について、具体的に聞くところがない。  
バス時刻の案内  
バスレーンetcわかりにく  
バス路線図の普及  
モノレールの駅名表示について①旭橋→バスターミナル前としてください。②「首里」→「首里城口」とするか、別の名に変更した方が良い。

#### 8. その他

Edy等の普及  
宅配便の到着時間  
建物内が暑い  
たん、つば吐きが多い。ゴミ(チリ)が多い。  
段差が多すぎる。  
中国語の表示、中国人対応(マナーマップ)  
東京の間違った習慣が持ち込まれること。例えば、エスカレーターを歩くこと。また歩く人を黙認すること。エスカレーターメーカーも歩かないことを呼びかけているのに、なぜ？  
道路にゴミが多い  
分別型のゴミ箱の設置

## IV. 観光客の声

### 1. 飲食・買物について

沖縄の人は、とてもあたたかくて、やさしかったです。お土産屋さんはもちろんですが、DFSの人までやさしくて明るくて笑顔でびっくりしました。(神戸では、コーチやシャネルの店員さんはそんな笑顔を見せてくれることが少ない様な気がします。)おかげでブランド品を買うことがドキドキしていた私でも気軽に楽しく買うことができました。今回は、ひめゆりの塔・首里城・DFS・ガラス工芸しかまわれなかったのも、次回はちゅら海水族園やマリンビーチであそんでみたいです。楽しかったです。ありがとうございました。

那覇で2泊したが、ホテルの人達があたたかく気持ちよくすごせた。泊港近くの沖縄料理屋に行った時、コース料理もあるか?ガイドブックに単品でも予算に合わせて楽しめるのかとあってあったので行ってみましたが、コース料理をしつこくすすめられ、単品でと言ったらすごくイヤな顔をされたうえ、店員(おかみさん)の接客態度がひょう変した。もう2度と行かないが、「本土の人」といちいち言われてカモにされた気分だった。国際通りのそばにある定食屋さんは、地元の人ばかりが入っているような所だったのに、とても親切に沖縄料理をすすめてくれた。ここでは「本土の観光客」でも非常に気持ちよくすごせた。味も美味しかった。沖縄は、大好きなのでまた遊びに来たい。

初めての沖縄本島の旅行でした。とても楽しく、快適な4日間でした。レンタカーでの観光だったのですが、カーナビがついていたとはいえ、初めての道でとまどうばかりでしたが・・・沖縄の人達のおおらかさにホッとすることばかりでした。急な車線変更にも嫌な顔もせず割り込みを許してくれて・・・色々な場所へ行きましたが、一度もクラクションを聞くことなく本当に驚きました。北海道の人はせわしなく、すぐにクラクションを鳴らすのです。夜食事に行ったお店でも、とても気持ちよく接していただき、美味しいものを沢山食べて家族皆太って帰って来ました。私と夫はゴーヤチャンプルーの味が忘れられず、帰って来ても作って食べています。子供達はアグー豚をまた食べに行くと言っています。大学生の息子は将来沖縄に就職して住みたい!!と、次男は修学旅行にまた来たい!!話しています。お世話になりました。思い出をありがとうございました。

私は、今のままで、沖縄色を前面に全てに於いて出したら、良いと思いますが、今まで私の周りで渡沖して『二度と行きたくない』と云う話をよく聞きます。それは全て共通して『食事は苦痛だ。食べる物が無い』といえます。沖縄料理は特色があり、私共は喜んで何日でもOKなのですが、短期旅行者(観光旅行者)には、食事面を考慮する必要があるかも知れません。(但し、海、空の青さは『スバラシイ』と皆さんが云います。)

お土産屋も遅くまで開いていて便利。

琉球ガラス製品の値段に格差がありすぎです。

国際通り、土産店の店員の売り込みが不快。自由に店内を見物できるようにして欲しい。お店の店員が、歩道に沢山居るので、旅行者からは目障り。通行の邪魔になる。

本当にいつきても(2回目です)快く、沖縄の方が迎えてくださって嬉しいです。子どもをとても大切に頂いて、感謝の気持ちです。ステーキのグリーンハート(?)でしたか、(赤嶺駅近く)、女性の方の接客がとても素晴らしかったです。慌しいことが多い中、気持ちが和みました。帰り際、又来るぞーと誓い帰路につきました。

ご参考になるかわかりませんが、記入できるところはいたしました。2月中にもかかわらず暖かく千葉とは違うのでそこが一番の良いところではと思います。ガラス工房を二箇所見学しましたが、デザイン等の違いとうががあると思いますが、自前にその違いや特色があると良いと思うし、必ず見学には売店がありますが、皆同じようで特色のある物をやったらと思います。

・いたる所で、県民の方が観光客に対する優しさが感じられました。みな親切でした。・ホテルの方もお客の満足度に努力しているのが感じよかった。・食事所で、サンプルと出してきたものと現物が違っていたのには少々がっかり。

## 2. 観光施設について

障害者と一緒で、首里城等無料は大変ありがたかった。舞踊も良かったです。

那覇はいつも楽しい旅を提供してくれます。都合がつけば、次は祭り見物でもしてみたいです。旅行会社や商業施設、JAL等が、宣伝などに力を入れていると思いますが、地域が県外の者にアピールしている印象は薄いです。営利目的ではない団体が観光客にアピールしてくれると、あたたかいもてなしの印象がより深まる気がします。今回の旅は、梅雨入り前を狙って来ましたが、あいにくの天候でした。雨の日の過ごし方の提案があるとよいです。この観光スポットは屋内なので大丈夫とか、雨のしっとり感も違った趣でステキなどです。

沖縄の自然のままがよい！！海が汚くなっていた。自然をこわすから！！ショッピングモール、アミューズメント施設が色々できてきたが、夕張の二の舞にならないように！！。

提言 年金生活者も健康で旅行など余暇を楽しむ人が多くなってきました。私共の友人と国頭村に北海道の冬季間を南国でパターゴルフやグラウンドゴルフなどで地元の方に共に生活をしており、うらやましいことです。このような施設は那覇にも造ってほしいものです。

とにかく沖縄は、ステキな所ですね！大好きです。・ゆいレールが整備されていて便利です。(もう少し南北に伸びてもらえるとありがたいです)・高速料金が安い・首里城の受付の方たちの衣装がステキでした。(松本城でも見習ってほしいです)・いろいろな入場料が安かったり、無料なのがうれしかったです。・戦争のことなど親子で学ばせてもらいました。他県の者も、戦争の歴史、基地のことなど関心をもって考えていかなければいけませんね。

那覇市内の道路渋滞情報を表示する電光掲示板があるとよいと思う。みなさん、とても親切でした。ありがとうございました。○○○○島日帰りツアーについて 島はとても美しかったのですが、何をするのにもお金がかかり、とても高い。ブイの内でスノーケルをするにも、ライフジャケットが必要(一着1000円)。日よけに必要なパラソルも一本1000円。飲食物持込禁止なのに、ペットボトルやタバコのすいがらなどが散乱していて、興ざめした。もうけばかりに、走るのではなく、客が快適に過ごすための工夫もしてほしい。このツアーに関しては、リピーターは少ないのでは・・・と思う。また、朝出港が遅れたにもかかわらず、何の説明もなかった。帰りの船の時間も変更OKとおきながら、不可となりバタバタであった。サービスの点でも、よくないと感じた。

親子三世代4人で旅行に来ました。母親が沖縄が好きで私たちも大好きになりました。ダイビング、シーウォークと楽しかったです。

沖縄平和記念館、旧海軍指令壕、海軍壕公園、心に残りました。水族館へは時間がたりなかったけれど、ゆるすかぎり楽しんでみました。でも、楽しかったです。息子との旅でした。

海洋水族館一番 孫たち心に残ったようです。もっともっと沖縄のこと見たり知りたかったです。人情深く感謝です。(土産売りの人達)米軍基地には悲しいですね。30%(半分に減らしたいですね)本土ではあまり便利すぎ。人情薄くなりつつあります。沖縄のお墓に関心。先祖を大切に両親を大切に作る心、兄弟親戚の和を大切に作る心。心が何より大切です。又訪れたいです。その時には又、よろしくお願ひします。

1、一見、見たところ仏頂面だけど、たずねるとどんな方でも親切に答えて頂いた。・中学生(首里城内)・若い方(通りすがりの)道をたずねた。・モノレールの駅員・ホテルマン・国際通りのみやげ売店員・首里城内の職員☆タクシーの運転手は運賃の上がるお金になる答えがかえってきたので止めた。2、モノレールを主軸に移動した。①フリーチケット(2日間)を購入した。首里城入場券が割引で気分が良い。(割引率が京都より良かったですよ)②モノレールのチラシ(レリーフ)は、よかったが、さらに改良すると良いと思う。③モノレール『首里駅』から徒歩で城までいく道中が殺風景です。歩道にカラーにするとか、案内板をもっと目立つように字を大きく、城のモチーフを教えて絵表現に。徒歩、15分の時間が短く感じられるように工夫してはどうか。④百円バスは、値段的に良い。バス停は、出来るだけ沖縄のイメージを強調して屋根をレンガ色と白線のコントラストのよい停留場を増やしてはどうか。スペースがあるところはそのようにしてあったが、スペースのない停留所はそっけに立札だけ。⑤モノレールの駅の改札口には例の『シシ』があつて気が付きましたよ。3、『首里城』は、期待通りよかったです。①無料の地区がありこれもよ・・・公園風なところがありましたか？今後充実してほしいな。島民のリピートをねらつて。有料の地区はしっかり価値を感じることができました。今後も改良して欲しい。②『お茶+琉球の菓子(¥300)』がよかった。一服できて当時の衣装を着た女性の対応がとても良かった。(言葉遣いも)大学生のアルバイトでしょうか？職員？・男性の方も年配者も質問すると詳しく答えてもらった。③城内で撮影の良否を明示されていて関心しました。④中・韓・英のガイドのパンフはよいこと。インターネットの案内も良かった。⑤スタンプラリーは大人が楽しみました。

①ホテルに到着すべく、PM6:00～行くも渋滞で車の移動できず。又、単車運転が中央線を走行しているが、事故の発生は無いのか懸念される。②海洋博公園見学時、急な大雨となり海岸沿いの為か、風雨とも全身に当たり、困ってしまった。傘の準備を施設の方で準備してもらったから少しは良かったが、以下を見学したが、総合案内所→雨→美ら海水族館→雨(傘の準備)→マナティーや→雨→海かめ→雨→イルカ劇場→雨→中央ゲート 各ルートへ移動するたびに『びしょぬれ』であつた。移動区間に傘を設置してはどうか。夏場の日陰にでもなるのでは。③案内板が判りづらい。

いつ来ても、また来たくります。日常生活とは全く違い息抜きができます。常宿にしているホテルは、大浴場があり、リラックスできます。交通手段はモノレールと路線バスを利用しています。安くて気兼ねなく自由に行動できます。子どもが小さい時は、リゾート地を回っていましたが最近2泊3日で那覇市、首里を中心に回っています。

道を何度も尋ねたのですが、皆さん大変親切に教えてくれました。ありがとうございました。可愛い男性のお店の呼び込みが多いのにびっくりしました。時間が少し遅れてもイライラしない沖縄ダイスキです。(私だけでしょうか)壺屋博物館のボランティアガイド宮崎様、親切なガイドありがとうございました。首里城で古典芸能を見せてくれた皆様ありがとうございました。今回は楽しい所しか観ておりませんが、修学旅行の方々には平和教育の戦跡を必ず訪れていただきたいと思ひます。私自身、戦争のことはまったく知らずにこの歳を迎えました。体験者には大変つらいことではありますが、知っている人がいなくなると平和ボケになるそうです。30年前にひめゆりの塔、摩文仁の丘に行きました。次にはまた訪れたいと思ひます。

あまりに都会化しすぎて、観光という点では魅力に欠けている。何が沖縄の魅力かをよく考えられたし。特に竹富島のリゾート開発などもってのほか。自殺行為ですよ。

長期滞在者は、2~4ヶ月ウィークリーマンションにいますよ。何か考えてください。12月~3月頃まで。長期滞在者に離島に1泊2日ぐらいの案内(パンフレット)を判りやすく出してほしい。国際通り(夜は何かパフォーマンスをやるべし)パントマイム、沖縄踊り等、土・日・祭日の市(出来る限り沖縄のものに限る)特に、日・祭日は国際通りの車を通行止めとする。本土の人は、温泉大好きですよ。温泉が増えたらもっと観光客が増えますよ。

沖縄博物館、美術館→どちらも大変内容が豊富で充実していた。見ごたえがありとても良かった。

沖縄本島内を十分に巡ったわけではないのですが、有名観光地でなくても、街を歩いていてディープな沖縄、そして那覇市内を感じられるのがグットですね。『琉球』という本州エリアには無い文化を肌で感じたいと思います。遠いですが、これからも機会を見つけて出かけたいです。\*新都心おもろまちのホテルに泊まりましたが、フレッシュな街でよいですね。モノレールができて、非常に空港⇄市内の移動が便利です。

沖縄は、主人共々大好きで毎年訪れています。特に、ケラマが好きです。その帰りにいつも思うのですが、最終日、飛行機の時間まで国際通り等に寄りたいのですが、大きな荷物がいつも邪魔になります。コインロッカーも小さいものばかりだし、ゆいレールの駅中、又は近くに大きな荷物を預かってくれるところがあるのもっといいのになあと思う今日この頃です。

### 3. 宿泊施設について

ホテルの部屋で、歯ブラシ・カミソリなど連泊するにも関わらず毎朝新品が届いていたことについて、もったいないと感じました。観光地化している分、環境への配慮が特に必要なのではないのでしょうか。例えば、分別型のゴミ箱を道に設置し、分類をうながしたり、歯ブラシをカウンターで必要な人にもみ配布する方法をとるなど、です。来客者へのサービスを重視するというよりそれ以前に、島の環境、地域に住む人々の生活が大切にされるべきであり、観光客がそれに協力できるような体制をあらかじめ整えておけば、両者とも気持ちよく過ごすことができるのではないかと考えています。美しく素晴らしいこのシマを、シマの人を皆で守っていくことが何より大切です。

沖縄は3回目でした。初めては、主人と二人。2回目は主人と私と愛犬(愛人ではありません)今回は、私の両親と主人の4人でした。3回行ったのですが、一度も国際通りや市場に行っていません。駐車場がなかったり、犬連れで入れるお店がわからなかったり、団体旅行で時間が足りなかったりと、それぞれ理由があります。国際通りに利便性の良いホテルがありますが、泊まりたいと思うグレードのホテルがないのです。国際通りに近いホテルには、もっと新しくリノベーションをしたり、観光客に魅力があると思わせるような努力が必要と感じています。那覇の利便性の良いホテルに滞在し、レンタカーで観光できたらと思います。犬連れの旅のときは、レンタカー会社選びに苦労しました。各社それぞれ対応が違いますが、条件が厳しいものばかりで、沖縄に住んでいないと情報が少ないと感じました。(那覇のホテルで、犬の受け入れはなく、北谷(ビーチタワー)と北部(カヌチャ)に宿泊しました。)ちなみに、初回の滞在は、ハーバービューホテル、名護のマリオットでした。ブセナ、マリオットクラスのホテルが那覇にあると良いですね。

タクシーの運転手さんが感じが良かったです。宮城県仙台市から、毎年夏休みに沖縄に行きます。実は離島にまわり始めてから(宮古、西表、渡嘉敷に行きました。)のんびりしたいし、那覇ではもう宿泊しなくてもいいかな・・・と思い始めていたのですが、やっぱり1日くらいは那覇でどっぷり沖縄気分になりたいので、宿泊しました。何度、観光しても良かったです！来年も又、おじゃまさせていただきます。

・道路、地名表示が少ないと感じた。ナビを頼りに走ったが、標識が少ないので、戸惑った。・ホテルでも駐車料金を有したのは、びっくり！今回の那覇のホテルはホテルマンや従業員の接客がとても良く、行き届いていて気持ちよく宿泊できて、楽しい旅が出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。

食べ物が美味しく、地元の人も気立てがよくまた来てみたいと思いました。ただ、宿泊施設について、〇〇〇荘が雑誌やインターネットの記事に書いてあることとずいぶん違ったのが残念です。人手が足りないのだろうけど、あのサービスに一泊5000円は少し高すぎるとおぼせました。

初めての沖縄旅行で分からないことばかりでしたが、ホテルの方に飲食店を教えてください、とてもよくしていただきました。楽しい沖縄旅行となり、とても満足しております。また是非夏に旅行に来たいと思いました。

ホテルにもよると思うのですが、大浴場でお金がいるのにびっくりです。大浴場がないのにもびっくりです。他の所ではほとんどが温泉付きのためゆっくりと入浴が出来食事と2つがやはり楽しみの第一条件です。一度は来たがやはり温泉がないということは私にとってはネックになっています。

#### 4. 景観・自然・美観等について

初めての沖縄本島周遊のたび、3日間でしたがとてもよかったです。沖縄の人たちが、戦争のために本当にご苦労されたことがひしひしとわかりました。まだ60すぎたのに、アメリカ軍の為に広い国土もゆうゆうと利用しているのに、いかりを感じます。そして、お墓をはじめて拝見し、先祖の人たちを大切に想う心に関心いたしました。又、行きたいです。

路線沿いが、きたない。ゴミが多い。廃屋等がそのままである。沖縄らしさが失われて行くのを感じる。東京、大阪の小さな暑い街になって行く。沖縄の人々の人柄のそぼくさには、いつも沖縄の良さを感じます。緑が少ない。本州にないものは何かを考えない都市計画だと考える。

沖縄の文化等、面白く拝見させて頂いております。また、日本初であると思われる「路上禁煙防止条例」を市全域で行うというのも素晴らしく思いました。ただ、まだ広報が不十分のようで、あちこちで歩き、路上喫煙者も多くいました。タバコ臭を感じました。これ以上、沖縄を汚さないようにするには、「タバコ公害物質」であるとの認識を強めなくてはならないでしょう。(もし、那覇市が禁煙都市になったら、迷わず引越すするかもしれません。)また、路上だけではなく公共施設の禁煙化をお願いします。牧志公設市場はまだまだのようです。トイレに灰皿が堂々と置かれているのは、おかしいと思いますし。この場合は完全に仕切った喫煙室を設置して頂きたいです。最近では、美味しい食事、美味しいお酒を求めるに対し、「禁煙」を条件とする人も増えています。飲食店に関しても美味しいものを提供する自信があるなら店内空気もキレイにしてほしいです。喫煙可や不完全分煙のお店はマズいから禁煙可にしていると思込んでしまっています。(今までの経験から、マズい店はほとんど分煙してなかった)。沖縄は、自然崇拜の土地がら、ゴミやタバコのポイ捨て等を禁じた条例がすでにあると聞きますが、ほとんど守られてないようです。もう一度、この件に関しても県に訴えてみてほしいかと思ひます。沖縄の自然と、沖縄の風、沖縄の空気をいっぱい感じたいので、路上喫煙防止条例は、すすんで実行していただきたい。受動喫煙を絶対受けさせないようにもお願いします。これ以外に関しては、まったく問題ありません。でも必要以

上の開発はしてほしくないです。沖縄大好きなので、これからも沖縄好きでいさせてください。愛知県豊橋市沖縄病の女性。

市内はやはり東京と変わらず。南国ムードを印象づける為には市内であってもフェニックス、花などみどりをもっとほしかった。海岸線の施設も充実が必要。宮古や石垣に流れぬ様美しいオキナワ本土をもっと改善するとよいと思う。全社のバスが乗れる1日バスクーポンの発行。最初の内は、一度くれば良いと言う印象だったのが、最近のリピーターも多くなり全般的に接客態度が良くなった。1週間滞在出来るウィークリーマンションがふえているが、それらを一括したパンフレットがあると良い。牧志市場が楽しみだが、値段は公正であってほしい。

那覇に何度も来て滞在していますが、公共施設や街並みがここ5~6年大変良くなった。きれいな街になっています。特に感じるのが、緑が多くなっていて道路の周辺のお花や草木が多くなっている。手入れも良くなっている感じがします。それとゴミ置き場のゴミがきれいになっています。以前は、ひどかった様な気がしてました。少し工事(道路)が多い気がします。

那覇市が想像以上に楽しかった。国際通り沿いで宿泊したが表通りよりも、裏道に面白そうな個人店のカフェや店がありました。沖縄民謡ライブハウスなどもあって、他の地方都市よりもはるかに興味深かった。また特に、首里城から金城までの石だたみ道がすばらしく昔の風情が残っており、“ウタキ(赤アカギの)”など静かな見所があって印象に残っている。ぜひ大切に残してください。日本国中、そうですが、看板やバラバラの建物などせっかくの風情が台無しのところがあります。モノレール駅から首里城までの道や、首里城公園周辺などもっと緑を植えて下さい。

アメリカからの返還以前から来ていますが、国際通りのめざましい変化は賛と否の両方を感じています。素朴で平屋の家屋は消えて同じようなビルが並びきれいにはなったものの、沖縄らしい感じがなくなったようです。特色を生かした街づくりをした方が良いと思う。モノレールは大変便利でよいです。牧志公設市場の2F食堂などは、安いといわれて行ってみましたが、逆に高い内容だと思った。リピーターの口コミは影響が大なので工夫した方が良いと思います。沖縄は土地柄も人間も素朴なところが魅力です。

自然条件を最大限生かした街路整備。ホテルや高層ビルで都市の顔をしているが、日本の中で唯一亜熱帯に属する特性を最大限に生かす街路づくりを期待。本土にはない街路樹や珊瑚で作った街路などところどころにあるが、全体に保守が悪すぎる。はっきりって放置状態なところが残念。車での移動で『あ、南国にきた、キレイだなー』と思えることがリピーターにもつながろう。基地近辺のメンテの良さと比し他がある。市民パワーの活用もあって良いのでは。台湾や中国に比べても見劣りする。沖縄大好き人間として残念です。

モノレールの駅に弱小ホテルの方向、地図が欲しい。街全体のバリアフリー化。DFSギャラリーは新しいわりには段差が多く入りにくい。

子供たちは、学校の修学旅行で来ていた。娘は(上の)新婚旅行で来た。私たち夫婦は50代のおわりで、はじめて来ました。学生の頃、海洋博があり母親と妹は来たのに、さそわれたのに来なかったことを後悔しています。国際通りは、あいにく夜にまわって雨で主人はつまらなそうで孫は1歳で大変で少ししか見られなかった。残念です。ゆいレールも乗れた。(レンタカーでまわって、若い人達と別行動)主人と首里城までゆいレールと徒歩で移動しました。景色が良かった。ハイビスカスやブーゲンビリア等々がきれいでした。道も広々としていて、気持ち良い旅でした。

毎回楽しい旅行をしています。沖縄の方は皆とても良い方ばかりで、又行きます！ただ観光客が(自分もですが)増加しており、自然が今後どうなっていくか心配です。今のきれいな沖縄でいてほしいのですが……。

年に数回訪問し感じることは、①川をきれいにしてもらいたい事。②タバコの投げ捨てがなくなるよう。です。

沖縄には、13年前最初に訪れて以来、その魅力にとりこになってしまい、7回程来ています。ここ4年くらいは子供が小さかったので、訪れることができなかつたのですが、モノレールが開通したり、新都心が出来たりと、その変貌ぶりに驚いています。ただ、個人的には、首里の裏通りの赤瓦の家とか石畳の通り、個人経営のお店が立ちならぶ昔ながらの沖縄(那覇)がすきなもので、そのあたりのバランスを大切にしていきたいと思います。昨今、どの地方都市に行ってもトルトーキョー的な街並みになってしまい、町の面白さがなくなって、つまらなく感じています。そこにいくと沖縄(那覇)は、まだ独自性が保たれているので、今後は街並みの保存に予算をたてるなどの対応をお願いしたいと思います。また、久しぶりに訪れて感じたのは、若い子たちといっても20代くらいの男女の対応が以前に比べ乱暴な感じがしました。東京、渋谷のセンター街を歩いていて、そこにいる売り子(店員)を見ているような、粗景な印象で、以前の日に焼けた明るいウチナンチューの感じはしなかつたのが、残念です。沖縄は観光立県であることを、小・中学校の教育でも徹底された方が、印象が良いと感じました。いずれにしても、まだまだ沖縄は魅力的です。

初めての沖縄旅行でしたが、非常に海がきれいで素晴らしく、日本離れした街並みに驚きました。香港やマカオに似ている気がします。街を離れると樹木や道がハワイ・サイパン・グアムにととても良く似ていると思いました。人も優しく、各ホテル施設の接客も好印象で何度でも来たいと思いました。

・公共交通がないので、交通費用が割高となる。・観光バス、行きは迎えに来て帰りは送りなし。これでは困る。・ゴルフ料金が非常に高い。・町は綺麗でした。・大変きれいなところです。いつまでも自然を守ってください。

私は、福島県に住んでいるのですが、修学旅行で初めて沖縄に来ました。福島とは違い、とても暑くて、私は体調を崩してしまいました。海がとてもキレイで、魚がすけて見えていて、とても感動しました。それに、沖縄でしか見れない花や景色が沢山見れて、とても楽しかったです。それに、バスガイドさんの話などで、沖縄の色々なことを聞けたので、とても勉強になりました。次は、プライベートで、自分でお金を稼げるようになってから、自分の大切な人と一緒に来たいと思います。なので、このすばらしい自然を守り続けてくださいね。私も自然を守るために、地球温暖化防止に努めたり、ゴミを出さないようにしたりと、頑張ろうと思います。すばらしい風景を見せていただき、本当にありがとうございました。

個人的に那覇の良い所は、多様な飲食店が集積しているところにあると思う。商業施設の開発は、地方の独自性を消していく。国内のみならず世界中でも似た様な街が多い。(商業施設)地元の人に必要なことは理解できるが……。那覇のユニークさを維持、発掘してもらいたい。

コインパーキング場の料金が高い

また行きたいと思いました。沖縄最高。サンゴ保護に力を入れて欲しい。

沖縄独特の自然を楽しみに行くことが多いと思うので、むやみに施設を増やして、景観を損ねると魅力が消失すると思います。

本土から600kmくらい離れている亜熱帯都市だが、日本の一都市として変わらないと感じる。街路樹など亜熱帯樹木をもっとふやすべし。ビルなんかも本土と同じ様なのではなく、沖縄らしさを出してほしいと思う。

那覇市内は、飲食や買い物。空港からの移動に便利な場所にあり、ぶらっと遊びに行くには良い街だと思います。ただ沖縄らしい風景を見にのんびり滞在するには、あまり向いていないと思います。

初めての沖縄旅行でした。コザで行われた沖縄サンバカーニバルに参加するためでした。那覇空港よりすぐ乗るモノレール。駅に着くぐらいに鳴り出す音楽にやさしい気持ちになれました。那覇は、中心地は都会の都市という感じで少し離れると港のある町っぽさを感じました。国際通りは、すごくにぎやかで、沖縄風新宿と渋谷といった感じがしました。沖縄なんだとかんじられたのは、海岸沿いをバイクやバスで走ったときでした。時々見かける昔ながらの建物など見ると、昔の物、地域性というのは大切なんだなと思いました。滞在中、天気があまりよくありませんでしたが、とても楽しい旅行となりました。また、沖縄に行きたいと思います。

感想と意見、最近の沖縄は高層ビルが建ち、沖縄に来たというイメージがわからない。以前、(15年前位)沖縄に来たときは、沖縄の昔そのままの文化にふれ、良かった。また、感激し脳裏に焼き付いている。

○道路標識がまちがえやすい。勘違いする。○那覇市内の観光は残念です。○副都心はよかった。○街がきたない廃墟の様子が目に付く。

日本唯一のリゾート地として沖縄を訪れたが、かなり失望した。まずグアムやサイパンのようにリゾート地としての自覚や意識がないと思う。例えば、グアムなら空港ついて市街地に行けばすぐ海があり、おまけにショッピングもできる。しかし沖縄にはそれがない。波の上ビーチも行ったがまわりはラブホテルだらけ。最悪だった。

那覇の印象→通りをタクシーに乗って気付いたのは、公共施設(図書館、市民センター他)に沖縄の伝統的建物が施されていて都市としての景観を特徴付けていてよかった。石垣市図書館も外観は石垣の伝統が残されていてその町の特徴をだして良かった。

・巨大なみやげ物店のモールになっている→国際通り周辺 ・本土とは違う雰囲気がある ・戦争時に本土の『踏み台』となった悲惨な歴史を時折感じる街。

国際通り、行ったのですが、どの辺りがメインなのかがよく分かりませんでした。ホームレス?の方が多く見えたので、ショックでした。ダンボールの家もなかったので、路上で寝ている人もみえて、倒れている人かと思って驚きました。あと交通にて、運転が荒くて驚きました。特にスクーターが。

国際通りの歩道が広くバリアフリーになり、楽しく散策できました。外路にやしの木があると南国にいる気分になります。

思っていたより観光地は、すばらしく水族館など感動しました。もう一度来てみたいと思います。

新都心を初めて訪れましたが、ショッピングモールには良いが、ゆっくり静かにくつろげる、空間が皆無である。是非、公園を整備され緑の中のモールにしてほしい。とにかくベンチ、イス等緑の中でくつろげる空地(公園等)がほしい。ほとんど無い。(イス、ベンチ)。都市計画が変に商業に傾きすぎ。殺風景であり、沖縄事業の良さが感じられない。もっと植樹に緑の新都心地区に将来発展されるよう望みます。

## 5. ホスピタリティーについて

2泊3日の旅程が天候不順の為、一日延びて3泊4日の旅となる。通常、天候に起因する費用は個人持ちとなるのだが、今回はツアー会社持ちであった。こんなことがあるんですね。

障害を持っている我子と共に楽しい旅行をしました。沖縄県の多数の皆様よりやさしさ心のこもった対応に対し、心より感謝申し上げます。最初で最後の修学旅行、大変お世話になりました。〇〇養護学校〇〇〇3年母です。

沖縄県人の心の温かさには、何時も頭が下がります。本当に親切にしてもらい感謝の気持ちでいっぱいです。この出会いを求めて、又、訪れたいと思います。楽しい思い出をありがとうございます。

平和な日本が続きますように。私は1927, 12, 27生まれです。沖縄戦激しい。台北で学生兼陸軍の一兵でしたので、観光気分では沖縄に来る気にはなれませんでした。一度はと思って来ましたが、しかし、どうやらリピーターになりそうです。いろいろな人達の良さに感激です。

いつでも見えるエイサー祭り会場を。おきなわワールドのような毎日、エイサー祭りのある会場、観光地を首里城の近くにあってはどうか？美ら海水族館及び首里城への観光客が多い分、那覇市内で観光地にしてはエイサーで集客できるのでは？やはりおきなわワールドのエイサーは喜んでいただいています。(添乗していますので)

那覇は4回訪れていますが、今回は4泊目に新都心にホテルを取り、周辺で散策とショッピングをしたので、なんだか那覇の新しい一面を見れたようで楽しく感じました。那覇市内のホテル初日に泊まった(とまりんの上)の朝食バイキングが充実していて、ホテルの方も感じよく、港が一望でき、よかったです。窓ガラスがちょっと汚れてくもっていて残念でした。(高層なので、窓みがきも大変なのでしょうけれど・・・)今回は齋場御嶽を訪れることができ感激でした。私は、世代的にもいわゆる昨今の“マニュアルしゃべり”が『よろしかったでしょうか？とかこちら～になります』とかが、苦手で、普段行くお店も、なるたけお店のスタッフの方々がマニュアルしゃべりじゃないお店を選んで行っています。沖縄は、ホスピタリティーにあふれた人間的な接客ができる方々にもてなされる心地よさが好きで、何度も行っているのですが、接客業の若い方中心にマニュアルしゃべりが増えてきていて、残念に思います。きれいな言葉で(もちろん沖縄のことばで)接客ができる方が、若い世代に増えてほしい。おいしいもの、きれいなところが沢山あって那覇は好きです。今回は博物館が見れなかった。次回は博物館中心に那覇観光をしたいと思います。

## 6. 交通事情について

通勤ラッシュ時にゆいレールに乗ると非常に片身が狭いです。二両編成はイイとして、混雑時(朝・夕方)はもう2～3本数を増やしてみてもイカがでしょう？また来ます。

今回は、主として新都心に滞在しました。街はよく整備されており、きれいな印象がありました。一方、周辺の交通事情はまだ改善の必要があると感じました。具体的には、朝夕の渋滞緩和や、わかりやすい道路案内表示(交差点名、各交差点に道路名表示等)があると大変過ごしやすと思います。また、路地に入ると道は狭く、かついろいろな方向に伸びていて迷いやすかったです。

路駐をやめてほしい！！交通渋滞のもと。観光客にとっては一段と迷惑で印象が悪い。沖縄は沖縄としての特色があり、他所から来たものはほとんどのことは、この地域の長所として受け入れるつもりでいます。しかし、一方で日本の標準

の意識を期待する気持ちもあります。基地や戦争時代のことなど、ここの人達にしかわからない複雑な感情もあることも沖縄へ来てよくわかります。そういう意味からも、沖縄は観光地として、他県からの客をたくさん受け入れてほしいと思いますので、結局は観光客のイメージアップを期待したいと思っています。とりあえず、交通事情の改善を期待したいところです。(こういうアンケートがあるという、市当局の意気込みは大変評価したいと思います。)沖縄旅行は本当によかったと思っています。ありがとうございました。ますます沖縄の人气が上昇することを祈ってます。

全体的におだやかで暖かい感じがした。レンタカーの整備が一部不足していた。(カーナビが古い)

モノレールをひめゆり、まぶにの丘までループにしたらいい。道路、国際通りが混みすぎ。

モノレールをせめて北谷まで伸ばしてほしい。

沖縄はとてもすばらしい所でしたが、飛行機などの沖縄への交通費が高く、それさえなければ、何度も訪れたいと思える所でした。機会があればまた行ってみたいです。(良かった所)・物価が安い。・気候が良い。・自然が美しい。・食べ物おいしい。など

道路のセンターライン、停止線の白線が薄くて見えかかっており、レンタカーの運転時見づらい。

オートバイが多く、車で走りにくかった。車の運転マナーは良くなかった。割り込み、車線変更、路肩駐車 etc 人は皆親切で食べ物もおいしかった。

道がせまいです。これからもっと観光客が増えてくると思われるので、道の整備が必要だと思います。

タクシー料金が安いことと、深夜まで営業している飲食店が多くて驚いた。タクシーの運転が荒くて緊張した。もう少し安全運転でよいと思います。

34年前に来ました。そのときは、本土復帰の翌年だったので、道路も反対車線だったし、米軍の町という感じで、通りを歩くのさえ、こわかったです。泊まったのは、ヒルトンホテルだったのですが、ちょうど独立記念日(7月4日)と重なってしまったため、夜中までドンチャンさわぎが続いていました。今では治安もよく、料理も食べやすくなっています。ただ、いろいろな所に行きたかったのですが、道路標識がわかりづらく、ずいぶん迷いました。もっとわかりやすくして欲しいです。首里城では、母(83歳)が迷子になってしまったのですが、係りの方が親切にしてくださり、とても助かりました。ありがとうございました。次回は、離島に行きたいと思います。

いつも思うことですが、隣接都市との境界がわかりづらく豊見城、糸満、浦添、などと色分けした共通のドライブマップをレンタカー会社を通して配布してほしいですね。新都心を訪ねてみましたが、まるで生活臭がなく、郵便局や劇場など魅力ある町を知ってほしいものです。市内唯一のビーチも、改修工事が長引いているようで、瀬長、美々、トロピカル etc レンタカー利用者にはとまかく、バスや歩きで出かけられるよう、スピードアップしてください。伝統芸能は、料亭、ホテル、遊園地などの外での一般講演を平日、日祭りを問わず見られるようにしてください。もちろん有料でけっこうです。

自動車の走行について。二車線のレーンで地元の方が中央車線でマイペースに走られていました。40から50キロ速度の道路でも20から30キロぐらいで。出来れば左側を走ってもらい、わたしたちレンタカー組は中央車線を法定速度で走りたいです。

交通マナーの悪い人が多い。車を運転していて、いきなりの車線変更などこわくて、沖縄の人の性格のためもあるのかとおもったけど、やっぱり事故が起こる原因になると思うので、気をつけてほしいと思う。

路線バスって、走っててもうかってるの？客さん乗ってないで！0とか2~3人、本数減少するが、廃止したら同じと何台も走ってて、5台も行って次はぜんぜんけえへんし、待ち時間が長いし、運転手の対応悪そう、イメージ悪い、タクシーのマナーも悪い。どこも同じやけど、あととくに交通マナーは悪すぎますね。大阪もいろいろで悪いんやけども…警察は何やってるの？信号無視、合図は出さない、スピード表示が遅い。30、40大阪の方は、守れない！

国際通りにアーケードをしてください。車は一方通行にしてください。道がでこぼこで、車椅子が通りにくいです。

交通について 那覇市はとても便利で良いのですが、市外への交通の便を改善していただけたらと思います。今回、琉大の学生である兄のアパートに滞在しましたが、市外線となると、国際通りを始め、魅力的な那覇市内のスポットから夜帰宅する際、バスの本数も少なく、訪問先でゆっくり時刻を気にせず過ごすことができず、残念でした。また、那覇市へ出るのに、往復で800円もバス代がかかり、ゆいレール同様、1日券があればと思いました。もっとも、希望するのは、ゆいレールを延長していただきたいということです。今回の滞在で、1日券を利用しましたが、那覇市内(首里)で終わってしまうのは残念です。那覇市内には、たくさん医療機関がありますが、それでも大学病院に来院する方は多いと思いますので、ゆいレールを首里から琉大病院まで延伸したらよいのではないのでしょうか？ビジターではありますが、大学病院(しかも国立)の辺鄙さに驚いてしまいました。(また、バスがバリアフリー化されていない、ノンステップでない、車椅子に対応していない、こともびっくりしました。)那覇を中心として、沖縄本島は非常に楽しい、魅力溢れるところだと実感しました。ゆいレールについてぜひご検討ください。また、訪れることができる日を楽しみにしています。

台風がひどいのは仕方ないが、高速道路の復旧が1日ばかりというのは、お粗末すぎる。新潟でも、大雪が降っても、半日で復旧させます。北部・中部・南部の幹線である58号線の渋滞をなんとか緩和しないとつまらない思い出しか残りません。台風が来た際の施設間での楽しみ方がわからなかったのも、案内が欲しいと思う。

子ども連れでの移動は、バスだけでは時間に余裕がないので、もう少し便数を増やしてほしい。これと云った、目玉商品がない。祭りも期間限定だと、そうでない月に来県した人は物足りない。

18年ほど前に初来沖して以来、何度か来ています。今回は6回~7回目になります。初めて来た当時と比較して最も変わった、と思うのは国際通りです。現在、この通りにはほとんど観光客相手の店しかないのではないかと、思えます。以前は大きい書店があったことを記憶していますが、なくなりました。沖映通りにある観光案内所で『那覇市内の大きい本屋を3つほど教えて欲しい』と言ったところ、リウボウ内の書店があがっただけで、あとは浦添などのものでした。那覇市民の民度はどうなっているのか、と余計なことを心配してしまいました。モノレールは、観光客にとっても、大変便利です。以前は、かなり綿密に調べないと乗ることのできない路線バスか、タクシーを使うしかありませんでした。電車は、『行き先がはっきりしている』『ダイヤが確定している』という点で、有用度が高いと思います。なぜこれが今まで沖縄になかったのか、ものすごく不思議に感じられます。なお、モノレールができたことで、『電車がいない都道府県』は、徳島県のみとなったそうですね。ホテルの近くにあった図書館で、沖縄の観光産業における現状と問題点を分析した本を読みました。その中に『観光客は、沖縄には天候による“当たり”“外れ”があると思っている』というくだりがあって、なるほどと思いました。私は、台風に遭うなどの“外れ”を経験したことがありません。これを体験すると、自分の『沖縄観』ともいうべきものがどう変化するか、少し興味があります。

⑭で書きましたが、タクシーの利用者数をはるかに上回るタクシーを見ました。もったいないです！私たちはレンタカーを利用できないので、(免許がないから)、タクシーの1日サービスなどがあればぜひ利用したいです。もしかしたら私たちのような客は珍しいため、そのようなサービスを実際に提供するの難しいのかもしれませんが・・・私たちは、とあるタクシーの方に、5000円で約3時間ほど2箇所の観光スポットをまわっていただきました。タクシーを見つけるまで、バスとモノレールをのりついで2時間かけて行こうと考えていたので、とても助かりました。さらに、バスやモノレールを使うと片道2000円以上もかかるため、タクシーの方がはるかにお得でした。もちろんこれは、タクシーの運転手さんのサービスからきた金額です。とても感謝しています！お金だけではなく、沖縄に昔から住んでいらっしゃる方が、運転手さんだったということで、沖縄の面白いお話を聞くことができとても楽しかったです。これはレンタカーでは絶対に体験できない、とても貴重な機会だったと思います。私たちの旅行はこの方との出会いでとても豊かなものになりました。もしも、1日1万くらいでタクシーの方が私たちを好きなところへ連れて行ってくれる・・・というプランがあったら、何てステキだろうと思います。例えば、ひめゆりの塔、首里城、平和記念公園、国際通りをまわりたいと考えていたら、タクシーの運転手さんが1日おかかえ運転手さんのようになり、まわりやすい順にまわってくれる・・・ただ、タクシーは最大で3人までしか乗れないのですが、しかし、1日1万から2万円でも2人乗れば、1人5000円～1万円なので、利用しやすい金額だと思います。①待ち時間少なく②自分の行きたいところに好きなだけ行けて。③沖縄の人との小話もできて④荷物も身軽で⑤そんなにお金もかからない。

路線バスを利用しました。利用されている方が、高齢者の方が多いと思いました。半身麻痺のある方とか障害者の方も利用されており、階段が高く間口が狭いと感じました。できれば、車体が低くなるといいのかなと思います。運転があらうと思いました。車内で転倒や尻もち等つくこともあるのではないかな・・・と思いますが・・・質問等にはきちんと教えて頂きました。街で道をたずねたりすると、皆さんとても親切に教えていただきました。一人でも楽しい時間を過ごす事ができました。ホテルでも時間に追われる感じがなく、とてもゆっくりとできました。車が多く混雑しています。レンタカーが多く道路を知らない観光客が多いせいだと思いますが・・・。色々と開発が進んでいるようで、工事が多く、ほこりっぽいです。沖縄の良いところがなくならないようにしてください。

ホテル(近くのバス停など)から無料のバスが出ているのもっと良かった。沖縄大好きです。また、行きます！

地元のナンバーの車や、バイクの交通マナーが悪い。特に原付がひどい。・ゴミ箱を増やしてほしい。・雨が多いようなので、バス停に屋根をつけてほしい。・夜、街を歩くのが怖い。街灯を増やしてほしい。

ゆいレールがとても便利で、案内等の表示もわかり易く良い交通手段になった。国際通りをはずれ、少し裏路地に入ると廃墟のような建物がちらほらと目についてすたれたイメージがあった。

・制限速度を守る運転は良いが、運転にメリハリがなく方向変更(進路変更)や、一旦停止などただらとした運転でドライバーの考えが良くみえず、恐いというか渋滞の原因であると感じた。(県民性か?)・道路標識(行先表示板)に地名があっても、沖縄独特の読み方があるので、カナがないと読めない場合が多い。また、表示板にいろいろな地名が書かれており、どちらの方向かわかりづらい表示があった。『あと何km』の表示が少なく感覚的な時間の読みができづらい。・道路の白線、特に停止線や横断歩道が消えている場所が多かった。・高速道路の南側終点を早くバイパス側へ接続して、交通の流れを変えるべきかと思う。極力、車両が那覇市内を通過しないで済むよう計画すべきと思います。・いつきても活気があって楽しい夢のある所だと思う。物価も比較的安いし、住みやすそう。・また、行きます。希望をもって・・・。

免許が無いため、美ら海、音市場までバスで移動しました。(那覇から)バスターミナルが大きいのに、路線図や時刻表が無く、案内所に行ったのですが、忙しいらしく、声がかげずらかったです。(教えていただきましたが。)わかりやすいものを作成していただくと助かります。

・国際通りに、オープンカフェが多く出店されると、街にゆとりが生まれてくるかも…。イタリアのような感じです。・緑を多くしてください！国際通りもヒートアイランド現象がでているのでは？・国際通りに車両制限を！！(通行禁止)沖映通り～久茂地区間でも！！

那覇市の印象・都会的、華やか、にぎやか、活気がある、お店がたくさんある・自動車が多く、運転が大変。2車線が長く続くが、右折レーンのないところも多く、後続がつまりやすい。マナーが悪い車も目立った。(地元の方レンタカーの方問わず)・都会的な洗練された印象の一方で、沖縄の文化を大切にしているように見えた。一流ホテルスタッフが、かりゆしウェアを取り入れるなど。・無料情報雑誌がたくさんあって、助かりました。目的別にまとめるともっとわかりやすくなるかも。(ex、買い物重視、リラックス重視、アクティブ重視など)

・都会化しており、長期滞在には向かないと思う。・路上駐車がが多く、原付バイク、スクーターの運転マナーが悪い。・空港と町の中心部が近いのはよいと思う。・高速道路でも、停車している車があるのは不思議に思う。

バスがよくわからず苦労した。沢山あるのだが、数社あり検索するのもいまひとつうまくいかなかった。

市内の駐車場マップを作ってほしい。国際通りに綺麗な公衆トイレを作っては？一本通りを入ったところでもOK

20年前に比べて、非常に観光がしやすくなりました。高速道路が出来、モノレールが出来、レンタカーでもレンタカーなしでも観光しやすくなりましたね。週末のみの訪問でしたが、十分に楽しみました。今回伊計島までドライブしましたが、秋だった為でしょうか、道も混まず楽しい時間を過ごせました。では、また沖縄に行くかという沖縄で楽しむことを捜さなければなりませんね。美しい海を見に、海岸沿いをドライブなんていうのも、いいですが、夏は渋滞があるのではと不安になりますね。香港の様に、空港から船で北部に行けたりすると楽しいかな。

バス路線の系統図がわかりにくい。市内線、市外線のバス停が同じ経路が同じ様で線るのによく見ないととまどう。100円バスは、便利でよいのですが、識名園へまわるような、巡回バスができないか。市内グルリバス。

日曜日の国際通りにおけるバス交通規制、知らない人がほとんどでは？私も気付かず空港から乗ってしまい、あわてて県庁前で下車しました。(目的地は松尾)

時間よってのバス専用道路標示が判りづらい。県外の方は判らず違反するケースが多く、罰金を取られ、沖縄のイメージが悪く終わってしまう。警官を専用帯が始まる所に立って注意をうながすとか、警備員を雇うとかして、判りやすくして欲しい。

交通渋滞を何とかしてほしい。人はみな親切でやさしい。沖縄には、美味しいお寿司屋さんがないんですか？ちゅら海水族館は規模が大きくゆったり気分になれました。

○街中、コンビニ前やホテルの前に座り込んでいる中学生や地元の方が多く、その店に近寄りにくい。○長期間1人で出張なのに気軽に1人で入れて、食事だけできる店が圧倒的に少なく、食事はコンビニで済ませてしまったので少し

考えて欲しい。○前回来たときでしたが、松山地域の客引きがウザイ。タクシーが停車したとたんに、ドア前に向かって全力疾走は怖い。○高速有料道路の料金が高額すぎる。

モノレール1日券を使い、まる1日那覇観光した。1日券に付いていた観光案内のパンフレットが大変重宝した。ただ、観光地案内表示をもっと増やして欲しい。観光案内パンフレットに書かれていた、目的地への所要時間が正確であった。大変良いことだ。

市内の車が多すぎる。モノレールのネットワーク化をさらに充実すべきと思う。交通施設、地域名等の案内サインが少なく、『今自分がどこに居るのか』も判りにくい。

・バス交通機関の人がすごく優しくかったです。タクシーの運ちゃんも、ワンメーターでも愛想よく行ってくだされ、嬉しかったです。一般的に大阪が義理人情厚いといいますが、沖縄の方がずっと上で本当に親切な人ばかりで楽しい旅行になりました。・土産は全て郵送しましたが、郵送代がかなり高かったです。

ゆいレールがもう少し遅くまで動いていると嬉しいです。(～0:30位まで)

・もう何回も沖縄に来ているが、食事もおいしく人も良くて満足している。しかし、ひとつだけどうしても許せないのがある。それは、バイクの無謀運転だ。平気で車の間をすり抜けていく。何度も危険な目にあつた。また、何度もバイク事故現場を見た。日本全国いろんなところに行くが、沖縄のバイクのマナーは日本で最低だと思う。警察はもっと取り締まるべきだ。バイクの無謀運転さえなければ、沖縄は日本で一番良い所だと思う。

3年か4年前から毎月沖縄県のどこかに来ています。①松山のカラスをなんとかしてほしいと思います。②タクシーでよい方もいらっしゃいますが、ほとんどダメですね。ホテルを知らないか、場所がわからないと言ってグルグル回るタクシーが多すぎます。

交通手段についてお願い。ウィーンを旅したとき、トラムも地下鉄もバスも全て一枚のチケットで利用できました。空港及び、那覇市内くらいはバスとゆいレールは同じチケットで乗れるようになるとありがたいと思いました。ゆいレールの1日券は利用しました。公設市場の二階食堂、楽しい所でしたが、高いかな！

モノレールができてから、初めて参りました。モノレールは、車内も明るく見晴らしもよく、楽しく乗りました。国際通り周辺で食事、買い物をしましたが、同じようなみやげ物店ばかりに思え、沖縄らしさをあまり感じられませんでした。交通事情で仕方がないことだと思いますが、排ガスで空気が悪く気分よく歩けませんでした。日曜日は歩行者天国でとてもよかったです。裏道や路地にまで車が多く、道路も段差が多くてブラブラお店をのぞきながら歩くのには危なく感じました。車に頼らざるを得ない沖縄の交通事情を目の当たりにしましたが、旅行全体的な印象はとても良かったです。

沖縄に来て始めて20年を過ぎました。今も年3～5回でお世話になっています。ずいぶん改善されてはいますが、やはり空港で乗るタクシー運転手の態度が良くないです。友人、知人を連れて来たときなどは、イキナリ出鼻をくじかれて恥をかかされます。行く先をいっても、まず返事をしない！初めて沖縄を訪れる友達たちにはそのことをよくよく言い伝えて気分を悪くしないように苦勞しております。やっとの思いで、休暇をとって楽しみにしていた人には気の毒なスタートになってしまいます。よろしく！

沖縄はとても気候が暖かくて、大好きです。予算の関係で2泊3日の旅でしたが、次回はもっと長く来たいと思います。那覇市内をレンタカーで走りました感想は、坂や曲がりくねった道が多くて、『大体この辺りかな』と適当に曲がるととんでもない所へ出てしまい迷いました。(カーナビがついているので大丈夫でしたが・・・)これは私が何回も足を運んで慣れるしかないと思いました。地元の方々も聞いたら親切に教えてくださる人ばかりで助かりました。

・モノレールは大変便利でした。・社用の訪問であったためあまり観光できなかったのが、残念です。また、観光目的で沖縄、那覇へ行きたいです。

沖縄は、2車線の道路がほとんどですね。主人がレンタカーを運転していて、驚いたといったのは、反対車線から右折をしてお店に入ったり、急に信号のないところで曲がったりして、よく事故がおきないよねと言っていました。はらはらドキドキの連続でした。関東との交通事情の違いを楽しみました。世界遺産をまわる旅が面白かったです。

首里駅から首里城までのタクシーはとても良心的だと感じたが、市内のタクシーに夜2回乗ってみたところ、ホテルと国際通りの短い距離を微妙に時間をとる方法の運転でメーターがあがるのには腹が立った。市内を知らないわけではないので、やはり、歩くべきだと思った。しかもみんな愛想が悪い。

沖縄は今回が5回目です。気付いた点1、バス:系統がわかりづらい。プリペードカードを導入すべきだと思う。旭橋のバスターミナルをきれいにしてほしい。2・ゆいレール:来るたびに混雑が増している。増発か、3両化が必要。 亜熱帯の沖縄は好きです。いつも5日程度ですが、いつか長期で来たいです。次の機会を楽しみにしています。

1、空港からのモノレールが混んでいます。重い荷物を持つての移動は辛いです。2、川からの汚い臭いが気になる。3、親切に道を教えていただきました。ありがとう。

新都心の人の少なさにビックリ。車が増えすぎて、大渋滞は相変わらず。国際通りに電柱が少なくなったのは良い。モノレールの北への延伸を期待。→通勤と地球温暖化対策。空港からの海底トンネルの開通に期待。観光県にふさわしい街の美化を。

那覇市は何回か訪ねていますが、観光地としては一通りそろっており、とくに不満はありません。空港から市内へのアクセスが良いのもうれしいです。

・モノレールの建設位置が良い。景観にうまくマッチしている。モノレールから見た市街は、建設物件の設定がうまくて、市街がきれいに見える。又、市役所からモノレールを見ると街並みにうまくマッチしている気がする。・タクシーで、移動する場合、交通混雑であっても、バス専用レーンにタクシーを走らせるのは大変良いことです。人の視点、丘からの視点、上空からの視点、モノレールからの視点、充分すぎる。モノレールの駅にあがる階段、もっとデザインに注意を払い建設してほしいと思います。いい県庁があるではないですか、街は建物、植物、樹木、公共物すべてデザイン重視した『いやしの空間』づくりですから。京都からの旅人

・接客マナーがなってない。初めての道路なのでホテルに連絡をとった所、主な建物、交差点をいってもちんぷんかんぷん。もうちょっと自分の立場を考えて欲しい。こちらは、お客様です。失礼しましたとの言葉も使わない。・交通マナーの悪さ。バイクが対向車線に入っても、車を追い越すし、内から外からスピード落とさずに運転するのは沖縄だけではないか。・黄線道路で、40kmの所を30kmでのりくんだり、追い越しできず。イライラしてしまう。・道路も主要なところは整備されているが、その他はもうちょっとキレイにされたし。

以前、11年前に来た時、とても海がキレイで物価も安く良かったので、今回は夫婦で来ました。今回来てびっくりしたのが、空港が新しくなり、広くなったこと、ゆいレールが出来ていて、市内に行きやすくなったことです。海は、前来た頃の方が、もっときれいだった気がします。(うちの主人は初めてだったので、海がきれいだと感動していました。)夜、国際通りでショッピングをしましたが、酔っ払いが多く、ちょっと怖かったです。又、近いうちにもう一度来たいです。2、3月頃予定しています。

タクシーで観光しましたが、ドライバーさんが親切でとても良かったです。若い時に行きたかったです。年取ると言う様に歩けないので残念でした。

モノレール 1 日乗車券を利用したが安価、便利、旅行者に最適。旅行者への気配りが老人へのいたわりが、親切にしてください楽しい旅が出来た。那覇空港は、手荷物預け窓口と搭乗口が別フローになっており不便だった。

市街地の大きな道路は、カーナビの感覚がわからず、かなり迷った。右折レーンに並んでいる車の列が長くて、入り損ねたとか、原チャの数が多くてびっくりした。両サイドから車を抜かしていくので、バイクを引かないか恐かった。でも原チャの方がもちろんなれてたので、うまくよけていってるなあと感じた。国際通りで、飲食店の客引きをやってる人で、1人歩道で人をつかまえて真ん中に立ってた人がいてそれは、邪魔だった。車の量は多いが、県外者でも運転しやすくてとても助かった。街全体の印象はよかった。

タクシーの料金がバラバラなの何とかして欲しい。こちらは、もちろん安くて乗りたいのに、ホテルに横付けされているタクシーが500円だったらそれに乗らなくてはいけいないし…。あと、空港での案内人が少なすぎる。チェックインなどわかりにくくて困りました。

那覇バスターミナルに行った時、ゆいレールの駅から出た所にタクシーの運転手さんがいて、しつこくタクシーに乗せようとなかなか話をやめてくれなかった。美ら海水族館に行った時も、出口にいたタクシーの運転手さんがバス停まで来てしつこくタクシーに乗せようとしてました。いやがっているのに他のお客さんにも声をかけ、相乗りで行くともっと安くなるからと言いつつ出た。とても不愉快でした。おかげで行きはバスに乗り遅れてタクシーを使うはめになり、余分にお金がいってしまいました。

## 7. 観光情報について

那覇市内ホテル等に北部、中部、(名護)宿泊所のパンフレットを置いてほしい。2年前、30日今回10日フリー旅行

沖縄には20回以上行っていますが、毎回楽しい旅行で満足しています。いつもはレンタカーで移動ですが、今回は使用せずモノレール・タクシーでした。タクシー料金は安くてよいですね。モノレールも1日乗車券を使用し便利だったので、もっとレールを伸ばしてほしいです。各駅にもっと飲食店情報があると助かります。モノレールの駅への案内表示をいろいろなところに出してほしいです。今回偶然『那覇ハーリー』を観る事ができました。TVでCMを見るまでまったく知らなかったのが、空港やホテルなどに目立つようにポスターを貼ったり、ホテルで教えてもらえればよりよかったですと思います。与那国島は初めて行きましたが、素朴で何にもなくて本当に良いところでした。国際通りはおみやげ屋さんが多すぎて客引きでうるさいです。どこにおいてある物も一緒なんだから、どこかのビルにまとめてほしいと思います。DFSに『グッチ』を入れてほしいです！(ブランドを買うのは、DFSでと決めているので)8月にまた行きますので、よろしくお願いします。お世話になりました。

初めての沖縄旅行でした。3日のプランを考えていたのですが、所用で2日になってしまいました。・首里城帰りに儀保駅が近いと聞き、歩いていると、なぜか反対に行ってしまう、タクシーを使いました。全体的に案内が大ざっぱです。途中、那覇市内方向の案内がありました。歩く者、初めての者にはわかりません。案内地図、モノレール案内等があればよいと感じました。

観光地への案内もわかりやすく良かったです。那覇市を離れると食事する所が少ないのと、あってもガイドにのっている時間でもオープンしている所が少なくて困りました。海は、きれいで手入れなれすぎてない自然のままよかったです。那覇市のお店でも、看板が途中でなくなっていてどれくらい歩けばお店につくのか不安になったので、もう少し何kmとか何分とかいれて欲しい。フリーペーパーが色々あって良かったです。またゆっくり行きたいです。

米国統治下に長くあったことから英語表記はありますが、今後アジアからの観光も見込まれますので、ハングル、中国語等の案内も強化をしていただければと思います。福岡からきた者としては、アメリカに行くのは大変なので沖縄でプチアメリカ的なものがあると観光客はちがった(自然だけでなく)沖縄を満喫できるのでは。

1日、2日では十分楽しむことは出来ませんでした。まだまだ見てみたいところなど沢山あるので、機会を作ってもう一度訪れたいと思います。写真、パンフレットなどから思っていた沖縄とは少し印象が違いました。大きな町だなあという感想を持ちました。ゆいレールの空港駅に観光案内がもっとあると良いと思った。

ホテルの場所がわかりにくく、道に迷った。国際通りの交差点の曲がるところあたりに表示を出してほしい。

## 8. その他

国際通りが寂しくなっていて残念。町全体に観光客(来県者)に親しく、やさしく、しつこく→本土になくなっているものが沖縄には残っているよ！！

いつか永住してきたいです。あたたかくて、住みやすく、良い人、良い場所ばかりですね。飛行機代が安ければもっと行けると思います。

今回は3回目の沖縄でした。滞在中はゆっくりと沖縄県内を見ることができなかったので、次回沖縄に行く時は、計画をたてて、いろいろな観光や見学ができればいいなと思います。大阪にはない沖縄独特の伝統などすばらしいと思いました。

おきなわは、あまり若いデパートないです。新宿の高島屋と伊勢丹のようにほしかったです。

何度も来なくなる街です。若者のパワーがすごい！！楽しい街です。

小さな子供から、祖父母まで一緒に家族旅行のためゆっくりと歩ける市内であって欲しい。車と人が入り乱れている感じが残念でした。でも、また行きたい！！

良い所①駐車場が無料でよい。②ゴミが街にないので気持ちがいい。悪い所①那覇市内食堂で、注文をしてもいつ出来るかわかならないと言う返事でびっくりする長いこと待たされる。ぐずい(おそい)。・責任が教育されていない。

2年前にはじめてうかがったときより市街地の開発が良く行われているように感じました。ゆったりとして雰囲気でもリフレッシュして帰ってこられました。ありがとうございます。又、行ける時は島に行ってみたいです。足・腰をきたえて又の機会にそなえます。

5月21日から3泊4日はじめての沖縄でした。独身時、旦那が行っていたので、2人でも来てみました。海がキレイで、南部の自然のキレイさに気持ちよくなりました。タクシー全員ではありませんが、運転がこわい。やたら営業トークの人。モノレール少し寒いがもう少しエアコンひかえてほしい。真夏ではないので。国際通りを巡回していたケイカンがゴミをひろっていた。関心した。

観光がメインの県だが、海がどんどん汚れているのがとても気になる。エコロジーを全面にアピールする必要がある。  
\* おみやげの包装紙 \* ホテルのシーツ、タオル、etc の洗濯を少なくする(観光客に協力してもらうよう、要請する) \* ビーチのゴミひろい。\* 日焼け止めの使用ではなく、ラッシュガードや長袖の着用のススメ \* エコバックの使用 ホテルの建てすぎもやめた方がよい。沖縄に来るようになり、21年。都会化、汚染がとても気になります。ホテルのアンケートにも必ずエコ対策を提案していますが、なかなか改善されません。沖縄県全体で、環境について考えてほしいです。

予定では、1日目国際通り周辺、首里城、紅型工房、2日目美ら海水族館3日目国際通り周辺でしたが、到着日雨だったため首里城、紅型を3日目に延期しました。ところが、2日目午後、水族館から戻ると夫が急性腸炎を発症し、そのまま那覇市立病院へ救急外来で駆け込みERで1泊。そのまま入院を勧められましたが、旅先だったので、東京の病院へ転院手配をし、3日目那覇発20:00のフライトに照準を合わせて応急手当していただき、那覇→羽田→病院と無事移動しました。初めての沖縄でのハプニングに、観光らしいことは出来ませんでした。ホテルのスタッフ、タクシーの運転手さん、そして那覇市立病院の方々に大変お世話になり、思い出深い旅になりました。必ずまた訪れたいと思っています。街を歩いて気づいたこと。◎電柱などに貼ってあるドミトリーの広告(こういう宿泊施設があるということを知りました。沖縄ならではの雰囲気を感じました。◎居酒屋さん(なかむら家にて)のフレンドリーな地元の方々。お店の人以上にメニュー解説をしてくれてその他美味しいモノから愛の話まで熱く語ってくれました。東京の飲食店は個室や隠れ家的を強調しますが、オープンマインドな沖縄のお店は温かかったです。◎TAXIが安くてびっくり。初乗り400円台で驚きました。深夜病院からホテル。早朝、ホテルから病院と日中も使いましたが運転手さん皆親切で泣きそうな私を励ましてくれました。◎次来的时候は、平和通りや市場通り、那覇を拠点に他の島、歴史ある場所等廻りたいです。◎マンション名が建物の壁面にじかに書いてある。住所まで書いてある建物もある。

私の子供いや多分、昭和のもっとよかった時代とってもいい所です。私は団塊Jrの世代ですが、内地ではもうその世代は大変苦しみ、狂いそうです。ここに一人で来ることは、子供もおりますので大変難しかったですが、もうストレスに耐え切れなくて来ました。Asia+America+でいい効果があるんだと思います。美しい琉球をいつまでも。また来たい。リピーターになる人が多いのがよくわかります。県民性も苦難の歴史があったからこそ、内地にないものをもっているんでしょうね。大好き！こんなところで暮らせたらと、海外国内、何回も転勤した公務員の妻は思います。こういうところに、税金を使っている沖縄市役所ってすごいですよ。

・国内でありながら、一部外国情緒が味わえる街。・海の素晴らしさ、色の種類の多さと美しさ。・気候の変化のゆるやかさ。以上他にも筆に表せない事柄多くあります。\* 体の健康のうち(自由になる)3~5年間移住したいと思います。

那覇市への印象及び感想について ●印象及び感想等○沖縄は(那覇市含む)、日常生活でのストレスに疲れた私の心身を癒してくれる重要な場所である。○バスの運転手が、サングラスをかけていて驚いた。○食事が美味しいうえに量も多く、値段が安価な店が多い。初めて沖縄を訪れた際、意外に那覇市が都会なので驚いたのを覚えている。○日本の他都市と明らかに趣が違っているので(空や海の色等)、外国に来たような錯覚を受ける。○沖縄を訪れる回数が増えるほど、

私にとって那覇市は通過の町になっている。○子供たちの遊んでいる姿を良くみた。(私の住んでいるところでは、あまり子供が遊ぶ姿をみないので)○交通マナーが悪いと感じる。

那覇の印象①渋滞がひどい。車速が全体的におそい(ゆるせるが)②緑が多いのは良いが、中央分離帯が草ボウボウなのは残念。逆にキレイにしたら大きく印象が良くなると思う。③やたらインターネットカフェが多い(良いこと)④駐車場のマナーは悪くないと思う。⑤車の移動に少し時間がかかるが、GS、コンビニ、スーパーetc すぐにあるので便利⑥人は親切(北海道とずいぶん違う)⑦個人的に、沖縄の食べ物は大好きで、那覇は全国でもとくに居酒屋のレベルが高いと思う。京都とここが一番好き。⑧土産物は充実している。⑨太った人が多い。⑩車の修理工場が目立つ。ボロい車も目立つ。⑪キレイな表通りのなところがない?⑫街路樹の種類がワンパターン(4~5種類?)⑬今回利用したホテルは安いのに部屋が広くクリーン非常に印象にのこった。また使いたい。

マリン業者に対しての指導、サンゴにさわらない。サンゴを踏まない。亀に触らない。業者自身ができているのに、客にしないよう注意することは不可能である。きちんと対応できる国があるのに、それができないのは悲しすぎる。自然は、守る意識がなければ守ることができない。沖縄の観光資源を守ってください

早くアメリカの基地をなくして、広い沖縄を実現してほしい

・例えば、レンタカー割引の駐車場設置。・ハイビスカスが咲き乱れる(写真)ポイントが欲しい。・国際通りを御堂筋並みに一方通行に!あるいは、バスのみを両方通行に。・閑空間の夜行便を作してほしい。8月2日から2本目の滑走路オープン完全24Hオープン。・本島東海岸にも、ビーチ、リゾート地を!といいながら、水はこれ以上汚さないでほしい。年々、汚くなっている様に思う。・脳ナシ防衛大臣(旧)の発言にメゲず、戦ってください。我々、関西人は集団自決については、アノ無能大臣よりよく理解しております。若い人に読んでもらう為、資料館で手記集を2冊買ひまして、本日さっそく若い者に廻し読みさせました。できれば、日陰のある木も、噴水もあり少しくつろげる公園も。首里城の下にある防空壕について、もっと案内板を立てて、観光客にも紹介すべきです。

東町会館がなくなるので、県立郷土劇場を引き継ぐ施設を。だんだんヤマトになっていくのが寂しいです。大嫌いな新都心だけれども便利さ故につい泊まってしまう。あんなところ沖縄らしくないのに。

のんびりしたかった。私にはピッタリな那覇でした。毎週BSテレビのうちな一亭を見ています。また来たいです!

ちょうど台風時に行ったのですが、宿泊先(春海ユース)のあたりいっただい、停電にあたりました。復旧するまでに12時間ほどかかり、どのぐらいで復旧するかなどの情報がほしかったです。施設の方もいろいろ電話したりしていましたが、状況はよくわからないままの状態でした。天気がよければ、波の上ビーチや南部の方に行きたかったです。那覇市はやはり都会で、あまり緑がないのだなと感じました。

国際通りが、観光客だらけで地元の人が少ないため、おもしろみにかけてきている。沖縄の地元の人と触れ合えるような町にしてほしいと思います。

那覇市内に泊まったのですが、地図で見た首里城は近く見えたので、歩いていったのですが坂がきつくと時間もかかりました。いい汗をかいたのですが、心の準備がほしかったです。当日は、教科書問題の集会があったようでした。静岡に帰ってからニュース、新聞で知りました。取引先の方も集会の件で忙しそうでした。首里城を見学して、沖縄の歴史を知り三山時代、統一、明治維新の王国崩壊、太平洋戦争と、日本でありながら独自の歴史を歩んだ沖縄に不思議な文化、不屈の精神を感じました。これは本で読んだり人に聞いたりして、わかるものではなく、心の底から実際に行つて

みて、体感できたような気がします。(ほんの少しですが)首里城にあった、戦争直後の首里城の写真がとても印象的でした。PS、商談はとても爽りあるものでした。

\* アンケートに、いつも記入しているが、ホテルの環境問題、エコロジー対策をしっかりと打ち出して観光客に理解を求め、実行してほしい。①シーツ、タオル、パジャマ等の洗濯について。海の汚染防止のためなるべく洗濯を減らすようにし、どうしても洗濯してほしい物のみバスタブに入れるなどにする。(海外のダイビングスポットで有名なところはほとんどの国が協力要請のカードを出している。)\* 飛行機から見て、読谷から那覇までの街並みは異様だ。ホテルなど建てすぎて、沖縄のよさが全く感じられない。都市化しすぎ。海のきれいな沖縄、自然の豊かな沖縄が、リピーターの多い県、人気のある沖縄県の魅力だ。自然と共存してほしい。沖縄が沖縄ではなくなっている。\* ゆいレールが中途半端。延ばすなら、不便な場所に作ってしまった国立劇場までのばしてほしい。南風原までのばしても、観光客へのメリットがあるとは考えられない。住民は、ゆいレールを延ばしてももの車に乗るはず。ぜひ、国立劇場経由(県立博物館も行きにくいだが…)にしてほしい。イベントが多いコンベンションビューローも通るといい。\* 沖縄の海は、20年前は世界一だった。今は違う。これ以上、うめたてを進めたり新しいホテルの建設をすすめないでほしい。アミューズメント施設もいらない。観光客が楽しかったと思うのは、都会にはない自然の豊かさ、本物の自然(作られた公園やテーマパークではなく)、あたたかさである。\* 市場が、値上がりしている。ちっとも安くない。\* 居酒屋もコンビニも、ゴミを少なくする努力が必要。\* 羽田発、那覇着は(またその反対路線も)本数が多すぎるのか、なかなか出発しない。考えた方がよい。\* ホテルでは、地元のおまつりをスタッフがきちんと把握すべき。わからなかったら、すぐに調べる姿勢が必要。また、ホテル〇〇〇で、入り口のスロープにバイクが止めてあり、スロープの意味がないと注意したのに、何日もそのままの状態だった。\* 私は、沖縄が好きです。いつまでも自然、文化伝承を見習っていきたく思われる沖縄であってほしいです。また、沖縄人が観光化されすぎて住みにくくならない沖縄であってほしいです。汚れた海になってしまった沖縄、人工ビーチばかり、うめたてばかりの沖縄に満足する人はいないと思います。どうか、自然を残し、いつまでも美しい沖縄でいられるようにしてください。

意見 ①モノレール旭橋駅近くのホテルに2泊(土日)宿泊しましたが、夜間暴走族のバイクの音のうるささで、2日間まったく眠れませんでした。観光地として、この様な状態では、とても良い旅とは言えません。今後、改善していただきたい。②那覇市内のタクシーのしつこさはひどいです。目を合わせないように、声をかけられても無視していました。ほっといてほしいです。乗りたければ、こちらから手をあげます。③国際通りの商店、値段がついていないので、おばあに値段を聞いたら、袋にその商品を入れ始められました。聞いただけなのに、ほとんど、地元の人が買う店は値段がついていませんが、なぜですか?不思議です。④首里城にて 1日3回有料区域で無料のガイドがいる事を知り、入る前に時間を聞いて、チケットを買って、奉神門で再度、時間を確認した所、まったく前の人と違う時間を言われ、1時間30分外で時間をつぶして又、戻ってきたら、『本日は、ガイドはありません』と言われました。正直言って、責任者を呼んでほしい気持ちでした。こんないい加減な事でいいのですか?もう首里城には、二度と行きません。この1日の時間を返してください。⑤モノレールについて、もっと遠くまで延ばす計画はなのですか。2日券を買って、大変便利でした。今後、線が延びることを期待しています。⑥沖縄の人について あまり『一生懸命』という感じを受けませんでした。暖かい土地柄なのか。以上です。

今回は、那覇にはあまりゆっくりできませんでしたが、那覇に宿3泊する時は、てんぷすで織り体験をしたり、国際通りや新都心のサンエーでショッピングや映画を見たりもします。識名園も良いところですよ。昔の沖縄の姿を残す美しい場所を知らないことも多いです。那覇は、本島リゾートエリアや離島の前、後泊に使われてしまうことも多いと思いますが、歩くのに良い季節には、壺屋どおり、公設市場、首里城近辺など良い所が沢山あります。しかし、それぞれが離れているので本島は市内のエリアをむすぶ(有料でよいので)市内観光バスなどがあると観光客には便利だと思います。道が混んでいるので、モノレールをというのもわかりませんが、モノレールの首里から首里城まで歩くことは特に高齢者は無理です。ツアーではなく、のんびり那覇を楽しんでもらうためには、こうした観光地をめぐる使いやすいバスなども考えてみて

はどうでしょうか？一般のバスは、ルートが難しく、何度か行っている私たちでも乗るのが困難です。都内でも丸の内や、神戸の観光ミニバスなど、とても便利です。あと、てんぷすでいろいろな作品を作る体験ができることは余り知られていないようです。(私など何度か体験している者はすいていて、良いですが)せっかく公費も投資して作られたのでしょから、もっとPRすべきです。指導する人も観光で体験に来る人にも少し作業の歴史を説明するとか、親切にやり方をわかりやすく指導するなど工夫が必要だと思います。織りなどは、ほとんど『自分たちが使う施設』とっているようで、体験者はやらせていただいている、と小さくなっているようです。もう少しサービス精神があってもよいのではないのでしょうか。プライドがあるのは悪いことではありませんが、余りにつっけんどんだと2度目に来るのは、私のようによほど織りに興味のある者だけになってしまいますよ。実際他の人が織っているのを見たこともありません。高いお金をとるのだからそれなりの指導とサービスをすべきだと思います。それともてんぷす自体が、単に伝統を守るためのもので観光客や沖縄の伝統に興味のある者は部外者なののでしょうか？いろいろ書きたいことを書きましたが、那覇は歴史も文化も『ぴらす』のように、今のモードを発信しているところもあって、楽しいおもちゃ箱のような所だと思います。私、DFSには個人的に興味がないのですが、もっとPRすべきですし、ただそのためには無理やりレンタカー会社をDFS側にパッケージで指定されるのがイヤで、最近マイレージを使って個人旅行が多いです。那覇のおもしろさを大切にして、なおかつそのおもしろさを、充分楽しめるようなインフラ整備やしなをこれからも期待します！P. S先日、国際通りをテスト的にホコ天にしたことはとてもよかったと思います。ただし、勝手に大道芸をしている人が、写真を撮った観光客に金銭を要求していたのはいかなものかと思いました。

・物凄く都会だと感じた。1日目、北部2日目私用で中部、3日目那覇市内、ホテルは全て那覇で公共交通機関＋タクシーのみというスケジュールでしたが、バスとゆいレールのおかげで、思ったよりも時間の余裕がありました。・基本的に、人間が親切に、バスの運転手さんは勿論のこと、タクシーまで客引きはするけれど、料金はボラないし私はよく、関東に行きますが、こちらが関西人と思ひ、道を知らないと思うのか、まわり道をされるが多かったです。終始、気持ちよく乗り物に乗ることができました。今現在、タクシーの値段は上がっているようですが、ああいった接客方針なら他県よりもずっと利用しようと思う観光客は多いのではないのでしょうか。高齢化が進んでいる今、気候の良い沖縄に行きたい、住みたい、という熱はますます高まってきたと思います。ぜひ、今のよう公共機関の交通とタクシーの良い関係(他県の者からは自分の住んでいるところと比べてそう見えました。)が続いていけばと思います。・バス移動中、基地が見え、その敷地の広さに驚きました。この維持費や、おもいやり基金(不透明に見えるネーミングと感ずます)などの経費が財政を圧迫し、沖縄及び日本に住む全ての人々の負担になるのだろうか・・・と考えさせられました。そして、街を、本島を散策して思ったのですが、沖縄の女の子はとても綺麗な人が多いです。でも、スカートやカットの大きい服を着ている人をほとんど見ませんでした。9月21日と気候的な問題や好みもあると思いますが、実際そこに住んでいる人々の自衛心も働いているのでは、と思いました。市内の観光課様宛の内容では、見当違いで観光目的で行った者としては薄くないようですが、米軍問題はかなり深刻な問題だと他県の者も感じています。教科書問題も同じくです。業務的には、明るく楽しくを前面に押し出すべきもの、那覇市だと思います。でも、すぐ近くに過去の遺物ではない場所がたくさんある所とも思います。これから、日本人や観光客の志向がどう傾くかはわかりませんが、大元になるものは守り伝えていきたいと思っております。他県の何も知らないのに長々と切れきれのとりとめもない文章でしかも、乱筆を失礼いたします。でも、30歳を超えて、初めての沖縄、しかも動機は恥ずかしいものではありましたが・・・是非また行きたいと思ひました。楽しい思い出をありがとうございました。

観光地だからか、すごく親切な人が多い気がします。国際通りは、もっと雑然としているだろう印象があったのですが、思ったよりスッキリして印象がUPLしました。

海岸付近にある植物に名前を書いてほしい。珍しいのがいっぱいありました。

那覇市内で気づいた事は、観光客の態度の悪さでした。(タバコのポイ捨て、つば、公共心のない行動)お金を払っているのだからという態度には閉口しました。

思ってたより都市化が進んでいると思った。観光客に優しい街だと思いました。又、行きたいと思います。

・何回来ても沖縄はいいですね！・海で泳ぐ場合の着替えが大変です。・よろしくお願いします。

コンベンションセンターを利用しましたが、交通渋滞にはまってしまって、バスでかんづめ状態でつらかったので、那覇市内でコンサートをできる会場をお願いします。

提言。私は身内を去る沖縄戦で亡くしている関係で、年に2~3回位の割合で訪沖し、戦跡巡や関係者にお話を伺っております。最近の市内(特におもろ街周辺)の発展、変貌はめざましいものがあります。旧市街地等の状況を巡る者にとっては、変貌が激しいので解説文書や、写真があるとまことにありがたいですが、それ等を見ることのできる、機関の設置を望むものです。又、開発に依り出土した戦時中の物品もぜひ保管し、後世に残してもらいたいと願います。市のますますの発展を祈りますと共に苦しかった戦時中の遺品の保管展示場所の設置についてもこれから先、お願いしたいと思います。感想。レンタカー社の指定するガソリンスタンドの料金が高すぎるように思われる。

沖縄は大好きで何度も伺っております。行政サイドで指導して頂きたいのは2点。①国際通りでの呼び込み！うるさくて、歩きにくい。②ゆいレール内でのマナー！席を詰めて座らない。不平を言いつつも、又来ます。私にとっては、心の故郷です。

那覇に到着した14日は、ちょうど那覇まつり(つなひき)の日で祭りの雰囲気を感じられて良かったです。国際通りは、おみやげ屋さんがちょっと多すぎる印象を受けました…。首里城で伝統菓子体験をしましたが、とても美味しく、りゅうきゆう塗りのお盆等もすばらしく良い体験になりました。係員の方が昔のお役人の衣装なのも良いですね。(サンピン茶の替わりも頂き、ありがたかったです)はじめての沖縄旅行でリゾート(やんばる)に2泊。那覇に1泊しましたが、やはり都会なので、印象としてはリゾートの方が思い出に残りました…。

私、74歳になる1人で生活しております。今は1人ですが、私なりに良い人生だと思っております。3年前に主人を亡くし、さみしい毎日ですが、5人の子と10人の孫に恵まれ、年金を上手に使い、孫のところへ通っております。主人にもうしわけないと思いながら、今現在を感謝しております。小学校、太平洋戦争ですごし、長崎も広島も又、この沖縄も存じております。ですから、ハワイも加えて観光などと足を入れてはいけないうざとく考えておりました。でも廻りのお友達にすすめられて、思い切って参加させて戴きました。62年も過ぎておりますから、無残な跡地はありませんが、その奥に生々しい戦いのありのままが思いおこされました。何かジーンとききました。まだ、いろいろ大変な沖縄ですが、未来のために頑張ってください。又、折があったら行きたいところとなりました。

私の個人的な意見ですが、⑩の那覇市内にほしい施設の質問に驚きました。あれだけの施設やお店がそろっているのに、それ以上もとめるもの？！まったく、ありません。かえって、施設が充実しすぎるのは那覇市に何かメリットがあるのか！！と思ってしまう。沖縄県人の方に聞くと、ほとんど、那覇市、特に国際通りには、あまり行かないそうですね…。昔と違くなりすぎて、行かなくなったとよく話を聞きます。あっ！！でもこれは観光客の意見ですね！お役に立ちませんでした。これからも『那覇』大好きな『那覇』を地元千葉よりも何かに協力できればと思います。那覇市観光課のみなさま、素敵な那覇まちづくりになるよう願っております。よろしくお願いします。今回、ロワジールホテル那覇を利用したことで、アンケートを出せたこと、すばらしい！ことだと思っております。アンケートの意見は、まったく参考になっ

いですけど・・・次回の沖縄旅行は、年内中に女1人で旅行に来たいと思っている私です。一度も一人旅を経験したことないのに・・・

娘家族が住んでいますので、沖縄へは何度か訪れ、本島や離島をゆっくりとまわらせていただいています。娘一家が住んでいることもあり、沖縄の風土や風景、歴史などを興味深く、本やテレビなどで見聞きしております。昔も今も沖縄の方々のご苦労を思うと胸が痛みますが、お会いする沖縄の方々は、大らかでやさしい方々ばかりで心が和みます。今回の旅で、今帰仁城などを運転手さんの案内で連れて行っていただきました。沖縄の米軍基地や、辺野古への建設の事、観光客にはお得なレンタカーが、地元のタクシー運転手さんの仕事をうばっている事などなど、今の沖縄のいろいろな問題を聞かせていただきました。中でも、観光のホテルや道路を作るために、山をくずし海を埋め立てることは、こんなに美しい沖縄の海には、似合わない事だと思えます。私たち夫婦も、いつも“久しぶりにちょっと沖縄のきれいな青い海を見に行こう！”と言って沖縄へやってきます。きれいな海を見に、それだけが目的でくる人達も多くおられると思えます。いつか、沖縄生まれのおばあさんが、『私は沖縄で生まれて、ハワイやアメリカのフロリダなど住みましたが、沖縄の海の色は、いろいろな色を見せてくれて世界で一番美しい』と教えてくれました。どうか、私たちの子どもや孫たちや、未来の人々にこのまま沖縄の海を残せるよう、沖縄の観光を考えてくださる今の人々が、賢明な行動をしてくださるよう、心より心よりお願いします。

初めて来ました。来る前は、色々雑誌を見てなやんで。でも、はずせないのが、ひめゆりの塔と、旧海軍指令部壕でした。僕の知らない沖縄戦。大切な青春時代を戦争の犠牲になっている人は、弾丸で、またある人は手りゅう弾で自決。国のためとは言ひ、酷すぎます。わすれたらいけないことです。戦争でなくなった人のためにも、いつまでも平和であってほしいです。話は変わりますが、沖縄の人は本当に自然や季節を大切にしているなーと本当に思いました。そば屋の女将さんが『春には〇〇が先、夏には・・・みんな命をもらっている』と言われました。そんなことを考えたこともありませんでした。今回は、南方面しかいけませんでした。次回はやんばる方面に行きたいと思えます。多分、2月ころ行く予定です。何でもよいので、情報いただければ幸いです。

\* 海に入れたので、(北谷で)良かった。海は10月末まで入れるのに、プールは8月末までしかオープンしていないようなので、プールも入れたらうれしいです。\* 58号線は相変わらず渋滞していて困りました。\* おいしい食堂がたくさんありますが、駐車場がなくて困ります。もっとコインパーキングでもいいから駐車場があるとうれしいです。\* おみやげのお菓子ですが、ジャスコで買ったものと、空港で買ったものが同じ金額だったので不思議でした。特に不思議だったのは宮古島のバナナケーキなんですが、宮古島と同じ金額でした。

ザ・ブセナテラス、水族館、嘉手納基地も見学させていただきました。考える点が多々あると・・・天候のせい、海が以前のように美しく感じなかった。先ずキレイな海に会える誰それが目的で訪れた。少々想像とぴったりいかない。着実に活力を増していることは、確かに強く感じると思う。それぞれ懸命な姿に接した。基地と共有共栄して、国際不運そうはさけられない世界情勢になると思う。国際的にしっかり手を結びあって自国を守っていく事が大切ではないでしょうか。

人情味あふれる県民性が大好きです。犯罪のない真に明るい街にしてほしい。

のんびりできて、日ごろのストレスがとれたような気がします。

沖縄が好きで、6回目になりました。今回は、自分自身で車を運転してみて、ナビを頼りに運転しても、道がよくわからない事が多く、もしかしたら観光のためのレンタカー等の運転が渋滞の一因ではないかと思ったほどです。特に、夕方の渋滞はひどいですね。国際通りあたりにホテルを予約するのではなかったと後悔したほどです。ホテルの契約駐車場も

不便で、荷物を持ってホテルに戻るのが面倒でした。国際通りだけでも電柱が埋設されると、歩きやすいし、美的なのだと思います。少し国際通りから離れた市内で泊まって、次回からはホテルから国際通りあたりへは、タクシーがよいかもと考えています。沖縄県全体として、道路案内表示がよくわからない事が多いです。そして駐車場が整備されていないです。なぜ立体駐車場がないのか、もっと牧志とか壺屋あたりにきれいな共同での駐車場があればいいのになあ。(有料でもOK)高松市中心の商店街は、知恵をしぼって立派な駐車場がいっぱいあります。金城町の石畳道には駐車場がなく、近所の人に教えてもらって、行ったところは地元の人で全く駐車できず、住宅街の道に車を置いて見学に行きました。沖縄から帰って、2週間くらいたちましたが、また行きたいという気持ちでいっぱいです。行きたいところ、食べたいもの、てんこもり。欲張らないで、次回はゆっくり観光したいです。

私たち夫婦は、今年4回目の沖縄。1回目(1月)レンタカーで本島一周。途中本部で一泊(3泊)2回目(2月)長期滞在下調べ。マンスリーとかコンドミニアムを体験(15泊)3回目(9月)久米島いろいろな島へ行ってみよう!4回目(10月末)座間味へ 沖縄へ何度も来たいと思う理由。①美しい海と魚。それらを守るために私たちは1回500円くらいの入島税を払ってよい。または、当たり前とも思っています。行政としては乱開発を防止。これ以外にないと思います。入島の人数制限が必要とあれば受け入れます。日本の、世界の沖縄の海です。②冬の暖かさ。私たちはコタキナバル(マレーシア)の国立公園の島々に2回行きました。1回目魚がすぐそこまでいっぱい泳いでいたからです。それで、2回目。2年後に行ってみると魚半減していてもう行くのを止めました。沖縄とは関係ありませんが、飛行機の安全だけは努力注意をおしまないで欲しい。

○3年前に初めて訪れ、3年間に4回来ました。初めてのときに、『観光名所めぐり』をしました。美ら海水族館は、3回行きましたが、他は1度だけです。一度で、十分ということでしょうか。首里城はそのうち行こうとは思いますが。食事は口に合うものと合わないものがありますが、『ちゃんぷるー』はおいしい。果物も美味しいし、泡盛はロックが最高です。海で、シュノーケリングとダイビングをするのがとても楽しい。南国のキレイな海は、とてもすばらしい。美しい自然(海)が一番の見所であり、沖縄の観光資源だと思います。大切にしてください。○ツールドオキナワで来ると、(11月初旬)ビーチがやっけていて、泳げないのがとても残念でなりません。気候的には十分なのに・・・○ダイビングショップの人は県外の人ほとんどで、県内の人はいないようです。せっかくの『自然』をみんな(旅行者)に楽しませるお仕事をしたらよいのにとおもいます。『あまり儲からない』商売だとお店の人は言うておりますが。○ちなみに、私はいづれ沖縄に住んでみたいと思っております。○居酒屋に行っても、メニューが観光客向けではないので、スーパーや市場で『刺身』とか、『グルクンのから揚げ』『トーフ』『チャンプル』を買ってきてホテルで食べるのが、気に入ってます。ご飯も『玄米』『まぜご飯』とか、いっぱいありますし『タコライス』はとてもユニークでうまい! ○次回は、島(石垣)に行ってみたく思います。

沖縄が大好きな58歳の私です。沖縄のことなら何でも知りたい・・・モニターがあればしたいです。

とてもさわやかな季節で、サイクリングが楽しめました。サイクリングロードの整備を充実させてほしいと思います。

活気に満ち沖縄のゆったり好感のもてる人町がよし。一度訪ねると又行きたい。何度訪ねても飽きない沖縄。

沖縄は、話の通り素晴らしい所でした。一番良かったのは、海です。ツアーの中で海に行く時間はなかったのですが、朝ホテルから散策し、海辺に来て白い砂と、水色の海には感動させられました。タクシーにも2回乗車する機会があったのですが、2回とも運転手さんが気さくで親切で嬉しい気持ちになりました。DFSの御菓子のお土産コーナーが少なかったのは、がっかりです。民家は、昔ながらの赤い瓦屋根にシーサーという家が案外少なくて残念でした。

毎月沖縄に(社用ですが)来ております。印象は、街の人々は大変あたたかみのあるステキな所だと思います。移住される方も多いと聞きますので、観光だけでなく、住むにも魅力的なところなんだなと。今後も、まだまだ活性化されることを期待しています。先日、タクシーに乗った際、運転手さんが、沖縄は他県(東京など)からの企業が多く、参入してきており(ホテル、レンタカーなどなど)実際は地場産業?というのか、沖縄の企業収入が増えているわけではない・・・と言われているのを聞き、悲しくなりました。沖縄の地元の産業が栄えれば・・・と私に何か出来る訳ではないのですが・・・そう思いました。那覇市内は、空港からも近く、とても便利な観光地だと思います。観光でも、数度来たことがあるのですが、那覇市内で観光の目玉は、国際通りもその一つかと思えます。夜は、観光客向けのレストラン etc いくつもありますが、日中ゆっくり出来るカフェが無い・・・と。観光客向けの沖縄らしさのある、又ゆっくり落ち着けるようなカフェがあると、那覇市内での滞在時間も長くなるのでは。あとは、国際通りの中に伝統工芸など、見て楽しめたり、体験できたりする場所があるのもいいかな?(以前にはあったのでしょうか?)今のニーズに合うものでないと!とは思いますが。ダラダラと、色々書いてしまいました。失礼しました。とにかく、沖縄がもっともっと熱い街になる事を願っています。(地元の方が、活躍し、潤う街に)(いろいろあるのかも知れませんが)私が知らないだけかもしれませんが)こもすごい!と思うのが、沖縄が地元の子は、沖縄(又は家族)を愛していますよね!今は(若いうちは)他県で働いても、ゆくゆくは地元に戻るという子ばかりです。そんな地元を愛する若者がこんなにいるのは沖縄が(おそらく)一番だろうと思うくらいです。こんな若者に色々なアイデアを出してもらうのもひとつだと思います。例えば、会議みたいな形だとなかなか集まらないかもなので、ひと工夫し、気軽に参加したくなるディスカッションの場を作るとか・・・もちろん若者の考えが全て叶うわけではないでしょうが。素晴らしい発想を持っている子もいるはずですよ!その他・・・沖縄では、多くのミュージシャンの卵の方々がいらっしゃるのでは、例えば・・・若手もベテランも地元のミュージシャンが共演するライブハウス?、昼夜楽しめるような感じだと、幅広い観光客が足を運べますね。若い方からお年寄りまで楽しめる方が良いので、OPENな感じで、おしゃれな施設だと。清潔感もあり。現代のものと、伝統的なものまで幅広く聴ける、見れる楽しめる。若手(無名)ミュージシャンの方も、あそこで歌いたい”と思うような。カフェ→南国らしいカフェがありますね。あちらも、沖縄らしくステキです。その他、沖縄ならではの御菓子、スイーツを落ち着いた店内で食べられる etc。沖縄そばやジュース(これは絶品です)こういったお食事が古き良き雰囲気をかもし出した店内で食べれる etc。

タクシー含む車運転マナーが悪い。横断歩道を渡っても、止まらない車(タクシー含む)が優先で平気で通る。\* 昨年石垣島を訪れ、昼夜とわず、道路を渡ろうとするとタクシーすべて止まってくれた。感動した。

ハワイが大好きで、2年に一度ハワイ旅行をしてきましたが、日本国内でハワイに変わる南国を見つけました。再度旅行したく思いで帰りました。食べ物が全体においしくなく思いましたが、観光地はみんなあんなものでしょうか。カラオケボックスが少なく感じましたが、カラオケ大好きでしたので、探したが、判らず残念でした。

今回は、那覇だけなんですけど、(毎年、本島1泊と離島)気付いたことを書きます。\* 観光地への案内板が少ないと思います。私らもレンタカーにて観光地へアクセスしたのですが、途中たくさんのレンタカーに乗ってる人達がカーナビが付いているにも関わらず、地図を見ていたり、地元人に聞いていた。『私らの京都では、電柱及び駅構内、バス停に案内しています。\* タクシー乗務員の教育の徹底。これは運転士の仕事には問題はないのですが、お気づき通り、風俗、キャバクラなど等の、強引な勧誘。レンタカーを借りたといえ、今回タクシーに乗ったのは、5回。その全て5回共に、勧誘された。男3人旅とは言え、断るのには苦勞を少しした。まあ、2回は言う通りに行ったのだが、(運転士が自慢げにいくらバックマージンがあるとかないとか話していたので、気になった)。\* のろのろ運転。いろいろ走っているうちに気がついたのですが、あまりにも遅い運転。あまりにも遅いとこえって混雑し渋滞の原因になるのでは?法定速度を上げろというのではなく、流れに乗って走って行くということを公安委員会に指導してもらいたい。\* 中部、北部を走行中によく出くわしたのが、道路に落ちているサウキビ。地元の人とはともかく、観光に来ている私らは、なれない車及び、道路状況で手がいっぱい。落ちているサウキビをよけるのは少し辛い。サウキビをトラックで運んでいるのならともかくダンプカーにシートもかけずに山積みにしてたら、まあ～落ちて当たり前といえば当たりの話なのだけど・・・後方を走っている車にとれ

ば、いつ落ちてくるかわからないので、とても怖いと思う。最後に・・・\*那覇の人に限らず、本島の方々の心あたたまる会話や、接し方は、どの県よりも上です。沖縄県民の皆様には感謝しています。

もう一度、行きたいです。意見・国際通りMapは、(赤地にゴーヤ絵入り)(空港、観光案内所で手に入れました。)本土での、他のマップやガイドブックと南北が逆になっていて、とても見にくい。統一してほしい。統一表示はN→上です。ホテルで出している地図も上が南になっていてとても見にくい。(東陽バス発行の地図だけは正しい)・ゆいレールに乗車した際、猫をケースから出し、座席にずっと(首里まで)座らせていた沖縄の方がいました。私たち本土では考えられないことです。犬、猫に関して日本全国統一してください。・美ら海水族館はすばらしい！又、『美ら海水族観察ガイド』については、このようなすばらしい資料を出しているところはありません。ぜひ、続けてください。売店には、なかなか大人がこれぞと思うようなものが見当たりませんでした。空港書店にある『沖縄限定コーナー』書籍(沖縄戦などの本)や沖縄の海に生息する(生き物や貝)トランプなどの販売を希望します。・段差が多すぎ。私たち60歳以上の観光客にとっては、常に下を向いて歩かなければなりません。また、行き止まりも沢山あり、『足での観光』をしている人にとっては時間のロスです。石敢當があるのもこんなことからなのか?!とちよっぴり考えました。『この先、行き止り』の表示がほしいです。・来る度に訪れる琉染めはとてもすばらしいです。展示物やお店の接客も、もてなしの心が素晴らしいです。玉陵も世界遺産なのに、本土の人には、馴染みが薄いです。時を越えての沖縄の歴史が、しのばれました。大変勉強になりました。・5年ぶりに訪れた那覇ですが、シーサーやTシャツのデザインが今風に変わっていて、がっかりしました。以前の落ち着いたデザインが良かったです。Tシャツに印字されている言葉などびっくりでした。・たった3日間でしたが、対→国、対→米国、対→県民(市民)を常に考えなければならない行政機関の大変さを感じました。那覇のますますの発展を願っています。また、訪れるつもりです。

・守礼門の前で、写真の勧め方がしつこくなくなったのが、良いと思います。・バスの乗降で、運転手さんの応答に温かさを感じました。乗客(土地の方)の親切さも感動し、私たちも同じように接しようと話し合いました。・百円バスで採算がとれるのか心配であり不思議です。・モノレールのスピードは南国風と驚きました。北海道へぜひおいでください。吹雪と云う悪女の深情けをたっぷり味わうことができるのは2月中旬です。

今回2回目の沖縄の旅でしたが、首里城のライトアップは中まで入って写真が撮れるとよかったのに。

①バス、路線案内がかすれていたりしています。これでは、初めての者にはわかりません。路線数は充実していると思います。他に乗客数とバスの大きさ、道の大きさがマッチしていない所もありました。コミュニティバスを今後積極的に導入することで、観光客も待たずに乗れる様にしていきたいと思います。②ゆいレール、これが導入されて那覇の人々にも便利になり、生活が変わったと思います。『モノレールチョコQ』など、ゆいレールグッズを売り出しても採算が取れると思います。空港駅は荷物を持っている人が使うことが前提として造られていない印象を持ちました。下りのエスカレーター、幅広の自改を設置するようすすめてください。③(人々)店、皆さん、『ここに来たの初めてです』といったら、みんな親切にしてくださいました。店も接客が良かった所も多く、みるだけでも不安なくできました。しかし、国際通り一本見ても同じ様な物を売っている店が多すぎます。特に、若い人が多いのかもしれませんが、伝統工芸品を売っている店が少ないと思いました。今後さらに創造力を活かして沖縄(那覇)ならではのアイテムが生まれるといいと思います。

お願いとして2点ほどご提案いたします。①公共交通の充実をお願いしたい。特に、バス等ではなく、モノレールなどの定時運行が見込めるインフラの整備(電車、地下鉄などでも可)\*バスは定時が当てにならないので×。渋滞の原因でもある公共交通の不足を解消して欲しい。モノレールの路線も中途半端なので、結局渋滞が解消しない。中部・北部まで考えた路線網の整備を(予算が厳しいようなら、パーク&ライド方式なども暫定的に利用しては)。激しい渋滞による機会・時間のロスはとてもムダです。観光だけではなく、ビジネスの場合としても非常に不効率です。渋滞が結局のところ経済停滞の遠因になっていることに早く気付くべき。②内地との移動にかかるコストの削減への交渉。沖縄に入る交通手

段としては現実的には航空機しかない。航空運賃の高とまりを県としても航空会社に交渉すべき。特に観光用のパッケージツアー運賃は安いものを予約変更ができないなどの制約が非常に多く、直近まで予定が確定しないビジネス用には不向き。結果、高い航空運賃を間際に購入せざるを得ず商用の機会にもマイナス(運賃が高いため来県の回数も減らず、商談の規模を縮小するなど)このままでは、喜ぶのは航空会社だけで内地、沖縄の双方は機会損失ばかりが大きく結局中途半端な経済交流で終わる。もっとお互いに人材、物質、などが活発に移動できるように環境整備を。

人が温かいように感じました。食べ物もおいしく、楽しく過ごせました。将来、移住したいと思うほどです。

・街中のゴミ、集めるまで放置されている状態が日常化されている。観光を考えるのであれば、人の目に触れない様にするべきである。・公園の整備、多くの金を費やして造った公園も、補修されずに放置されているものが多い。作るだけではなく後の管理、運営も含めて事前に検討すべきである。管理できないのであれば造るべきでない。・がじゃんびら公園付近で練習している(陸上部)高校生、散歩の際、皆挨拶してくれる。何か忘れていたものを思い出してくれた。観光地に必要なもの、気持ちの良い挨拶に変わるものはないのでは。

活気あふれる都市です。各ホテル間～モノレール又は観光地をめぐる周遊バスがあると便利かな。と思いました。観光にきている元気な60代以降の方が多みたいなので、バリアフリー化をお願いします。

若い方の礼儀がよくみなさん優しい。お年寄りが元気ですてき。絵葉書の(観光地の)種類が少ない

24日(日)の早朝6:30～からの国際通りの清掃ボランティアに参加させて頂いたこと、とても嬉しく思います。そして、6人ほどたむろしていた若者に『おはよう』とあいさつしたら、返事が返ってきた。やはり人間として嬉しかった。心は通うものだった。

☆道路を走っていて感じたこと 全体的にウィンカーを出すタイミングが遅いと思う。(右左折する直前に出されるので、びっくりする。一度追突しそうになった!) ☆ホテルの人、みんな元気よくあいさつしてくれて気持ちよかった。

国際通りを歩いていると道路が渋滞していて排気ガスが大変気になりました。バスのマフラーにフィルターを付けるなり環境面、人にやさしいことをした方が良いと思います。

気候が良かった。高年齢になれば冬滞在したいと思う。

客引きは気分が悪い。首里城玉陵付近のPはオカシイ。料金が非常に高い。もっと公共のものを多く。(無料で)例えば識名園のように。私たちは、定年後の時間をほとんど『旅』(夫婦共通の趣味)で過ごしています。ほぼ毎月、日本各地、世界各地へ行きます。その中でも沖縄は必ず年1回は訪問します。いわば別宅のような感じです。世界遺産は(沖縄県内のもの)全て訪問しました。気付いたのは『城』のパーキング、トイレ、オミヤゲやなどそれぞれ非常に良い(今帰仁、座喜味)、非常にオソマツ(中城、勝連)のように格差が大きいです。1週間、一ヶ月単位でB&Bスタイルのホテルやキッチンつきのものとか etc もっとバリエーションのある宿泊スタイルを市内や島内外で増やせばもっともっと多くの人が沖縄や中心地の那覇に来ますよ。私は約40年の仕事の関係で世界186カ国を訪問したり、滞在(3ヶ月から3、4年/一カ国)していますから少なくとも5000から6000軒のホテル(ピンからキリまで)に泊まってきました。色々選べられる(予算別、好み別・・・)のがベストですよ。沖縄のホテルは中位のところが非常に少なくて物凄く高い(カヌチャのようなところ)リゾート(僕は大変良いのですが・・・)ので客が限定されてしまう訳ですね。世界の中でも、海はトップレベルです。人情は厚く、親切です。食べ物の種類も豊富です。etc・・・なのに、バリ、プーケット、ランカウイ、サムイ・・・etc の東南アジアのリゾ

ートに多くの客を取られているのはなぜ？それは、①東京、大阪、名古屋などからの航空費がものすごく高い。(世界水準の3から5倍高い)②東シナ海(58号ルート)側はそこそこ開けているが、太平洋側の交通アクセスはものすごく悪いので、よいところへ行くのに時間がかかる。だから行かない。だからホテルの滞在日数が少なくなる。だから、落とすお金少なくなる…。③この様なアンケートだけで『観客の声』を集めても限界があり、face to face で徹底して意見聴いた方がベターですね。なおアンケートをただでやらせるのは良くないね。

沖縄は、義兄夫婦、妹夫婦がいます。郷土料理は少し苦手です。とても良い町だと思います。お土産はやはり、ちんすこうと沖縄そばを買いました。兄から八重山は沖縄本土と麺がちがうときいてたのですが、ツアーで食事つきだったので、とても残念でしたが、食べられなかったです。とっても暖かいかと思ったのですが、寒くて天気が悪かったのが残念でして、ツアーで離島(2日目の日)で北海道の方と話すようになり、私たちは(鹿児島島でしたので)お互いの土地の話をして楽しかったです。とても良い旅行になりました。うちの会社の男性職員は、1、2日目はゴルフでした。

国際通りに、ゆっくりできる喫茶店の案内が欲しい。国際通りで歩きつかれたらキャッチフレーズでサン沖縄に決めましたが、大浴場があり、部屋も快適でゆっくりできました。

毎回来る度、少しずつ変化している沖縄。町中はビルが高く建ちならんで…マンションだらけで…あっちもこっちもマンションができ、ちょっぴり淋しいです。自然をたくさん残してほしいですね。沖縄のいいところである自然を…大切にしてください。

沖縄は、いつもいやされます。北海道の旅人より。

少ししか滞在していないが、次は離島に行きたいと思った。(那覇は1泊2日で満足かな…)

2度目の沖縄でした。前回は娘とでしたが、今回は娘、息子と3人で参りました。前回と違うホテルに泊まりましたが、本当によくしてくださいました。まわりの人々もあたたかく迎えてくださり、今回も幸せな時間を過ごせました。今回実を言えば、息子の受験だったのですが、琉球大まで行くバスがわからなかったとき、バスの運転手さんにとっても親切にしてくださいました。降りる時はがんばれ！とまで言ってくださったと聞き、家族みんなで感激しました。気候同様あたたかくくださった皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。残念ながら落ちてしまいましたがぜひ来年また夏に来たいと思います。

もう10年以上昔になるが、父が単身赴任していた時期があり、(那覇に)その当時はもちろんそれ以前から沖縄には来ているので、今回特別抱いた印象はそれほどでもないが、父の赴任していた頃を思い出して胸がときめいた。当時と今と比べて変化したのは、ゆいレールができたくらいで、あとはさほど変化しておらず、懐かしかった。父にそしてこの那覇の街に感謝です！また必ず訪れます！

那覇市の印象 ○首里城の作り方(伝統)等のすばらしさを知り、またゆっくり訪れたいと思いました。○北海道の雪一面の景色の中から、花の咲いているところを見て、感動しました。

思っていたより都会でした。寺が少ないと感じました。人々の優しい対応サービス良かったです。又、是非来たいと思います。

牧志の市場で食事をした。1階の鮮魚店で刺身にしてもらい、2階の食堂で盛り合わせとして食べた。他にハリセンボンのから揚げを食べたが¥2000円とやや値段が高いような気がした。観光で来たのをいいことに、値を上げられたのかわからなかったが、県の魚は高いのだろうか？これがご飯と汁物が付けば逆に良心的な値段だが、もし法外だとしたらふに落ちない。

年に2度は訪れたい場所です。寒い沖縄は初めてでした。

今回は、団体旅行だったので、観光地以外のことはよく分かりませんでした。前回4~5年前に行ったときは、観光ルートに入っていない所を見て回ったのですが、地元の男の方がとても親切に教えてくれました。首里城付近のほら穴のような所でした。戦争時に沖縄の人達はつらい悲しい思いをしたのだなと心が痛みました。

初めての沖縄を旅行しました。首里城など世界遺産を見るだけでなく博物館、戦跡を訪ねたかった。市の図書館(千葉県船橋市)で沖縄戦の写真集を見て、苦難な戦跡を訪れたいと思い立って来ました。自分は小学校1年生のとき終戦でした。社会に出て、韓国、中国、台湾、タイと仕事で赴任し、アジアから見た日本を知りました。どうしても沖縄を見たかったです。ありがとうございました。

初めてで、3泊では何もわからないところです。1週間くらいあると少しは理解できるでしょう。人柄も穏やかな感じで永住したいと思う人の気持ちがかかります。姪が島(宮古)にいますが、話を聴くだけでなく来て良かったです。夏、秋を体験して長期に(3~5年くらい)住んでみたいです。

余り開発をしないでほしい。古き良き時代の沖縄らしさがなくなりつつあると感じます。リゾート化よりは、沖縄らしい古さが好きです。

大浴場が温泉であったのが、最良。部屋が海側であれば最高でした。自動販売機を設置してほしい。

首里城築城前に、2回行きましたが、戦跡めぐりが主でした。今回は、北部の方で観光オンリーでした。人情もよく、空気、水、海の色、とても素晴らしい！海洋博に行っていないので、水族館も見られてよかった。子どもも大喜びでした。安価なツアーだったので、あまり期待していなかったが、はずれです。とてもよかった。満足して帰りました。『安かろう、悪かろう』ではなかった。我々庶民は、こういう旅行を楽しみたい。また、沖縄へ行ってみたい。戦跡めぐりは、若い人の予定になかったので・・・近所に『識名』さんという沖縄出身の方がみえます。『識名園』をぜひ観たい行きたいと思っていましたが・・・次回にします。主人ははじめての沖縄でしたが、大満足のようなのでした。沖縄の方々、ありがとうございました。いいところしか目に入らない旅でした。

・沖縄の人は怖いなあ・・・と正直感じました。どこに行っても接客の態度など、悪く『いらっしゃいませ』すら言われなかったり・・・目つきも怖い人が多いかも。・バイクが多いと感じた。運転してても、危ないなあと思うことが多かった。暴走族も多いですね。だから、成人式はあんな感じで荒れてしまうのかな・・・。北海道では余り見ないので・・・

国際通りが単なる土産物屋通りなのには来る度に失望します。台風にぶち当たりましたが、宿泊施設が停電中でロビーで待っている客にアイスクリームを配りました。ちょっとしたことですが、気分が良かったです。(東横インおもろまち)あと、道の渋滞がどうにかならないか。リゾートに来て渋滞では、アジアの他のリゾートの雰囲気になれないと思います。サンゴが死んでいくのにも毎年がっかりさせられます。このままでは、ダイバーは沖縄に来なくなります。

茨城県教職員組合主催の『平和学習』に参加して、今回沖縄を訪れました。沖縄は、もう4回目ですが、いや5回目ですが、こういった研修は初めてで無知ではいけないということをつくづく感じました。宮良るりさんのお話も聞き、『命を大切にすることを教わらなかった』という言葉が、とても考えさせられました。

## 附表 参考資料

附表1 平成19年 県内にある周辺離島からの月別入込み、出域客数

(単位:人、%)

区分	空路		海路		計	
	入域客数	出域客数	入域客数	出域客数	入域客数	出域客数
1月	111,104	110,398	11,068	11,274	122,172	121,672
2月	103,433	90,420	13,015	13,676	116,448	104,096
3月	99,343	101,872	18,712	18,577	118,055	120,449
4月	115,024	109,980	18,620	18,678	133,644	128,658
5月	133,640	128,214	23,674	23,054	157,314	151,268
6月	116,105	108,782	20,096	20,249	136,201	129,031
7月	106,322	101,712	29,707	31,078	136,029	132,790
8月	110,212	103,851	48,179	48,531	158,391	152,382
9月	90,166	95,388	29,004	29,877	119,170	125,265
10月	102,541	92,468	22,737	23,433	125,278	115,901
11月	99,709	97,561	14,748	15,877	114,457	113,438
12月	120,234	113,983	13,651	14,177	133,885	128,160
計	1,307,833	1,254,629	263,211	268,481	1,571,044	1,523,110
構成比						

※空路では、入込み那覇着(上り)、出域は那覇発(下り)の客数。

※海路では、入込み那覇着(上陸人員)、出域は那覇発(乗込み人員)の客数。

※統計資料の関係により暦年での集計となっている。

附表2 平成19年度 県内にある周辺離島からの航路別入込み客数(空路)

(単位:人、%)

路線	石垣	宮古	久米島	南大東	北大東	粟国	慶良間	与那国	合計
4月	68,327	32,521	8,341	985	284	279	—	367	111,104
5月	61,020	31,641	8,456	945	427	475	—	469	103,433
6月	53,996	32,589	10,720	1,013	349	360	—	316	99,343
7月	67,594	35,955	9,290	1,015	333	416	—	421	115,024
8月	76,770	41,315	12,934	1,195	422	516	—	488	133,640
9月	67,337	35,088	11,639	926	354	345	—	416	116,105
10月	60,902	32,864	10,478	905	324	478	—	371	106,322
11月	64,889	33,157	9,721	1,056	422	559	—	408	110,212
12月	50,499	28,288	8,904	1,185	411	520	—	359	90,166
1月	59,663	31,890	8,900	938	400	380	—	370	102,541
2月	56,621	31,622	9,182	1,004	370	500	—	410	99,709
3月	70,950	35,610	11,226	1,252	396	350	—	450	120,234
合計	758,568	402,540	119,791	12,419	4,492	5,178	0	4,845	1,307,833
構成比	58.0	30.8	9.2	0.9	0.3	0.4	0.0	0.4	100.0
前年比	105.69	103.61	86.92	46.97	50.64	42.77	—	57.44	100.53

(資料:各航空会社)

附表3 平成19年 県内にある周辺離島からの航路別入込み客数(海路)

(単位:人、%)

区分	石垣	宮古	久米島	渡嘉敷	座間味	大東	粟国	渡名喜	伊江	本部地区	合計
1月	325	340	1,437	3,874	3,400	80	951	653	-	8	11,068
2月	228	286	1,457	5,405	3,726	156	1,021	726	-	10	13,015
3月	761	592	2,139	7,314	5,571	253	1,197	870	-	15	18,712
4月	419	370	2,138	8,143	4,970	196	1,395	908	74	7	18,620
5月	343	387	2,894	10,585	6,785	97	1,473	905	181	24	23,674
6月	325	375	1,989	6,897	7,417	520	1,202	883	58	430	20,096
7月	360	303	2,450	13,087	11,269	183	1,126	819	102	8	29,707
8月	809	805	4,588	20,303	17,495	165	2,499	1,206	264	45	48,179
9月	435	328	2,420	11,955	11,533	68	1,335	776	136	18	29,004
10月	296	233	2,723	8,690	8,546	113	1,266	849	-	21	22,737
11月	301	261	1,749	5,004	5,382	166	1,031	810	-	44	14,748
12月	257	194	2,115	5,277	3,868	187	1,003	742	-	8	13,651
合計	4,859	4,474	28,099	106,534	89,962	2,184	15,499	10,147	815	638	263,211
構成比 (%)	1.8	1.7	10.7	40.5	34.2	0.8	5.9	3.9	0.3	0.2	100.0
前年比 (%)	93.3	99.9	126.1	105.6	96.2	114.8	104.4	99.5	89.9	330.6	103.5

(資料:那覇港の統計)

※海路については、統計が暦年で行われているため、上記の表は暦年での集計となっている。

附表4 平成19年度 県内にある周辺離島への航路別出域客数(空路)

(単位:人、%)

路線	石垣	宮古	久米島	南大東	北大東	粟国	慶良間	与那国	合計
4月	64,213	35,515	8,535	814	432	310	-	579	110,398
5月	49,696	30,032	8,308	1,053	387	479	-	465	90,420
6月	53,871	35,179	10,666	935	419	417	-	385	101,872
7月	62,075	36,599	9,147	837	345	412	-	565	109,980
8月	70,980	42,145	12,154	1,276	489	519	-	651	128,214
9月	60,618	35,402	10,568	934	417	366	-	477	108,782
10月	55,467	33,859	10,255	913	378	479	-	361	101,712
11月	58,175	33,953	9,341	1,017	433	521	-	411	103,851
12月	49,125	34,861	8,986	957	469	524	-	466	95,388
1月	50,804	30,087	9,078	1,079	496	422	-	502	92,468
2月	52,225	33,343	9,628	950	441	499	-	475	97,561
3月	65,004	35,157	11,385	1,081	495	386	-	475	113,983
合計	692,253	416,132	118,051	11,846	5,201	5,334	-	5,812	1,254,629
構成比	55.2	33.2	9.4	0.9	0.4	0.4	-	0.5	100.0
前年比	108.09	103.74	86.03	48.63	47.26	74.81	-	59.85	101.45

(資料:各航空会社)

附表5 平成19年 県内にある周辺離島への航路別出域客数（海路）

（単位：人、％）

区分	石垣	宮古	久米島	渡嘉敷	座間味	大東	粟国	渡名喜	伊江	本部地区	合計
1月	485	308	1,479	3,603	3,278	179	1,258	681	-	3	11,274
2月	557	510	1,703	5,354	3,783	71	923	764	-	11	13,676
3月	1,026	706	2,065	6,908	5,728	114	1,180	841	-	9	18,577
4月	736	471	2,232	7,830	5,061	148	1,180	908	92	20	18,678
5月	795	528	3,076	9,400	6,601	94	1,425	902	218	15	23,054
6月	1,109	522	2,092	6,446	7,764	80	1,264	903	64	5	20,249
7月	912	835	2,725	13,069	11,389	140	1,114	819	70	5	31,078
8月	1,461	945	4,663	19,840	17,441	198	2,416	1,237	302	28	48,531
9月	949	585	2,469	11,961	11,592	63	1,393	796	49	20	29,877
10月	941	494	3,485	8,237	8,143	75	1,194	855	-	9	23,433
11月	607	456	1,932	5,291	5,467	106	1,157	838	-	23	15,877
12月	654	586	2,380	4,852	3,987	109	868	731	-	10	14,177
合計	10,232	6,946	30,301	102,791	90,234	1,377	15,372	10,275	795	158	268,481
構成比 （％）	3.8	2.6	11.3	38.3	33.6	0.5	5.7	3.8	0.3	0.1	100.0
前年比 （％）	95.9	112.9	124.7	101.9	98.4	110.7	97.7	99.7	85.8	89.3	102.4

（資料：那覇港の統計）

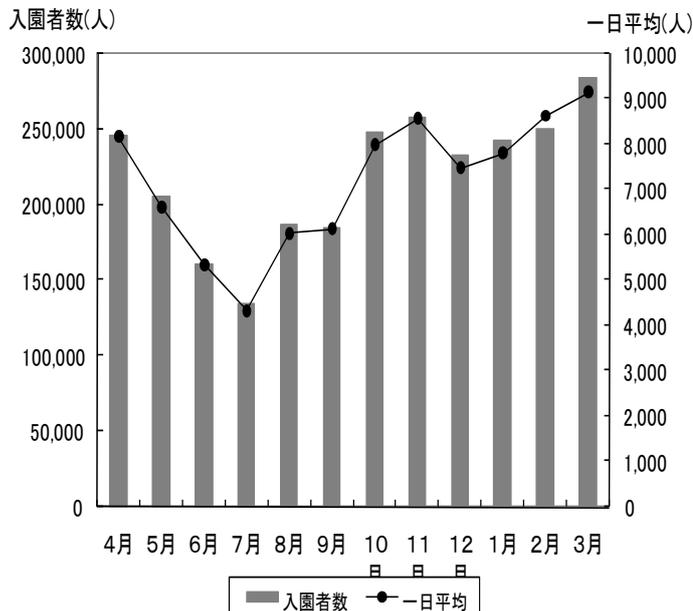
※海路については、統計が暦年で行われているため、上記の表は暦年での集計となっている。

## 主要観光施設の推移

(1) 首里城公園入園者数

	開園日数	入園者数	一日平均
平成 8年	363	1,783,346	4,913
平成 9年	362	1,864,734	5,151
平成10年	362	1,917,487	5,297
平成11年	363	2,092,586	5,765
平成12年	359	2,058,689	5,735
平成13年	361	2,017,556	5,589
平成14年	360	2,330,152	6,473
平成15年	364	2,466,180	6,775
平成16年	364	2,530,642	6,952
平成17年	365	2,474,470	6,779
平成18年度	365	2,658,592	7,284
平成19年度	366	2,629,741	7,185
平成19年 4月	30	245,275	8,176
" 5月	31	205,462	6,628
" 6月	30	160,197	5,340
" 7月	31	134,147	4,327
" 8月	31	187,053	6,034
" 9月	30	184,009	6,134
" 10月	31	248,170	8,005
" 11月	30	257,081	8,569
" 12月	31	231,989	7,484
平成20年 1月	31	242,165	7,812
" 2月	29	250,252	8,629
" 3月	31	283,941	9,159

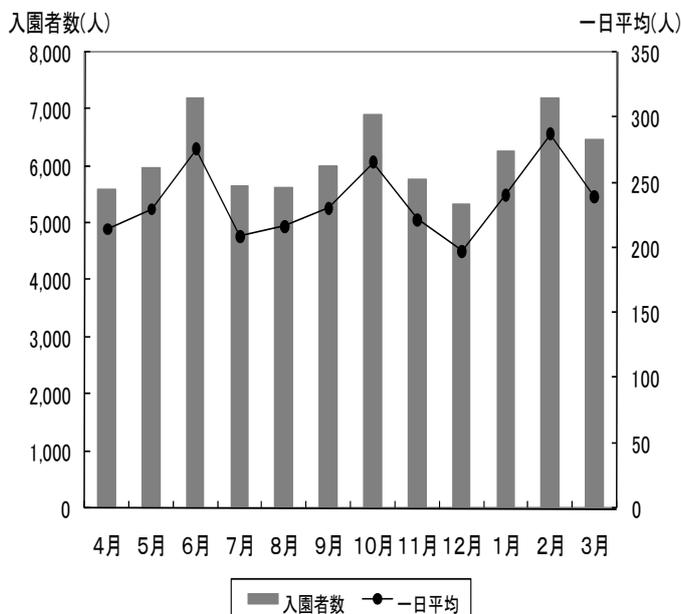
首里城公園入園者数



(2) 福州園入園者数

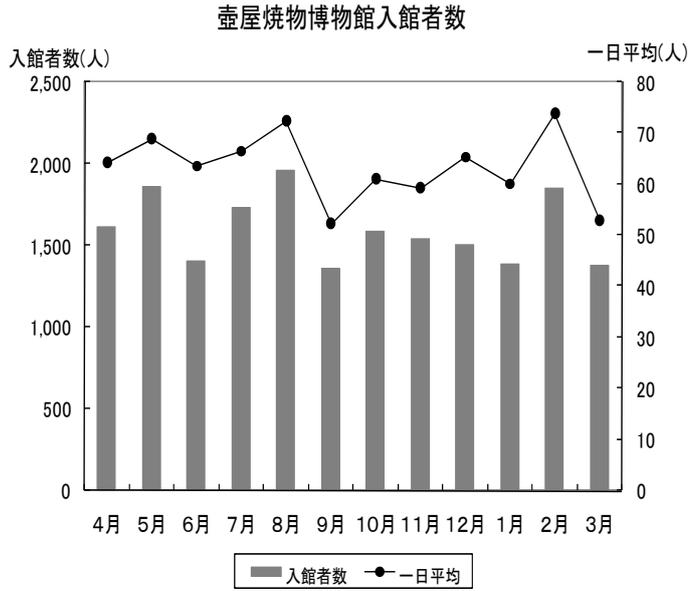
	開園日数	入園者数	一日平均
平成 8年	313	47,769	153
平成 9年	313	38,643	123
平成10年	313	34,856	111
平成11年	313	29,891	95
平成12年	314	27,556	88
平成13年	314	46,580	148
平成14年	314	42,773	136
平成15年	312	47,931	154
平成16年	310	56,467	182
平成17年	309	52,686	171
平成18年度	307	58,227	189
平成19年度	314	73,881	235
平成19年 4月	26	5,576	214
" 5月	26	5,973	230
" 6月	26	7,175	276
" 7月	27	5,644	209
" 8月	26	5,618	216
" 9月	26	5,992	230
" 10月	26	6,908	266
" 11月	26	5,767	222
" 12月	27	5,327	197
平成20年 1月	26	6,261	241
" 2月	25	7,189	288
" 3月	27	6,451	239

福州園入園者数



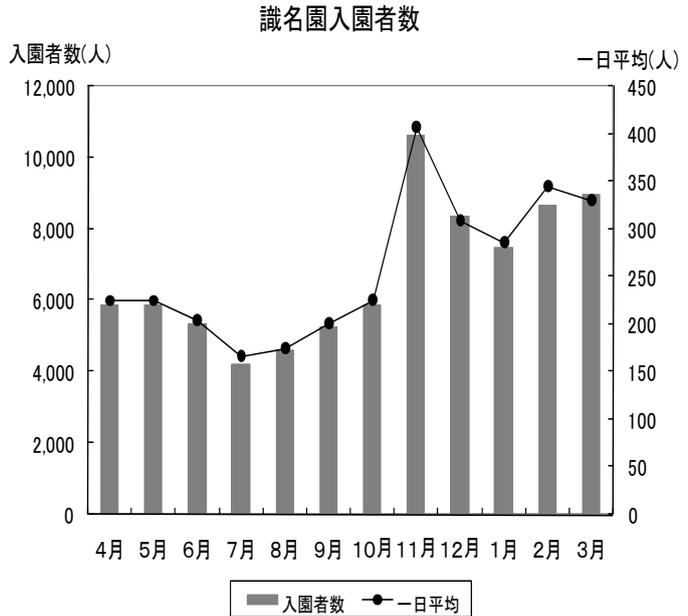
(3) 壺屋焼物博物館入館者数

	開園日数	入館者数	一日平均
平成10年	267	28,498	107
平成11年	291	24,711	85
平成12年	293	22,097	75
平成13年	305	22,541	74
平成14年	301	21,342	71
平成15年	301	21,792	72
平成16年	301	20,230	67
平成17年	302	20,314	67
平成18年度	303	21,605	71
平成19年度	302	19,118	63
平成19年 4月	25	1,606	64
" 5月	27	1,858	69
" 6月	22	1,397	64
" 7月	26	1,726	66
" 8月	27	1,952	72
" 9月	26	1,357	52
" 10月	26	1,585	61
" 11月	26	1,539	59
" 12月	23	1,500	65
平成20年 1月	23	1,380	60
" 2月	25	1,846	74
" 3月	26	1,372	53



(4) 識名園入園者数

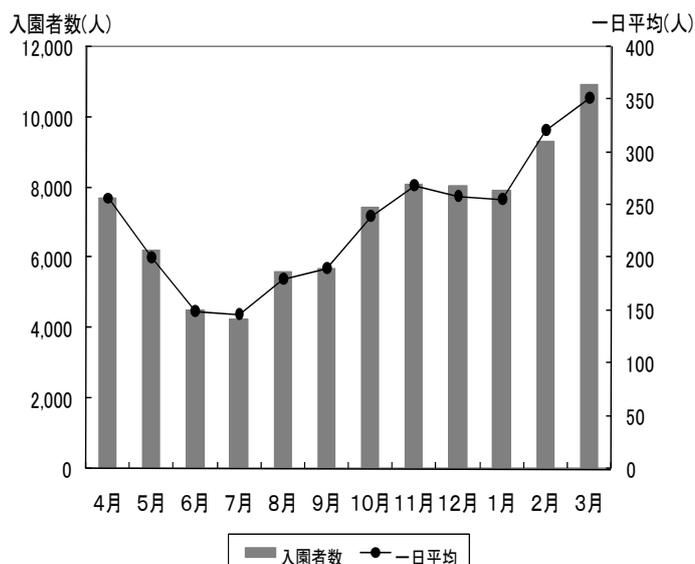
	開園日数	入園者数	一日平均
平成 8年	313	65,590	210
平成 9年	313	39,452	126
平成10年	313	31,384	100
平成11年	313	43,629	139
平成12年	314	53,461	170
平成13年	313	84,444	270
平成14年	314	85,511	272
平成15年	312	79,068	253
平成16年	313	74,772	239
平成17年	320	77,113	241
平成18年度	312	79,908	256
平成19年度	312	80,792	259
平成19年 4月	26	5,850	225
" 5月	26	5,846	225
" 6月	26	5,329	205
" 7月	25	4,171	167
" 8月	26	4,568	176
" 9月	26	5,236	201
" 10月	26	5,865	226
" 11月	26	10,582	407
" 12月	27	8,353	309
平成20年 1月	26	7,447	286
" 2月	25	8,619	345
" 3月	27	8,926	331



(5) 玉陵入園者数

	開園日数	入園者数	一日平均
平成 8年	365	12,176	33
平成 9年	365	35,453	97
平成10年	365	33,769	93
平成11年	365	38,592	106
平成12年	365	44,159	121
平成13年	360	86,629	241
平成14年	365	99,025	271
平成15年	365	89,564	245
平成16年	366	99,452	272
平成17年	365	97,683	268
平成18年度	365	86,931	238
平成19年度	364	85,493	235
平成19年 4月	30	7,687	256
" 5月	31	6,192	200
" 6月	30	4,490	150
" 7月	29	4,239	146
" 8月	31	5,584	180
" 9月	30	5,688	190
" 10月	31	7,421	239
" 11月	30	8,071	269
" 12月	31	8,012	258
平成20年 1月	31	7,906	255
" 2月	29	9,301	321
" 3月	31	10,902	352

玉陵入園者数



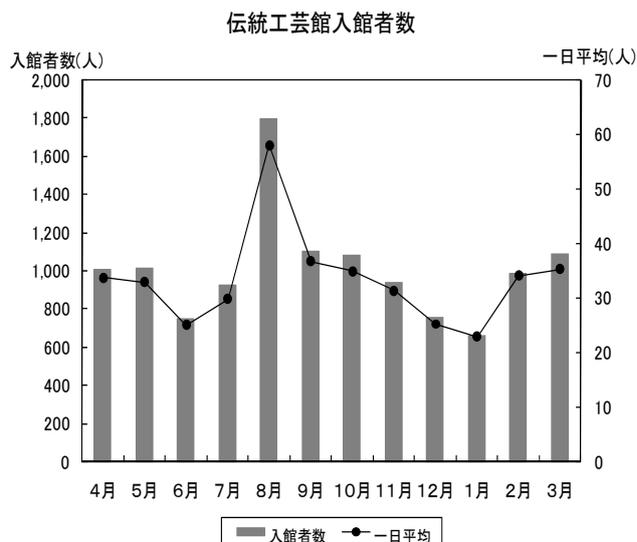
(6) 沖縄県立博物館入園者数

	開園日数	入園者数	一日平均
平成10年	291	73,844	254
平成11年	289	72,288	250
平成12年	264	60,792	230
平成13年	264	54,282	206
平成14年	267	58,090	218
平成15年	289	46,250	160
平成16年	286	44,532	156
平成17年	276	40,614	147
平成18年度	51	16,319	320
平成19年度	126	211,509	1,679
平成19年 4月			
" 5月			
" 6月			
" 7月			
" 8月			
" 9月			
" 10月			
" 11月	26	66,888	2,573
" 12月	24	37,417	1,559
平成20年 1月	25	41,820	1,673
" 2月	25	31,049	1,242
" 3月	26	34,335	1,321

※平成19年11月からオープン

## (7) 伝統工芸館入館者数

	開園日数	入館者数	一日平均
平成13年	310	19,759	64
平成14年	312	10,386	33
平成15年	318	16,880	53
平成16年	285	13,593	48
平成17年	363	14,124	39
平成18年度	362	14,373	40
平成19年度	363	12,105	33
平成19年 4月	30	1,009	34
" 5月	31	1,017	33
" 6月	30	750	25
" 7月	31	922	30
" 8月	31	1,796	58
" 9月	30	1,101	37
" 10月	31	1,080	35
" 11月	30	938	31
" 12月	30	753	25
平成20年 1月	29	662	23
" 2月	29	986	34
" 3月	31	1,091	35



## (8) 波の上ビーチ遊泳者数

	若狭ビーチ			辻ビーチ			合計
	遊泳日数	入場者数	1日平均	遊泳日数	入場者数	1日平均	
平成14年	196	90,414	461	184	163,056	886	253,470
平成15年	202	122,006	604	194	168,335	868	290,341
平成16年	207	152,221	735	0	0	0	152,221
平成17年	208	155,614	748	0	0	0	155,614
平成18年度	208	111,965	538	0	0	0	111,965
平成19年度	209	108,393	519	0	0	0	108,393
平成19年 4月	30	8,369	279	0	0	0	8,369
" 5月	31	13,706	442	0	0	0	13,706
" 6月	30	13,439	448	0	0	0	13,439
" 7月	28	28,367	1,013	0	0	0	28,367
" 8月	31	24,897	803	0	0	0	24,897
" 9月	28	13,463	481	0	0	0	13,463
" 10月	31	6,152	198	0	0	0	6,152
" 11月	0	0	0	0	0	0	0
" 12月	0	0	0	0	0	0	0
平成20年 1月	0	0	0	0	0	0	0
" 2月	0	0	0	0	0	0	0
" 3月	0	0	0	0	0	0	0

※辻側は工事のため遊泳禁止

## 附表 参考資料

附表1 平成19年 県内にある周辺離島からの月別入込み、出域客数

(単位:人、%)

区 分	空 路		海 路		計	
	入域客数	出域客数	入域客数	出域客数	入域客数	出域客数
1月	111,104	110,398	11,068	11,274	122,172	121,672
2月	103,433	90,420	13,015	13,676	116,448	104,096
3月	99,343	101,872	18,712	18,577	118,055	120,449
4月	115,024	109,980	18,620	18,678	133,644	128,658
5月	133,640	128,214	23,674	23,054	157,314	151,268
6月	116,105	108,782	20,096	20,249	136,201	129,031
7月	106,322	101,712	29,707	31,078	136,029	132,790
8月	110,212	103,851	48,179	48,531	158,391	152,382
9月	90,166	95,388	29,004	29,877	119,170	125,265
10月	102,541	92,468	22,737	23,433	125,278	115,901
11月	99,709	97,561	14,748	15,877	114,457	113,438
12月	120,234	113,983	13,651	14,177	133,885	128,160
計	1,307,833	1,254,629	263,211	268,481	1,571,044	1,523,110
構成比						

※空路では、入込み那覇着(上り)、出域は那覇発(下り)の客数。  
 ※海路では、入込み那覇着(上陸人員)、出域は那覇発(乗込み人員)の客数。  
 ※統計資料の関係により暦年での集計となっている。

附表2 平成19年度 県内にある周辺離島からの航路別入込み客数(空路)

(単位:人、%)

路線	石垣	宮古	久米島	南大東	北大東	粟国	慶良間	与那国	合計
4月	68,327	32,521	8,341	985	284	279	—	367	111,104
5月	61,020	31,641	8,456	945	427	475	—	469	103,433
6月	53,996	32,589	10,720	1,013	349	360	—	316	99,343
7月	67,594	35,955	9,290	1,015	333	416	—	421	115,024
8月	76,770	41,315	12,934	1,195	422	516	—	488	133,640
9月	67,337	35,088	11,639	926	354	345	—	416	116,105
10月	60,902	32,864	10,478	905	324	478	—	371	106,322
11月	64,889	33,157	9,721	1,056	422	559	—	408	110,212
12月	50,499	28,288	8,904	1,185	411	520	—	359	90,166
1月	59,663	31,890	8,900	938	400	380	—	370	102,541
2月	56,621	31,622	9,182	1,004	370	500	—	410	99,709
3月	70,950	35,610	11,226	1,252	396	350	—	450	120,234
合計	758,568	402,540	119,791	12,419	4,492	5,178	0	4,845	1,307,833
構成比	58.0	30.8	9.2	0.9	0.3	0.4	0.0	0.4	100.0
前年比	105.69	103.61	86.92	46.97	50.64	42.77	—	57.44	100.53

(資料:各航空会社)

附表3 平成19年 県内にある周辺離島からの航路別入込み客数(海路)

(単位:人、%)

区分	石垣	宮古	久米島	渡嘉敷	座間味	大東	粟国	渡名喜	伊江	本部地区	合計
1月	325	340	1,437	3,874	3,400	80	951	653	-	8	11,068
2月	228	286	1,457	5,405	3,726	156	1,021	726	-	10	13,015
3月	761	592	2,139	7,314	5,571	253	1,197	870	-	15	18,712
4月	419	370	2,138	8,143	4,970	196	1,395	908	74	7	18,620
5月	343	387	2,894	10,585	6,785	97	1,473	905	181	24	23,674
6月	325	375	1,989	6,897	7,417	520	1,202	883	58	430	20,096
7月	360	303	2,450	13,087	11,269	183	1,126	819	102	8	29,707
8月	809	805	4,588	20,303	17,495	165	2,499	1,206	264	45	48,179
9月	435	328	2,420	11,955	11,533	68	1,335	776	136	18	29,004
10月	296	233	2,723	8,690	8,546	113	1,266	849	-	21	22,737
11月	301	261	1,749	5,004	5,382	166	1,031	810	-	44	14,748
12月	257	194	2,115	5,277	3,868	187	1,003	742	-	8	13,651
合計	4,859	4,474	28,099	106,534	89,962	2,184	15,499	10,147	815	638	263,211
構成比 (%)	1.8	1.7	10.7	40.5	34.2	0.8	5.9	3.9	0.3	0.2	100.0
前年比 (%)	93.3	99.9	126.1	105.6	96.2	114.8	104.4	99.5	89.9	330.6	103.5

(資料:那覇港の統計)

※海路については、統計が暦年で行われているため、上記の表は暦年での集計となっている。

附表4 平成19年度 県内にある周辺離島への航路別出域客数(空路)

(単位:人、%)

路線	石垣	宮古	久米島	南大東	北大東	粟国	慶良間	与那国	合計
4月	64,213	35,515	8,535	814	432	310	-	579	110,398
5月	49,696	30,032	8,308	1,053	387	479	-	465	90,420
6月	53,871	35,179	10,666	935	419	417	-	385	101,872
7月	62,075	36,599	9,147	837	345	412	-	565	109,980
8月	70,980	42,145	12,154	1,276	489	519	-	651	128,214
9月	60,618	35,402	10,568	934	417	366	-	477	108,782
10月	55,467	33,859	10,255	913	378	479	-	361	101,712
11月	58,175	33,953	9,341	1,017	433	521	-	411	103,851
12月	49,125	34,861	8,986	957	469	524	-	466	95,388
1月	50,804	30,087	9,078	1,079	496	422	-	502	92,468
2月	52,225	33,343	9,628	950	441	499	-	475	97,561
3月	65,004	35,157	11,385	1,081	495	386	-	475	113,983
合計	692,253	416,132	118,051	11,846	5,201	5,334	-	5,812	1,254,629
構成比	55.2	33.2	9.4	0.9	0.4	0.4	-	0.5	100.0
前年比	108.09	103.74	86.03	48.63	47.26	74.81	-	59.85	101.45

(資料:各航空会社)

附表5 平成19年 県内にある周辺離島への航路別出域客数（海路）

（単位：人、％）

区分	石垣	宮古	久米島	渡嘉敷	座間味	大東	粟国	渡名喜	伊江	本部地区	合計
1月	485	308	1,479	3,603	3,278	179	1,258	681	-	3	11,274
2月	557	510	1,703	5,354	3,783	71	923	764	-	11	13,676
3月	1,026	706	2,065	6,908	5,728	114	1,180	841	-	9	18,577
4月	736	471	2,232	7,830	5,061	148	1,180	908	92	20	18,678
5月	795	528	3,076	9,400	6,601	94	1,425	902	218	15	23,054
6月	1,109	522	2,092	6,446	7,764	80	1,264	903	64	5	20,249
7月	912	835	2,725	13,069	11,389	140	1,114	819	70	5	31,078
8月	1,461	945	4,663	19,840	17,441	198	2,416	1,237	302	28	48,531
9月	949	585	2,469	11,961	11,592	63	1,393	796	49	20	29,877
10月	941	494	3,485	8,237	8,143	75	1,194	855	-	9	23,433
11月	607	456	1,932	5,291	5,467	106	1,157	838	-	23	15,877
12月	654	586	2,380	4,852	3,987	109	868	731	-	10	14,177
合計	10,232	6,946	30,301	102,791	90,234	1,377	15,372	10,275	795	158	268,481
構成比 （％）	3.8	2.6	11.3	38.3	33.6	0.5	5.7	3.8	0.3	0.1	100.0
前年比 （％）	95.9	112.9	124.7	101.9	98.4	110.7	97.7	99.7	85.8	89.3	102.4

（資料：那覇港の統計）

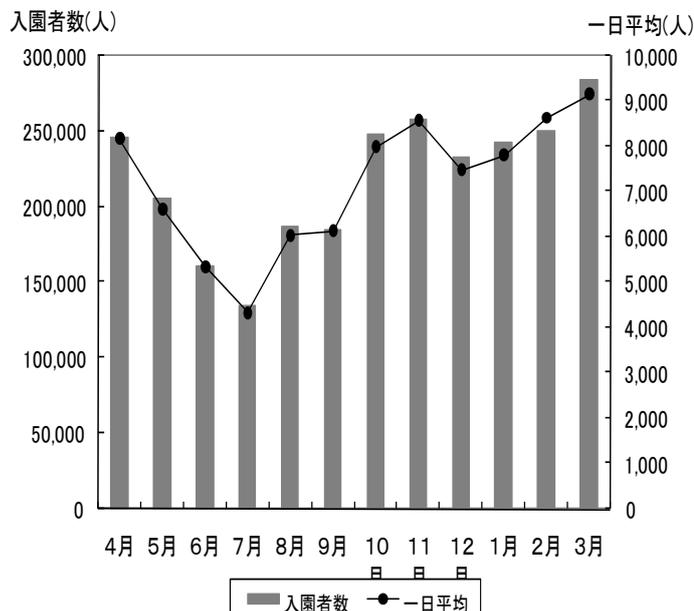
※海路については、統計が暦年で行われているため、上記の表は暦年での集計となっている。

## 主要観光施設の推移

(1) 首里城公園入園者数

	開園日数	入園者数	一日平均
平成 8年	363	1,783,346	4,913
平成 9年	362	1,864,734	5,151
平成10年	362	1,917,487	5,297
平成11年	363	2,092,586	5,765
平成12年	359	2,058,689	5,735
平成13年	361	2,017,556	5,589
平成14年	360	2,330,152	6,473
平成15年	364	2,466,180	6,775
平成16年	364	2,530,642	6,952
平成17年	365	2,474,470	6,779
平成18年度	365	2,658,592	7,284
平成19年度	366	2,629,741	7,185
平成19年 4月	30	245,275	8,176
" 5月	31	205,462	6,628
" 6月	30	160,197	5,340
" 7月	31	134,147	4,327
" 8月	31	187,053	6,034
" 9月	30	184,009	6,134
" 10月	31	248,170	8,005
" 11月	30	257,081	8,569
" 12月	31	231,989	7,484
平成20年 1月	31	242,165	7,812
" 2月	29	250,252	8,629
" 3月	31	283,941	9,159

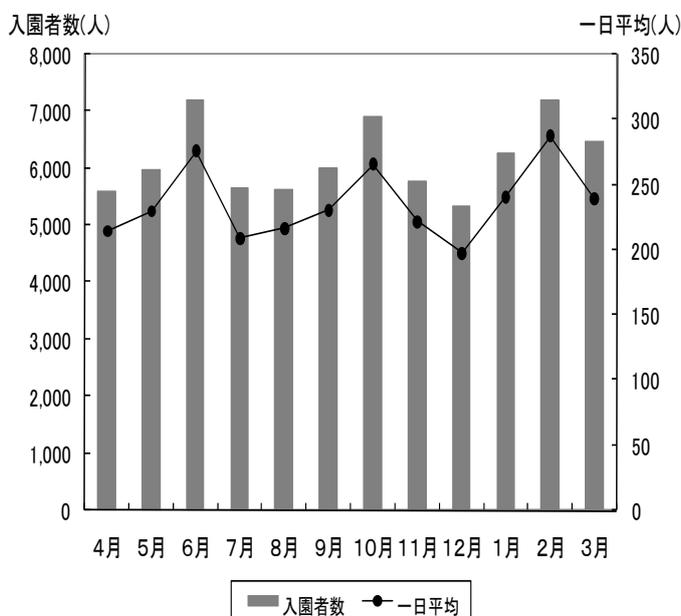
首里城公園入園者数



(2) 福州園入園者数

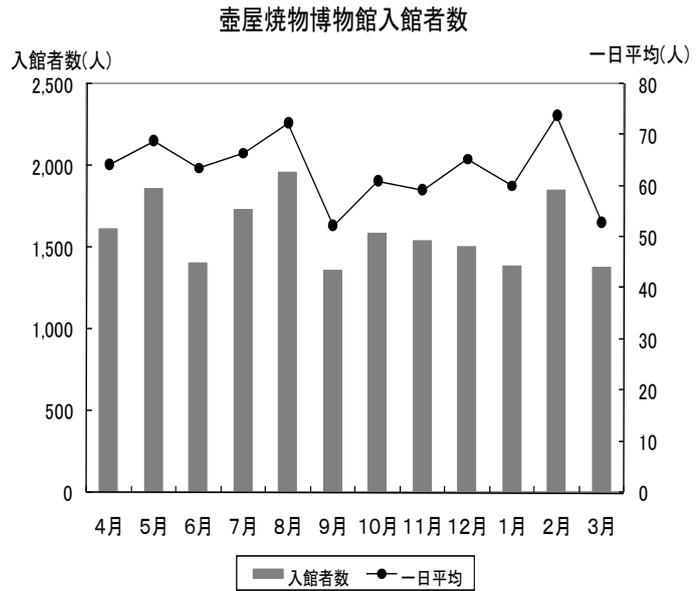
	開園日数	入園者数	一日平均
平成 8年	313	47,769	153
平成 9年	313	38,643	123
平成10年	313	34,856	111
平成11年	313	29,891	95
平成12年	314	27,556	88
平成13年	314	46,580	148
平成14年	314	42,773	136
平成15年	312	47,931	154
平成16年	310	56,467	182
平成17年	309	52,686	171
平成18年度	307	58,227	189
平成19年度	314	73,881	235
平成19年 4月	26	5,576	214
" 5月	26	5,973	230
" 6月	26	7,175	276
" 7月	27	5,644	209
" 8月	26	5,618	216
" 9月	26	5,992	230
" 10月	26	6,908	266
" 11月	26	5,767	222
" 12月	27	5,327	197
平成20年 1月	26	6,261	241
" 2月	25	7,189	288
" 3月	27	6,451	239

福州園入園者数



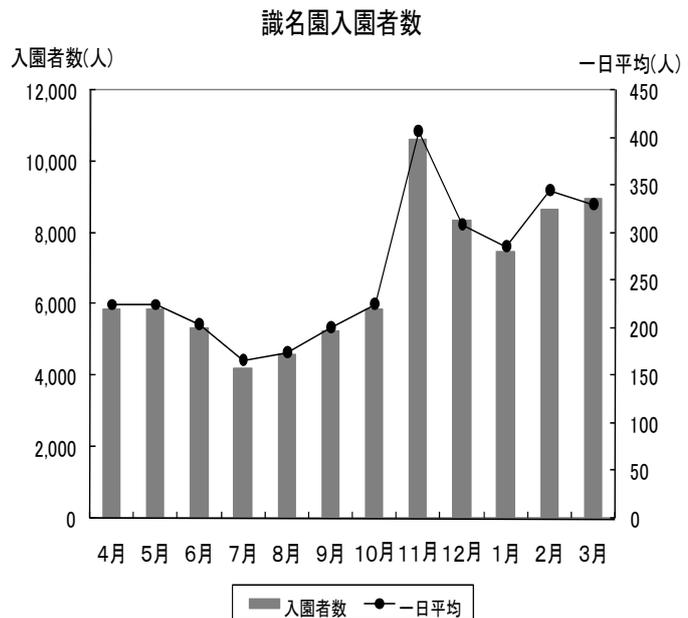
(3) 壺屋焼物博物館入館者数

	開園日数	入館者数	一日平均
平成10年	267	28,498	107
平成11年	291	24,711	85
平成12年	293	22,097	75
平成13年	305	22,541	74
平成14年	301	21,342	71
平成15年	301	21,792	72
平成16年	301	20,230	67
平成17年	302	20,314	67
平成18年度	303	21,605	71
平成19年度	302	19,118	63
平成19年 4月	25	1,606	64
" 5月	27	1,858	69
" 6月	22	1,397	64
" 7月	26	1,726	66
" 8月	27	1,952	72
" 9月	26	1,357	52
" 10月	26	1,585	61
" 11月	26	1,539	59
" 12月	23	1,500	65
平成20年 1月	23	1,380	60
" 2月	25	1,846	74
" 3月	26	1,372	53



(4) 識名園入園者数

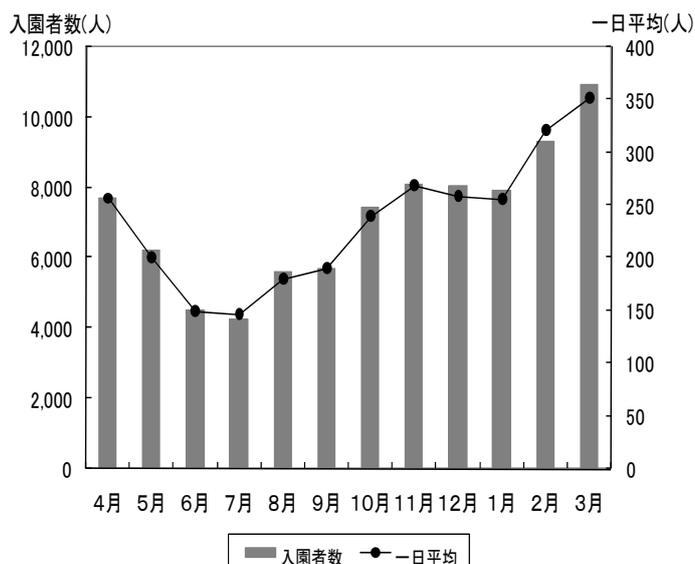
	開園日数	入園者数	一日平均
平成 8年	313	65,590	210
平成 9年	313	39,452	126
平成10年	313	31,384	100
平成11年	313	43,629	139
平成12年	314	53,461	170
平成13年	313	84,444	270
平成14年	314	85,511	272
平成15年	312	79,068	253
平成16年	313	74,772	239
平成17年	320	77,113	241
平成18年度	312	79,908	256
平成19年度	312	80,792	259
平成19年 4月	26	5,850	225
" 5月	26	5,846	225
" 6月	26	5,329	205
" 7月	25	4,171	167
" 8月	26	4,568	176
" 9月	26	5,236	201
" 10月	26	5,865	226
" 11月	26	10,582	407
" 12月	27	8,353	309
平成20年 1月	26	7,447	286
" 2月	25	8,619	345
" 3月	27	8,926	331



(5) 玉陵入園者数

	開園日数	入園者数	一日平均
平成 8年	365	12,176	33
平成 9年	365	35,453	97
平成10年	365	33,769	93
平成11年	365	38,592	106
平成12年	365	44,159	121
平成13年	360	86,629	241
平成14年	365	99,025	271
平成15年	365	89,564	245
平成16年	366	99,452	272
平成17年	365	97,683	268
平成18年度	365	86,931	238
平成19年度	364	85,493	235
平成19年 4月	30	7,687	256
" 5月	31	6,192	200
" 6月	30	4,490	150
" 7月	29	4,239	146
" 8月	31	5,584	180
" 9月	30	5,688	190
" 10月	31	7,421	239
" 11月	30	8,071	269
" 12月	31	8,012	258
平成20年 1月	31	7,906	255
" 2月	29	9,301	321
" 3月	31	10,902	352

玉陵入園者数



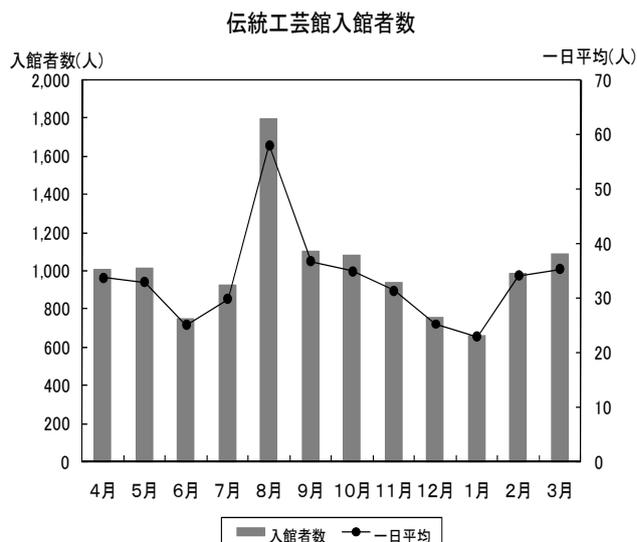
(6) 沖縄県立博物館入園者数

	開園日数	入園者数	一日平均
平成10年	291	73,844	254
平成11年	289	72,288	250
平成12年	264	60,792	230
平成13年	264	54,282	206
平成14年	267	58,090	218
平成15年	289	46,250	160
平成16年	286	44,532	156
平成17年	276	40,614	147
平成18年度	51	16,319	320
平成19年度	126	211,509	1,679
平成19年 4月			
" 5月			
" 6月			
" 7月			
" 8月			
" 9月			
" 10月			
" 11月	26	66,888	2,573
" 12月	24	37,417	1,559
平成20年 1月	25	41,820	1,673
" 2月	25	31,049	1,242
" 3月	26	34,335	1,321

※平成19年11月からオープン

## (7) 伝統工芸館入館者数

	開園日数	入館者数	一日平均
平成13年	310	19,759	64
平成14年	312	10,386	33
平成15年	318	16,880	53
平成16年	285	13,593	48
平成17年	363	14,124	39
平成18年度	362	14,373	40
平成19年度	363	12,105	33
平成19年 4月	30	1,009	34
" 5月	31	1,017	33
" 6月	30	750	25
" 7月	31	922	30
" 8月	31	1,796	58
" 9月	30	1,101	37
" 10月	31	1,080	35
" 11月	30	938	31
" 12月	30	753	25
平成20年 1月	29	662	23
" 2月	29	986	34
" 3月	31	1,091	35



## (8) 波の上ビーチ遊泳者数

	若狭ビーチ			辻ビーチ			合計
	遊泳日数	入場者数	1日平均	遊泳日数	入場者数	1日平均	
平成14年	196	90,414	461	184	163,056	886	253,470
平成15年	202	122,006	604	194	168,335	868	290,341
平成16年	207	152,221	735	0	0	0	152,221
平成17年	208	155,614	748	0	0	0	155,614
平成18年度	208	111,965	538	0	0	0	111,965
平成19年度	209	108,393	519	0	0	0	108,393
平成19年 4月	30	8,369	279	0	0	0	8,369
" 5月	31	13,706	442	0	0	0	13,706
" 6月	30	13,439	448	0	0	0	13,439
" 7月	28	28,367	1,013	0	0	0	28,367
" 8月	31	24,897	803	0	0	0	24,897
" 9月	28	13,463	481	0	0	0	13,463
" 10月	31	6,152	198	0	0	0	6,152
" 11月	0	0	0	0	0	0	0
" 12月	0	0	0	0	0	0	0
平成20年 1月	0	0	0	0	0	0	0
" 2月	0	0	0	0	0	0	0
" 3月	0	0	0	0	0	0	0

※辻側は工事のため遊泳禁止

---

---

那覇市観光統計・観光客の声  
(平成 19 年度版)

発 行  
那覇市 経済観光部観光課

〒900-0013

沖縄県那覇市牧志 2-1-4

T E L 098-862-3276

F A X 098-862-1580

---

---

再生紙を使用しています